

# 七十年史

創立70周年記念誌



一般社団法人 長野県溶接協会







第7回長野県高校生溶接コンクール（於中野立志館高等学校）より

## 綱 領

- 一、信頼と協調で協会の団結をはかり  
社会の発展に貢献しよう。
- 一、会員相互の交流を深め  
経営の健全化に努めよう。
- 一、未来を志向し、常に研鑽を重ね  
技術革新を進めよう。

一般社団法人 長野県溶接協会

# 創立70周年記念事業実行委員会名簿

## 実行委員会

実行委員長	横山正一	(有)横山酸素店
副実行委員長	羽生田豪太	(株)羽生田鉄工所
	山邊正重	(株)三協産業
	佐塚 健	(有)タケイサンキ
事務局	山本潤一	松橋利奈 松木哲代 三善理栄

## 式典・祝賀会委員会

委員長	羽生田豪太	副実行委員長
委員	塚田弘道	(有)美弥ステンレス工業
	片桐卓也	オリオン機械(株)
	武田明良	(株)武田
	西澤 淳	(株)角藤鉄構事業部
	清水 竜	トライアン(株)
	辻 俊光	岡谷酸素(株)
	豊田 章	(株)羽生田鉄工所
	原 順子	長野溶接工業会
事務局	山本潤一	松橋利奈 松木哲代 三善理栄

## 表彰委員会

委員長	佐塚 健	副実行委員長
委員	松井俊仁	(株)金丸松井鉄工所
	戸崎 敬	(有)戸崎鉄工所
事務局	山本潤一	松橋利奈 松木哲代 三善理栄

## 記念誌編集委員会

委員長	山邊正重	副実行委員長
委員	羽生田豪太	(株)羽生田鉄工所
	長岡創一郎	長岡鉄工(株)
	高木常行	フィット工業(株)
事務局	山本潤一	松橋利奈 松木哲代 三善理栄

## 目 次

創立70周年記念事業実行委員会名簿	4
序	理事長 横山 正一 7
祝 辞	長野県知事 阿部 守一 8
祝 辞	長野労働局長 久富 康生 9
祝 辞	一般社団法人 日本溶接協会会長 栗飯原周二 10
祝 辞	一般社団法人 全国鐵構工業協会会長 永井 毅 11
祝 辞	一般財団法人 日本溶接技術センター日本溶接構造専門学校常任理事 阿南 睦章 12
祝 辞	産報出版株式会社代表取締役社長 久木田 裕 14
祝 辞	株式会社日刊工業新聞社代表取締役社長 井水 治博 15
祝 辞	一般社団法人 日本溶接協会東部地区溶接技術検定委員会委員長 薩田 寿隆 16
この10年の動き	17
長野県溶接技術コンクールの実施状況	18
全国溶接技術競技会への選手派遣	19
技能五輪全国大会「電気溶接」職種 出場者	20
長野県高校生溶接コンクールの実施状況	21
関東甲信越高校生溶接コンクールへの選手派遣	22
高校生ものづくりコンテスト全国大会（溶接部門）への選手派遣	22
技術講習会及び技術導入調査事業の実施状況	23
協会事業の動き	27
創立70周年記念表彰受賞者名簿	28
各地区の歩み	33
佐久溶接協会	34
上小溶接協会	36
諏訪溶接協会	38
上伊那溶接協会	40
飯伊溶接協会	42
中信溶接協会	44

南長野更埴溶接協会	46
須高溶接協会	48
中高溶接協会	50
長野溶接工業会	52
<b>70周年を迎えて（思い出）</b>	<b>55</b>
全国溶接技術競技大会に出場して	株式会社ヤマウラ 熊谷 和成 56
技能五輪全国大会に出場して	株式会社羽生田鉄工所 小林 航大 57
限りなき挑戦～アーク溶接と向き合った熱き日々～	
.....長野県須坂創成高等学校創造工学科	長倉 直人 58
関東甲信越高校生溶接コンクールに出場して	
.....株式会社羽生田鉄工所	小林 大真 59
第21回高校生ものづくりコンテスト全国大会 （神奈川2021・溶接競技部門）に出場して	
～公開競技として初めて開催～	金沢工業大学電気電子工学科 工藤 成 61
卓越技能者知事表彰を受賞して	株式会社前田鉄工所 宮崎 文也 62
創立70周年によせて	相談役 五味 光亮 63
創立70周年によせて	(前)事務局長 近藤 友巳 64
<b>会員名簿</b>	<b>65</b>
<b>協賛広告</b>	<b>81</b>
<b>編集後記</b>	<b>95</b>

# 序



一般社団法人長野県溶接協会は、昭和29年8月28日、全国都道府県の中で最初の(社)日本溶接協会支部として設立されて以来、本年で70周年を迎えることになりました。

日本経済はこの10年の間、円高に始まりデフレが進行し、さらには新型コロナウイルスの流行の影響により未曾有の危機を迎えました。特に2019年から2023年までの三年間は、経済が停滞する中で人の移動が難しくなり、観光立国の日本は深刻な打撃を受けました。

世の中の会議のほとんどがリモートとなる中で、当協会の社員総会も、設立以来初となる書面決議の方法を取らざるを得ませんでした。

日常生活では、ソーシャルディスタンスの確保、マスク着用等の対策のため、会話もままならない状況でしたが、ようやく感染も収束の兆しが見え、2023年5月8日をもって5類に移行となり平常な日々を取り戻しつつあります。

一方、海外においては、ロシアによるウクライナへの侵攻が始まり、いまだに終息の道筋が見えません。今年広島で開催されたG7サミットではこの問題について議論がされ、核使用についての問題も取り上げられるなど、国際的な緊張も以前より増しています。

こうした環境の中、70年の長きにわたり当溶接協会は活動を継続してまいりました。設立以来、多くの関係者の皆様のご尽力に支えられ、長野県下においても全国に肩を並べる高い溶接技術を持つ大勢の技術者を育成することが出来ました。国内の労働人口が少子高齢化とともに減少していく中、様々な産業において外国人技術者の育成が急務となっており、溶接業界においても近年は外国人向けの各種講習が増えています。それとともに、これからの溶接業界はよりロボット化を進め、国内での生産基盤をしっかりと維持していくことも求められていきます。これらのベースとなるのは、私たちがこれまで積み上げてきた経験の蓄積であり、多くの溶接技術者達の高い技術力であると思います。今後も長野県内の溶接業界発展のため、可能な限り多くの優秀な技術者たちの育成に貢献できれば幸甚です。

最後に、これまで業界発展のために賜りました役員の皆様、関係各位のご協力に対し心より感謝を申し上げます。

一般社団法人長野県溶接協会

理事長 横山 正一



# 一般社団法人長野県溶接協会の 創立七十周年を祝して

長野県知事

阿部 守一

このたび、一般社団法人長野県溶接協会が創立70周年を迎えられますことを、心からお祝い申し上げます。

貴協会におかれては、昭和29年に前身の社団法人日本溶接協会長野県支部として設立されて以来、県内産業の溶接に関する技術の向上並びに普及につとめられ、このたび記念すべき節目を迎えられましたことは、誠に御同慶の至りであり、歴代理事長をはじめ、会員の皆様方の熱意とたゆまぬ御努力に対し、深く敬意を表します。

溶接技術は、土木・建築、自動車や産業用機械等の多くの産業分野に欠かせないものづくりの基盤技術であり、製品の信頼性や安全性の確保、新素材や薄板化への対応など、常に技術水準の向上が求められています。

貴協会におかれましては、溶接技術に関するコンクールや講習会等を毎年実施されており、本県の溶接技術力の向上や技能の継承により多くの優れた技術者を輩出しています。地域産業の発展に大きく貢献されていることに対し、心より感謝申し上げます。

さて、私たちは今、時代の大きな転換点に立っています。国際情勢の激変による物価高騰、気候変動とそれに伴う災害の激甚化・頻発化、人口減少とそれに伴う産業や地域の担い手不足など様々な危機が複合的に押し寄せています。

こうした危機を克服し、「確かな暮らし」を守り抜き、「ゆたかな社会」を実現するため、本年4月から「しあわせ信州創造プラン3.0（長野県総合5か年計画）」をスタートしました。その中の「5つの政策の柱」の一つである、「創造的で強靱な産業の発展を支援する」において、産業人材の育成・確保に関する施策を展開することとしております。

具体的には、経済・労働団体や教育機関等の皆様とのネットワークにより人材育成に関する課題やニーズを把握するとともに、工科短期大学校や技術専門校において、求職者や在職者を対象に、産業界のニーズに即した職業訓練を実施することとしておりますので、皆様の御理解と御協力をお願い申し上げます。

結びに、貴協会が創立70周年を契機として、これまで蓄積してこられた伝統を活かしつつ、新しい発想と意欲を持ち、益々御発展されますことを御祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。



## お祝いの言葉

長野労働局長

久富康生

このたびは一般社団法人長野県溶接協会が創立70周年を迎えられましたことを心よりお慶び申し上げます。

貴協会におかれましては、昭和29年に社団法人日本溶接協会の全国最初の都道府県支部として設立されて以来長年にわたり、溶接技術の向上並びに普及に努められ、溶接を通じて長野県内の産業発展に寄与されていることに敬意を表します。また、労働安全衛生法に基づく登録教習機関として、技能講習や特別教育の実施により、有資格者の充足や労働者の安全衛生意識の高揚に大きく寄与され、労働災害防止に多大な貢献をされていることに感謝申し上げます。

さて、長野県における労働災害による死傷者数は、13次にわたる労働災害防止計画の取組と関係者のご努力により、長期的には着実に減少してきましたが、リーマンショックの翌年である平成21年を境に増加に転じ、中期的に増加傾向を示しています。また、労働災害による死亡者数は、ここ10年間下げ止まっており、未だに多くの尊い命が失われています。

労働災害の状況をみると、転倒や腰痛といった労働者の作業行動に起因する死傷災害が約40%以上を占めているほか、死亡労働災害においては、墜落・転落、挟まれ・巻き込まれ等が多くを占めています。また、全年齢に占める60歳以上の労働者の割合が増加する中で、労働災害の死傷者数においても60歳以上の労働者の割合が増加しています。

このような状況を踏まえ、当局におきましては、2023年を初年度として新たな5か年計画としてスタートする「長野県における第14次労働災害防止推進計画」（14次防）を策定し、労働災害防止対策を総合的に推進することとしております。

14次防では、労働災害の増加傾向に歯止めをかけ、5か年で死傷災害件数を5%以上減少させることを目標に、転倒や腰痛といった、いわゆる行動災害の防止対策を推進すること、「エイジフレンドリーガイドライン」に基づき年々増加する高齢者の労働災害防止対策の推進を図ることとしております。

その他、各業種別の労働災害防止対策や有害物のばく露防止、メンタルヘルス対策などの各種安全対策・衛生対策総合的に推進することとしております。

さて、長野労働局は、労働災害防止の取組のほか、総合労働行政機関として、労働者の賃上げ支援、人材の育成・活性化、安心して挑戦できる労働市場の創造、多様な人材の活躍支援、労働条件の確保・改善等を労働基準、職業安定、雇用環境・均等、人材開発の各分野の重点政策として積極的に進め、「安心して働ける信州」が実現できるよう努めてまいりますので、今後ともご支援・御協力賜りますようお願いいたします。

貴協会におかれましては、創立70周年という歴史の上に、さらなる発展を遂げられますことをご祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。





## 創立70周年を祝して

一般社団法人 日本溶接協会

会長 栗飯原 周二

長野県溶接協会がこのたび創立70周年を迎えられましたこと、心よりお慶び申し上げます。  
貴協会は、昭和29年8月に設立され、活動を開始されました。平成21年2月には公益法人改革の流れの中、一般社団法人 長野県溶接協会として新たな一歩を踏み出され、現在に至っております。

今日までの70年の間、理事長をはじめとする役員の方々や会員の皆様のご尽力により地域に密着した溶接技術の教育と普及活動によって、長野県内の産業発展に大きく寄与されてこられました。関係各位のご努力に敬意を表するとともに深く感謝申し上げます。

長野県は、製造業が盛んであり、自動車、電機製品、精密機器、医療機器等の分野で多くの企業が活動しています。特に自動車産業においては、自動車メーカーや部品メーカーが進出しており、地域経済に大きな影響を与えています。また、環境保護や再生可能エネルギーの活用にも力を入れており、風力発電や太陽光発電等の再生可能エネルギー施設の建設や、環境に配慮した製品の開発・生産等が進められています。これらの製造業において、溶接は欠かすことのできない基盤技術であるため、貴協会の存在意義はますます高まり、産業界への貢献が期待されます。

慢性的な技能者不足を課題としている溶接界ですが、長野県中野市にある中野立志館高等学校の直近10年の卒業生の統計では「長野県高校生溶接コンクール」に出場し、腕を磨いた生徒は7割以上が溶接士として就職すること、これは工業高校で総合的にものづくりを学んだ生徒が溶接士を選択する割合と比較すると圧倒的に高い数字です。貴協会は、県高校生溶接コンクール以外にも「溶接技能向上のための講習会」、高校に出向いて「アーク溶接等特別教育」や「ガス溶接技能講習」を実施する等、若者に対する教育活動にも積極的に取り組んで来ました。将来、その若者が熟練技能者となり、日本溶接協会マイスターに認定され、技能伝承や後進の指導・育成の中核を担っていただけることを切に願っております。

最後になりましたが、創立以来70年、その間の歴代理事長をはじめ役員、関係者の方々のご努力に対し改めて深く感謝申し上げますとともに長野県溶接協会の今後、ますますのご発展を祈念して祝辞とさせていただきます。





## 祝 辞

一般社団法人 全国鐵構工業協会

会長 永井 毅

一般社団法人長野県溶接協会が、創立70周年を迎えられたことを心からお慶び申し上げます。

貴協会は昭和29年、当時の日本溶接協会最初の都道府県支部として創立以来、今日まで溶接技能者の育成、技能向上を中心に溶接技術への支援と裾野拡大に多大な貢献をしてこられました。このことに対し深く敬意を表すとともに、地域に密着した取り組みを重ねられたことが、長野県の鋼構造関連産業の発展に寄与されたものであり、その意義は誠に大きいものと考えております。

当協会も昭和48年の創立以来、一貫して品質確保に向けた業界の秩序づくりとともに建築鉄骨の品質向上、安定に貢献するなど、一定の社会的役割を果たしてまいりました。その中で事業活動の一環として技術者、技能者の育成を推進して参りましたが、貴協会で育成された多くの溶接技能者は、当協会の会員企業において技能者として日々活躍されており、誠に心強い限りであります。

振り返れば、オイルショック、バブル崩壊、リーマンショック等の世界経済の混乱、大地震や激甚災害等、幾多の試練に立ち向かい、乗り越えてきた歴史であったかと思えます。さらに近年は、新型コロナウイルス感染拡大という未曾有の事態の中で、多くの制約や規制、そして犠牲を払われたことかと思えます。一時低迷していた鉄骨需要は回復傾向に向かつてはおりますが、世界情勢の激変、鋼材・副資材の納期の長期化や価格高騰などの問題が生じており、不透明な状況が依然続いております。

このような環境の中、当協会は今年50周年を迎えました。本年は、業界のあるべき姿および今後の発展に向けたビジョンを協会として示していくことが重要であると感じております。「我々が一丸となって各種課題にスピード感をもって意欲的に取り組む年」と位置付け、「品質管理体制の維持強化」、「人材の確保と育成」、「需要環境変化への対応」、「近未来を見据えた取り組み」を基軸として事業を進めてまいります。

業界の将来の更なる発展のためには持続的な成長が必要であり、我々が立ち止まることがあるってはなりません。引き続きご理解とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

結びになりますが、貴協会が創立70周年を迎えるにあたり、これまで貴協会の発展に寄与貢献されました方々に深甚なる敬意を払うとともに、貴協会のさらなるご発展を心から祈念し、お祝いの言葉とさせていただきます。



## 創立70周年のお祝い

一般財団法人日本溶接技術センター  
日本溶接構造専門学校  
常任理事 **阿南 睦章**

一般社団法人長野県溶接協会創立70周年、誠におめでとうございます。心よりお祝いを申し上げます。御協会が創立された昭和29年は私の生まれた年でもあり、同じ年齢ということでとさらに嬉しく存じます。

長野県には高校時代から卒業後も、個人的にとってもお世話になっております。山田温泉と高山中学校体育館のバスケットボール部夏合宿、またスキーの常宿が爺ヶ岳で、中央高速道や上信越自動車道が開通する以前から、国道17号線で碓井バイパス越えや国道20号線で塩尻峠越えを何度も経験しました。現在も毎年何度も軽井沢を訪問し、浅間山に抱かれるような心温まるおもてなしを受けています。

また、日本溶接構造専門学校の長野県出身卒業生・在校生の多くがJIS溶接や溶接管理技術者の資格取得等を通じて、また会員相互の交流と連携の場として、御協会には大変お世話になっており、心より御礼申し上げます。

この70年間、溶接業界に良くも悪くも影響しました事柄を振り返りますと、1953年に川崎製鉄千葉製鉄所・第1高炉火入れ、1964年東京オリンピック開催、1973年はオイルショックによる経済の混乱、1983年は円高、1993年は湾岸危機による原油価格高騰とバブル崩壊、2003年はイラク戦争勃発と新型肺炎（SARS）の大流行、2008年のリーマンショック、2013年はアベノミクスで景気回復、2017年大企業のデータ不正が相次ぎ発覚、2019年末の新型コロナウイルス感染症等、かつての10年ひと昔から5年ひと昔、2年ひと昔とインターバルがどんどん短くなっている今、我々の業界も立ち止まる余裕はなく、常に前進をしなくてはなりません。

さらに、「静かな有事」と言われる年間出生数の減少は加速度を増していて、1994年に150万人割れ、2016年に100万人割れ、2019年に90万人割れ、2022年には80万人割れし、特に2016年からは年間出生数が20万人も減少しています。当然ながら溶接に携わる人材数への影響は避けられません。

現在、多くの企業で外国人技能実習生や特定技能実習生の力が必須となっております。2008年の技能実習生中ベトナム人は83,000人でしたが、2022年は331,000人で全実習生の45%を数え、加えて特定技能実習生が73,000人いました。当然ベトナム人のJIS溶接資格受験者数の増加は必然です。

日本溶接技術センターでは、ベトナム人溶接技能者の安全教育、JISとOTITの技能資格取得のサポートのため、ベトナム人溶接専門職員によるベトナム語による通訳不要な講習会を実施しています。特にJIS溶接の学科試験はベトナム語を含む外国語での受験が可能のため、ベ

トナム語学科試験講習会と出張講習の依頼が増加しています。皆様のご一助となれば幸いです。

また、安全教育、溶接技能、溶接管理技術者、ろう付け、AW検定、非破壊検査等の講習会、日本溶接構造専門学校による鉄骨加工業の後継者育成授業等を通じて、溶接業界の人材育成に尽力しています。御協会、会員の皆様、業界関係者の皆様、本校卒業生の皆様のご協力を頂きながら、業界の更なる発展に寄与していきたいと存じます。

最後になりましたが、長野県溶接協会と会員の皆様、関係者の皆様のご健勝と益々のご発展をお祈りいたしまして、創立70周年のお祝いとさせていただきます。



## 溶接への愛の一枚岩

産報出版株式会社

代表取締役社長 久木田 裕

長野県溶接協会の幅広い活動は、一言で表現しきれものではないが、「溶接への愛の一枚岩」といった印象を受ける。

長野県溶接協会の前進である日本溶接協会長野県支部は、日本溶接協会にとって最初の支部として昭和二十九年に設立された。この事実は、長野県が溶接技術の向上と普及の重要性を正確に把握し、早い段階で着手していたことを示すものに他ならない。

長野県は自然豊かで広大な県土の中で、幅広い産業が循環している。溶接であれば、県の北部は新潟県をはじめとする東北地方の溶接事業、県の南部は愛知県をはじめとする関西の溶接事業、県の東部は東京都をはじめとする関東の溶接事業といった具合に、近隣都県のものづくりにとって、重要な拠点という立場を築いている。そのため、長野県溶接協会は、全国の溶接協会の中でも最大規模の会員数を誇り、他の都道府県の日本溶接協会の指定機関を牽引する立場を担っているのである。

こうした活動を設立以来指導的に牽引してきたのは長野県工業技術総合センターであり、その草の根ともいえる活動こそが、今日の長野県溶接業界の基礎を築いてきた。

長野県はイベントにも積極的に協力し、この十年の活動を見ても、溶接技術競技会、技能五輪大会など、それぞれに対して前向きな取り組みを実行し、有力な選手を輩出してきた。その活動は、徐々に県内の企業や高等学校を巻き込み、昨今では、工業高校の溶接教育にまで波及している。

歴代の支部長会長、協会理事長で申し上げると、堀氏から、横林、前田、井上、北澤、山浦、堀内、寺島、倉科、五味各氏、そして現在の横山理事長に至る十一代にもわたる。歴代の支部長会長、理事長は、いずれも長野県において、熱心に溶接産業の発展に取り組む企業経営者の方々ばかりで、いずれも強い信念と気概をお持ちであった。お目にかかるたびに、示唆に富んだお話をうかがうことができ、何よりも溶接への愛情を肌身をもって学ぶことができたのは、いまに至る大きな財産だと心得ている。

最後に、長野県と言えば、広大な自然の恵みとも言える日本酒の名所である。2020年より始まったコロナ禍という時世もあり、直接的にお酒を酌み交わす機会は減少したが、長野県の支部長会長、協会理事長、事務局の皆さんと酌み交わすお酒は、私の楽しみの一つでもあった。

これまでの溶接産業を支えてこられた皆さん、また、今後の溶接産業を支えてくださる皆さんと、対面で意見を交わす機会は、今後回復していくだろう。世界中を襲ったコロナ禍というパンデミックで、多くの産業が変化を余儀なくされた。しかし、アフターコロナという新時代の溶接について、皆さんと心新たに語らうお酒の席を楽しみに今後も、ともに邁進していきたい。



## モノづくり基盤技術の人材強化に期待

株式会社日刊工業新聞社

代表取締役社長 井水 治博

一般社団法人長野県溶接協会が創立70周年を迎えられましたことを、心からお慶び申し上げます。

1954年に日本溶接協会の全国最初の支部として設立されて以来、長野県の溶接技能者の技能向上や技術の普及に貢献されてこられた関係者の方々のご尽力に、深い敬意を表します。

製造業を取り巻く環境は激変しています。昨今では、これまで経験したことのない新型コロナウイルス感染症の流行やロシアのウクライナ侵攻など、世界の経済・社会に大きな影響を与える出来事が起こりました。新型コロナにより多くの企業で生産・営業活動がストップし、業績が悪化するなどのダメージを受けました。今も続いているウクライナ危機では資源・エネルギーや食料の価格が高騰し、企業のコスト負担が大幅に増えています。

一方では、生成人工知能（AI）「Chat（チャット）GPT」などにみられるAIの進化や、IoT（モノのインターネット）、ロボットを活用した機器・システムの高度化など、モノづくりに関わる技術革新は目覚ましいものがあります。さらにカーボンニュートラル（温室効果ガス排出量実質ゼロ）や労働人口の減少といった社会的な課題への対応にも迫られています。

このようにさまざまな事業環境の変化や技術の進化などがありますが、溶接はモノづくりにおいて必要不可欠な基盤技術です。多くの製品や部品の生産・加工工程で用いられ、構造体製作の中核的な技術として産業界を支えています。新素材の登場に合わせて、より高度な溶接技術の開発も重要になっています。日本がモノづくり立国として世界をリードするためにも溶接が持続的に発展し続けていくことが求められています。

少子高齢化の影響を受け、産業界全体で人手不足という大きな課題に直面しています。さらにこれまで培われてきた技術・技能を次世代につないでいく技能伝承や人材育成が必要になっています。こうした状況に対し、貴協会が実施しているコンクールや講習会、技能者評価試験は個人の技術力の向上に寄与し、人材育成に大きく貢献すると認識しております。その一助として、弊社も長野県溶接技術コンクールをはじめとする全国各県のコンクール表彰やイベントなどの後援をさせていただいています。

弊社は産業総合紙として、物事の本質をとらえ、産業界の指針となりうる情報の発信を通じて、豊かな社会の実現に貢献することを目指しています。特に日本の強みであるモノづくりの報道に力を入れ、他メディアでは読めない独自の記事を掲載して産業界を盛り立てていく方針です。新聞を中核に電子メディア、展示会、セミナー、出版などあらゆる事業を通じて相乗効果を高めた情報発信に努めています。

今後も貴協会が日本の技術力と産業競争力の強化、中業企業振興などに尽力されることを期待しています。

最後になりましたが、70周年を節目に、長野県溶接協会の益々のご発展と日本のモノづくりの更なる躍進を祈念いたしましてお祝いの言葉とさせていただきます。





# 長野県溶接協会創立70周年 おめでとうございます

一般社団法人 日本溶接協会 東部地区溶接技術検定委員会

委員長 薩田 寿隆

このたび、一般社団法人長野県溶接協会が創立70周年を迎えられましたことを、心からお慶び申し上げます。東部地区溶接技術検定委員会を代表して、祝辞を述べさせていただきます。

長野県溶接協会は昭和29年8月に、全国都道府県の中で最初の支部（現指定機関）として設立されました。以来長野県の溶接技術の向上を目的に、技能評価試験、技能の講習および溶接コンクール等を通し、長野県の産業育成ならびにその発展に多大なる貢献をされて参りました。創立以来70年の長きにわたり、溶接を通して我が国の産業発展のけん引役を担って来られた皆様の大きな功績とご尽力に対し、心から敬意を表します。

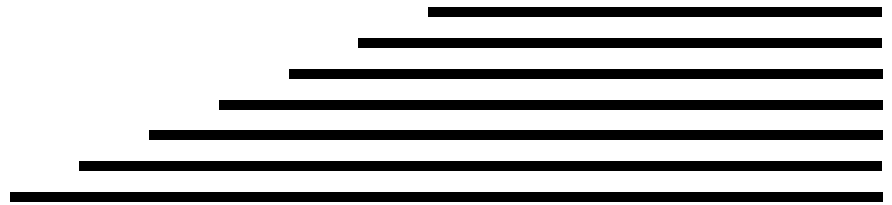
さてこの数年来に起きた出来事を少し振り返ってみたいと思います。まずは社会全体に大きな影響を及ぼした2020年初頭から始まった新型コロナウイルス感染をあげさせていただきます。2020年4月中旬から5月末までの約一か月半の期間にわたる評価試験の中止により、受験者をはじめとして多くの溶接関連の業務に携わる皆様には、大変なご迷惑をおかけしてしまいました。評価試験再開後の感染防止対策と時間割管理による受験者の分散集合の採用により、長野県も含め全国においても、クラスター感染を発生させることなく評価試験を継続させることができました。この場をお借りして、関係者の皆様へお礼を申し上げます。

次の出来事としては、2022年9月より運用が開始された評価試験申し込みの電子化（e-Weld）を挙げさせていただきます。長野県溶接協会をはじめとし、指定機関の皆様のご尽力により、大きなトラブルもなく運用されております。皆様のお力添えに感謝申し上げます。

三番目の出来事としては、この8月より実施された試験料金の改定です。30数年来の改定を敢行いたしました。この改定に伴い、試験材料費の支払い業務が指定機関から検定委員会へ移管されました。昨今の試験材料費高騰に伴い経営面でご苦労されている皆様に対し、少しでも経営面での安心材料になればと思います。

これらの大きな出来事がこの数年間で起こりましたが、長野県溶接協会の皆様の柔軟かつ適切な対応により、滞りなく評価試験業務が運営できましたことを、重ねてお礼申し上げます。

最後になりますが、長野県溶接協会の半世紀を越える長年の輝かしい業績に対し敬意を表すとともに、この記念すべき慶事を機に、長野県溶接協会がますます発展されることを、心より祈念しつつ、お祝いの言葉とさせていただきます。70周年おめでとうございます。



# この10年の動き

# 長野県溶接技術コンクールの実施状況

大会回数	年度	開催年月日	実施場所	種目*1	参加人数	合計	最優秀賞*2 1位	特別優秀賞 2位	優秀賞 3位	優良賞	団体優勝
53	H25	H26.1.22	長野県伊那技術専門学校	アーク	11	32	滝沢 伸也 (株)前田鉄工所	坂田 亨 (株)羽生田鉄工所	川添 宏平 赤羽鉄工株	2名	長野溶接工業会
				半自動	21		島田 翔太 (株)角藤鉄構事業部	宮崎 文也 (株)前田鉄工所	齋藤 智明 コトヒラ工業株	4名	
54	H26	H27.1.21	上田地域高等職業訓練センター	アーク	11	33	関 真彦 (株)羽生田鉄工所	宮坂 優作 (株)前田鉄工所	坂田 亨 (株)羽生田鉄工所	3名	長野溶接工業会
				半自動	22		吉原 努 長野工業株	齋藤 智明 コトヒラ工業株	須永 忠雄 (株)角藤鉄構事業部	6名	
55	H27	H28.1.20	上田地域高等職業訓練センター	アーク	12	43	関 真彦 (株)羽生田鉄工所	桐嶋 知生 (株)ヤマウラ	篠原 真 (株)角藤鉄構事業部	3名	長野溶接工業会
				半自動	31		島田 翔太 (株)角藤鉄構事業部	金子 竜二 コトヒラ工業株	山崎 章生 コトヒラ工業株	5名	
56	H28	H28.12.10	長野県南信工科短期大学校	アーク	14	38	宮坂 優作 (株)前田鉄工所	北村 英祐 (株)羽生田鉄工所	関 真彦 (株)羽生田鉄工所	3名	長野溶接工業会
				半自動	24		須永 忠雄 (株)角藤鉄構事業部	野村 優多 赤羽鉄工株	石川 剛 (株)竹内製作所	3名	
57	H29	H29.12.13	上田地域高等職業訓練センター	アーク	11	39	桐嶋 知生 (株)ヤマウラ	該当者無し	該当者無し	2名	長野溶接工業会
				半自動	28		坂田 亨 (株)羽生田鉄工所	山岸 雄気 (株)前田鉄工所	齋藤 智明 コトヒラ工業株	3名	
58	H30	H30.12.1	長野県南信工科短期大学校	アーク	11	35	宮坂 優作 (株)前田鉄工所	桐嶋 知生 (株)ヤマウラ	阿部 道夫 赤羽鉄工株	1名	上伊那溶接協会
				半自動	24		篠原 真 (株)角藤鉄構事業部	平林 勇紀 コトヒラ工業株	片桐 瑠風 (株)前田製作所	3名	
59	R元	R1.12.4	上田地域高等職業訓練センター	アーク	16	43	小林 大真 (株)羽生田鉄工所	原 祐真 (株)ヤマウラ	宮坂 優作 (株)前田鉄工所	1名	長野溶接工業会
				半自動	27		宮崎 文也 (株)前田鉄工所	熊谷 和成 (株)ヤマウラ	片桐 瑠風 (株)前田製作所	3名	
-	R2	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止									
60	R3	R3.12.1	上田地域高等職業訓練センター	アーク	14	35	宮坂 優作 更北工業株	小林 大真 (株)羽生田鉄工所	佐藤 竜牙 (株)ヤマウラ	3名	上伊那溶接協会
				半自動	21		熊谷 和成 (株)ヤマウラ	宮崎 文也 (株)前田鉄工所	片桐 瑠風 (株)前田製作所	1名	
61	R4	R4.12.4	長野県南信工科短期大学校	アーク	11	34	稲葉 大地 (株)前田鉄工所	桐嶋 知生 (株)ヤマウラ	小林 航大 (株)羽生田鉄工所	1名	長野溶接工業会
				半自動	23		篠原 祥吾 松山株	内藤 大樹 (株)角藤鉄構事業部	内藤 大和 コトヒラ工業株	2名	

\*1 アーク：被覆アーク溶接の部 半自動：炭酸ガスアーク溶接の部

\*2 最優秀賞受賞者は次年度の全国溶接技術競技会に長野県代表選手として出場する

\*3 23歳以下の成績優秀者を次年度の技能五輪全国大会「電気溶接」職種の長野県代表選手として推薦する



# 全国溶接技術競技会への選手派遣

大会回数	年度	開催年月日	開催都道府県 競技会場	種目 * 1	参加 人数	入賞 者数	参加選手		受 賞
							氏 名	所 属	
59	H25	H25. 10. 12-13	愛知県 新日鐵住金(株)名古屋製鐵所 人材育成センター	アーク	56	22	西山 勝巳	(株)前田鉄工所	
				半自動	56	22	島田 翔太	(株)角藤鉄構事業部	
60	H26	H26. 10. 18-19	秋田県 ポリテクセンター秋田	アーク	58	23	滝沢 伸也	(株)前田鉄工所	
				半自動	58	22	島田 翔太	(株)角藤鉄構事業部	
61	H27	H27. 10. 17-18	大阪府 ポリテクセンター関西	アーク	56	21	関 真彦	(株)羽生田鉄工所	
				半自動	56	20	吉原 努	長野工業(株)	
62	H28	H28. 10. 8-9	北海道 ポリテクセンター函館	アーク	56	22	関 真彦	(株)羽生田鉄工所	
				半自動	56	22	島田 翔太	(株)角藤鉄構事業部	
63	H29	H29. 10. 21-22	神奈川県 (株)IHI 横浜事業所	アーク	56	21	宮坂 優作	(株)前田鉄工所	
				半自動	56	21	須永 忠雄	(株)角藤鉄構事業部	
64	H30	H30. 10. 20-21	山口県 ポリテクセンター山口	アーク	56	22	桐嶋 知生	(株)ヤマウラ	
				半自動	56	22	坂田 亨	(株)羽生田鉄工所	
65	R元	R 1. 11. 16-17	沖縄県 ポリテクセンター沖縄	アーク	56	20	宮坂 優作	(株)前田鉄工所	
				半自動	56	23	篠原 真	(株)角藤鉄構事業部	
-	R 2	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止							
66	R 3	R 4. 4. 16-17	三重県 JFE エンジニアリング(株) 津製作所 研修センター	アーク	56	19	小林 大真	(株)羽生田鉄工所	
				半自動	56	18	宮崎 文也	(株)前田鉄工所	優良賞
67	R 4	R 4. 9. 24-25	青森県 青森県立青森工業高等学校	アーク	56	20	宮坂 優作	更北工業(株)	
				半自動	56	20	熊谷 和成	(株)ヤマウラ	優良賞
68	R 5	R 5. 11. 11-12	茨城県 日立建機(株)霞ヶ浦総合研修 所	アーク	56		稲葉 大地	(株)前田鉄工所	
				半自動	56		篠原 祥吾	松山(株)	

\* 1 アーク：被覆アーク溶接の部 半自動：炭酸ガスアーク溶接の部

# 技能五輪全国大会「電気溶接」職種 出場者

大会回数	年度	氏名	所属	開催地	開催日時	参加人数
51	H25	今井 幸平	(株)ヤマウラ	千葉県 高度職業能力開発促進センター	H25.11.18-23	33
		下浦 洸樹	(株)ヤマウラ			
52	H26	出場者なし		愛知県立名古屋高等技術専門学校	H26.11.24-29	27
53	H27	出場者なし		千葉県 高度職業能力開発促進センター	H27.11.30-12.5	31
54	H28	宮坂 優作	(株)前田鉄工所	山形県立産業技術短期大学校	H28.10.15-22	41
		安藤 誠	(株)羽生田鉄工所			
55	H29	小林 大真	(株)羽生田鉄工所	栃木県 関東職業能力開発大学校	H29.11.19-24	38
		宮坂 優作	(株)前田鉄工所			
56	H30	出場者なし		沖縄県 うるま地区内 賃貸工場	H30.10.27-11.3	38
57	R元	小林 大真	(株)羽生田鉄工所	愛知県立名古屋高等技術専門学校	R1.11.9-16	38
		稲葉 大地	(株)前田鉄工所			
58	R2	稲葉 大地	(株)前田鉄工所	愛知県立名古屋高等技術専門学校	R2.11.7-14	35
		鈴木 寛隆	(株)ヤマウラ エンジニアリング事業部			
59	R3	小林 航大	(株)羽生田鉄工所	東京都立城東 職業能力開発センター	R3.12.13-18	32
		望月 昭太	(株)前田鉄工所			
		原 祐真	(株)ヤマウラ エンジニアリング事業部			
60	R4	望月 昭太	(株)前田鉄工所	千葉職業能力開発促進センター 高度訓練センター	R4.10.31-11.5	33
61	R5	出場者なし		千葉職業能力開発促進センター 高度訓練センター	R5.11.9-14	

## 長野県高校生溶接コンクールの実施状況

大会回数	年度	開催年月日	実施場所	参加校数	参加者数	最優秀賞* 1 1位	優秀賞* 2 2位	優良賞 3位
1	H26	H26.12.14	中野立志館高校	3	3	小林 大真 中野立志館高校	丸山 愛奈 池田工業高校	井沢 鴻太 岡谷工業高校
2	H27	H27.12.5	中野立志館高校	4	4	手塚 健太 池田工業高校	鈴木 達也 中野立志館高校	渡辺 慎也 岡谷工業高校
3	H28	H28.12.3	中野立志館高校	3	3	高木 陽翔 中野立志館高校	原田 成 松本工業高校	森下 真羽 池田工業高校
4	H29	H29.12.2	中野立志館高校	4	4	峰村 拓門 中野立志館高校	森下 真羽 池田工業高校	原田 成 松本工業高校
5	H30	H30.12.15	中野立志館高校	3	6	汲川 智哉 中野立志館高校	徳竹 克彦 中野立志館高校	久保田 夏生 松本工業高校
6	R元	R1.12.14	中野立志館高校	2	4	汲川 智哉 中野立志館高校	工藤 成 中野立志館高校	福井 伶弥 池田工業高校
7	R2	R2.12.5	中野立志館高校	2	4	工藤 成 中野立志館高校	中西 嵩 中野立志館高校	千田 翔太 池田工業高校
8	R3	R3.12.11	中野立志館高校	3	5	川窪 栄斗 松本工業高校	千田 翔太 池田工業高校	片桐 大生 中野立志館高校
9	R4	R4.12.10	中野立志館高校	4	5	長倉 直人 須坂創成高校	北原 飛翔 中野立志館高校	小沢 悠李 松本工業高校

\* 1, \* 2 最優秀賞および優秀賞受賞者は次年度の関東甲信越高校生溶接コンクールに長野県代表選手として出場する

# 関東甲信越高校生溶接コンクールへの選手派遣

大会回数	年度	開催年月日	実施場所	参加者数	参加選手		受賞
					氏名	学校名	
5	H26	H26. 4. 26	東京ビックサイト	21	小野 晃信	岡谷工業高校	優秀賞
					小林 大真	中野立志館高校	
6	H27	H27. 4. 25	神鋼溶接サービス(株)溶接研修センター	22	小林 大真	中野立志館高校	最優秀賞
					丸山 愛奈	池田工業高校	
7	H28	H28. 4. 23	神鋼溶接サービス(株)溶接研修センター	22	手塚 健太	池田工業高校	
					鈴木 達也	中野立志館高校	
8	H29	H29. 4. 22	神鋼溶接サービス(株)溶接研修センター	22	高木 陽翔	中野立志館高校	最優秀賞
					原田 成	松本工業高校	
9	H30	H30. 4. 28	東京ビックサイト	22	峰村 拓門	中野立志館高校	
					森下 真羽	池田工業高校	
10	R元	H31. 4. 27	神鋼溶接サービス(株)溶接研修センター	22	汲川 智哉	中野立志館高校	
					徳竹 克彦	中野立志館高校	
-	R 2	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止					
11	R 3	R 3. 4. 24	神鋼溶接サービス(株)溶接研修センター	16* 1 (19)	工藤 成* 2	中野立志館高校	優秀賞
					中西 嵩	中野立志館高校	
12	R 4	R 4. 7. 16	東京ビックサイト	22* 1 (28)	川窪 栄斗	松本工業高校	
					千田 翔太	池田工業高校	
13	R 5	R 5. 4. 29	神鋼溶接サービス(株)溶接研修センター	22* 1 (28)	長倉 直人	須坂創成高校	優秀賞
					北原 飛翔	中野立志館高校	

\* 1 令和3～5年度は高校生ものづくりコンテスト全国大会の予選を兼ね、北陸高校生溶接コンクールと同時開催している。

日本溶接協会の地区割りと異なり、文部科学省の区分けでは長野県、新潟県は北信越ブロックに属するため、関東甲信越と北陸の両地区大会を同時開催し、関東ブロック代表と北信越ブロック代表を決定している。括弧内は総参加者数

\* 2 参加選手中、北信越ブロックで1位となり、高校生ものづくりコンテスト全国大会に出場した。

## 高校生ものづくりコンテスト全国大会 (溶接部門) への選手派遣\* 3

大会回数	年度	開催年月日	実施場所	参加者数	派遣選手		備考
					氏名	学校名	
21	R 3	R 3. 11. 13	(一社)日本溶接協会溶接技術中央検定所	10	工藤 成	中野立志館高校	北信越ブロック代表
22	R 4	R 4. 11. 12	岡山県立岡山工業高等学校	10	該当者無し		
23	R 5	R 5. 11. 11	愛知県立愛知総合工科高等学校	10	該当者無し		

\* 3 溶接部門は令和3年度の第21回高校生ものづくりコンテスト全国大会から公開競技として実施されている。

# 技術講習会及び技術導入調査事業の実施状況

## 1 学術講演会、技術講習・研修会

年度	名称	実施月日	開催場所
H25	鋼構造物の溶接技術講演会／(社)溶接学会長野地区委員会主催 ・最新のレーザー切断 ・溶接ロボットによる30度開先溶接施工 ・新日鐵住金グループの建築構造用鋼材 ・形状の異なる固形エンドタブを用いた柱梁溶接接合部の破断試験 ・鉄骨の耐震強度	9.25	長野県工業技術総合センター
H26	ガス溶接及びアーク溶接実技講師研修会 ・ガス溶接の実技指導に関する座学 ・アーク溶接の実技指導の方法に関する座学 ・ガス溶接器具の取り扱いと安全確認及びガス溶接法（薄板）等の実技実習他	9.11 9.24	上田地域高等職業訓練センター 松本技術専門学校
H27	冷間成形角形鋼管を用いた建築鉄骨構造物の溶接技術講演会／(社)溶接学会長野地区委員会主催 ・設計方法について ・ロボット溶接の最新技術 ・NBF 工法に関する実験 ・25° 開先斜め加工の実大破壊実験	9.17	ホクト文化ホール
	長野県溶接技術コンクール事前研修会	12.15	上田地域高等職業訓練センター
H29	ガス溶接及びアーク溶接実技講師研修会 ・ガス溶接の実技指導に関する座学 ・アーク溶接の実技指導の方法に関する座学 ・ガス溶接器具の取り扱いと安全確認及びガス溶接法（薄板）等の実技実習他	5.28	ポリテクセンター松本
	溶接技術研修会／上田地域高等職業訓練センター共催 ・全国大会最優秀者によるデモンストレーション及び講話	8.5	上田地域高等職業訓練センター
	建築鉄骨構造物の溶接技術に関する最新の技術動向／(社)溶接学会長野地区委員会主催 ・CO2アーク溶接 縦向き溶接の溶接条件と機械的性質 ・建築鉄骨向けメタル系コアードワイヤの特性 ・溶接部の不具合事例と対策 ・角形鋼管柱の現場ロボット溶接工法の開発 ・ビルトH梁を用いた現場溶接型柱梁溶接接合部の変形能力	10.6	長野県工業技術総合センター
H30	高校生溶接コンクール技術講習会	7.30	中野立志館高校
R元	ガス溶接及びアーク溶接実技講師研修会 ・ガス溶接の実技指導に関する座学 ・アーク溶接の実技指導の方法に関する座学 ・ガス溶接器具の取り扱いと安全確認及びガス溶接法（薄板）等の実技実習他	9.11	上田地域高等職業訓練センター
	建築鉄骨構造物の溶接技術に関する最新の技術動向／(社)溶接学会長野地区委員会主催 ・鉄骨構造用高性能冷間プレス成形角形鋼管の製品特性 ・近年の高強度・高性能建築用鋼材 ・最近の建築鉄骨向け溶接ロボットと適用状況について ・鉄骨構造実大実験の寸法工科について	11.29	長野県工業技術総合センター
R3	特定化学物質作業主任者研修／長野県労働基準協会連合会主催	9.2～3	長野県労働基準協会連合会松本安全衛生センター

## 2 技術導入調査事業

年度	実施月日	視察企業名	参加人数
平成26年	10. 8～9	富山県南砺市 川田工業(株)富山工場 富山県黒部市 YKK センターパーク	44
平成27年	10. 7～8	愛知県知多市 (株)IHI 愛知事業所	38
平成28年	9. 27～28	東京都品川区 東日本旅客鉄道(株)東京総合車両センター 神奈川県横須賀市 国立研究開発法人海洋開発機構	38
平成29年	9. 12～13	新潟県新潟市 (株)総合車両製作所新潟事業所 新潟県燕市 燕市磨や屋一番館	41
平成30年	10. 11～12	三重県津市 JFE エンジニアリング(株)津製作所 三重県津市 ジャパンマリンユナイテッド(株)津事業所 愛知県西春日井郡豊山町 三菱重工業名古屋航空宇宙システム製作所 MRJ ミュージアム	39
令和元年	10. 9～10	茨城県ひたちなか市 日立建機(株)常陸那珂臨港工場 茨城県つくば市 航空宇宙研究開発機構筑波宇宙センター	37
令和2年	-	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止	-
令和3年	-	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止	-
令和4年	10. 5～6	石川県小松市 (株)小松製作所粟津工場	17
令和5年	-	創立70周年記念事業実施のため計画なし	-



平成26年10月8日 川田工業(株)富山工場視察



平成26年10月9日 YKK センターパーク視察





平成27年10月7日 (株)IHI 愛知事業所視察



平成28年9月27日  
東日本旅客鉄道(株)東京総合車両センター視察



平成28年9月28日  
国立研究開発法人海洋開発機構



平成29年9月12日  
株総合車両製作所新津事業所視察



平成29年9月12日  
燕市磨や屋一番館視察



平成30年10月11日  
ジャパンマリンユナイテッド(株)津事業所



平成30年10月12日  
三菱重工業名古屋航空宇宙システム製作所  
MRJ ミュージアム視察



令和元年10月9日  
日立建機(株)常陸那珂臨港工場視察



令和元年10月10日  
航空宇宙研究開発機構  
筑波宇宙センター視察



令和4年10月5日 (株)小松製作所栗津工場視察



# 協会事業の動き

平成25年からの10年間に新たに取組んだ事業など主な協会の動きをご紹介します。

年度	名称
H26	<p>長野県高校生溶接コンクール開催</p> <p>(一社)日本溶接協会東部地区溶接技術検定委員会他では平成23年から関東甲信越高校生溶接コンクールを開催しており、近隣県では代表選考を兼ねて県の高校生溶接コンクールを開催する動きがありました。当県では当時高校生溶接コンクールを開催しておらず、代表選手を選考する方法がありませんでしたが、中野立志館高校から大会への出場希望があり、平成26年の第5回関東甲信越高校生溶接コンクールに中野立志館高校の小林大真さんが出場しました。これを契機として、関東甲信越高校生溶接コンクールへ当県の高校生が出場できる枠組みが必要となり、長野県工業高等学校長会と協力して、長野県高校生溶接コンクールを開催する準備を進めました。第1回大会は平成26年12月14日に中野立志館高校で開催され、3名の高校生が競い合いました。以降、毎年中野立志館高校で開催を続け、今年度は12月16日に4校、6名の参加者を得て第10回大会を開催する予定です。</p>
R 2	<p>溶接技能向上講習会の開催</p> <p>(一社)日本溶接協会では、平成30年度から溶接技能者の技能向上を目的として「溶接技能向上のための講習会」を開催しております。学科講習の後に実施する修得度確認試験で教育成果が確認できれば、溶接技能者評価試験の学科試験が免除になるなどのメリットのある講習会で、当協会では令和2年度から半自動溶接部門を実施する計画でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大などが影響し、参加申込み者が少なく実施できませんでした。令和3年度は8名の参加者を得て初めて開催しました。翌4年度は5名と少人数でしたが、令和5年度は21名の方が参加しています。</p>
R 2	<p>新型コロナウイルス感染症の影響</p> <p>令和元年の暮れに中国で発生した新型コロナウイルス感染症の感染が拡大し、令和2年度は多くの協会事業が影響を受けました。定時社員総会は初の書面決議となり、理事会、地区担当者会議、技術導入調査、長野県溶接技術コンクールも中止となりました。評価試験、ガス溶接技能講習会、アーク溶接特別教育講習会も年度前半は開催が困難で、延べ20回の試験・講習会を中止または延期をせざるを得ませんでした。年度後半は受講者の人数制限、マスク着用、手指の消毒など感染予防を徹底した上で実施しました。令和3年度も定時社員総会は書面決議となり、技術導入調査も2年連続の中止となりましたが、評価試験、ガス溶接技能講習会、アーク溶接特別教育講習会、溶接技術コンクール等は感染予防策を継続して殆ど予定通り実施することが出来ました。しかしながら会場の人数制限のため受講者は減少しました。令和4年度はコロナ禍が継続する中ではありましたが定時社員総会、理事会を通常開催し、技術導入調査・地区担当者会議等は3年ぶりに実施することができました。</p>
R 3	<p>外国人向け講習会の開催</p> <p>当協会では、ガス溶接技能講習会およびアーク溶接特別教育講習会を実施して参りましたが、令和元年頃から外国人受講者が増え、通訳者が同席することによる問題など一般の受講者に影響が出る事案が発生するようになりました。そこで外国人向け講習会を令和3年度に新設し、通訳者の同席を認める、講義時間を長くしてゆっくり丁寧に説明する、試験問題はふりがな付きのものを用意する等の対応を取ることとしました。令和3年度はガス、アーク共に1回の開催とし、ガスが20名、アークが12名の参加者がありました。令和4年度はガスの講習会の希望者が多く臨時1回の開催を含めて35名の方が受講しています。アークの受講者は19名でした。令和5年度はガス2回、アーク1回の開催を予定しています。</p>
R 4	<p>溶接技能者評価試験申込手続きのweb化</p> <p>(一社)日本溶接協会では、受験者の利便性向上のため、令和4年度よりe-Weldによる溶接技能者評価試験のオンライン申請を始めました。マイページの作成など手続きが煩雑、メールによるお知らせが分かり難い等のご意見もお寄せいただいておりますが、郵送による手続きが不要、オンラインにより手続きのタイムラグがなくなるなど、システムに慣れて頂く事によりweb化のメリットを感じていただけていると思いますので引き続きよろしく願いいたします。</p>

# 創立70周年記念表彰受賞者名簿

## 1 長野県知事表彰

	氏名	企業名・所属	所在地・住所
1	五味 光亮	(株)イツミ	諏訪郡原村
2	宮島希予人		上田市
3	飯田 弘己		長野市
4	堀内 幸芳	(有)堀内溶接工業所	上田市
5	横山 正一	(有)横山酸素店	松本市

## 2 一般社団法人日本溶接協会会長表彰

	氏名	企業名・所属	所在地・住所
1	柳澤 章	(株)柳澤鐵工所	佐久市
2	長岡創一郎	長岡鉄工(株)	北佐久郡軽井沢町
3	手塚久仁彦	コトヒラ工業(株)	東御市
4	清水 香樹	岡谷酸素(株) 岡谷営業所	岡谷市
5	佐塚 健	(有)タケイサンキ	岡谷市
6	中森 貴幸	岡谷酸素(株)	松本市
7	加藤 一夫	カトウ・テック(株)	上伊那郡南箕輪村
8	松井 俊仁	(株)金丸松井鉄工所	駒ヶ根市
9	滝澤 文夫	滝澤鉄工(株)	伊那市
10	塚平 英治	(有)塚平鉄工所	飯田市
11	高木 常行	フィット工業(株)	松本市
12	羽多野雄一	岡谷酸素(株)	松本市
13	田中 幸一	(株)田中機器製作所	松本市
14	武田 隆志	元日酸 TANAKA (株)	千曲市
15	塚田 弘道	(有)美弥ステンレス工業	千曲市
16	羽生田豪太	(株)羽生田鉄工所	長野市

## 3 一般社団法人日本溶接協会東部地区溶接技術検定委員会委員長表彰

	会場名	所在地・住所
1	長野県南信工科短期大学校	上伊那郡南箕輪村
2	(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構 長野支部 長野職業能力開発促進センター 松本訓練センター	松本市
3	(株)角藤 鉄構事業部	長野市
4	善光産業(株)	長野市

	会 場 名	所在地・住所
5	(株)青木鐵工所	須坂市
6	上田地域高等職業訓練センター	上田市

#### 4 一般社団法人長野県溶接協会理事長表彰

	氏 名	企業名・所属	所在地・住所
1	高橋 厚志	丸新鉄工	小諸市
2	瀧澤壽美雄	(有)滝沢鉄工所	北佐久郡立科町
3	井出 敏一	井出鉄工	佐久市
4	櫻井 茂男	(有)櫻井工業	小諸市
5	新海 一男	(有)新海鉄工所	佐久市
6	徳武 雅彦	松山(株)	上田市
7	綿谷 憲一	(株)綿谷製作所	上田市
8	宮下 孝夫	(株)ミヤシタ	上田市
9	松井 利光	(株)アルカディア	上田市
10	林 大介	岡谷酸素(株) 上田営業所	上田市
11	杵掛 和男	(株)杵掛工業	上田市
12	坂尻 信行	(株)三協産業	上田市
13	石川 卓也	(有)石川工業	岡谷市
14	藤森 克一	岡谷酸素(株) 諏訪南営業所	諏訪郡富士見町
15	増澤 晴紀	岡谷酸素(株) 岡谷営業所	岡谷市
16	小坂 博志	(株)中野屋ステンレス	伊那市
17	小澤 勝巳	信州中建工業(有)	駒ヶ根市
18	新井 紀和	(有)新井鉄工所	駒ヶ根市
19	熊谷 壘	(株)クマガイメッシュ	上伊那郡中川村
20	原 誠	(株)原鉄	飯田市
21	山下 敏治	(有)山下鉄工所	飯田市
22	今村 陽俊	(有)今村鐵工	飯田市
23	山田 剛	山田鐵工(有)	飯田市
24	堀内 達雄		松本市
25	田山 義博		安曇野市
26	稲垣富士夫		松本市
27	米山 博		松本市
28	窪田 洋一		東筑摩郡筑北村
29	松本商工会議所		松本市

	氏名	企業名・所属	所在地・住所
30	宮原 誠	(有)宮原酸素工業所	埴科郡坂城町
31	樽田 俊秀	大晴工業(株)	長野市
32	横山 和雄	横山アーク(株)	埴科郡坂城町
33	宮坂 東	岡谷酸素(株) 長野南営業所	千曲市
34	吉田 淳	吉田製作所	千曲市
35	渋澤 友綱	オリオン機械(株)	須坂市
36	丸山 隆	(有)丸山鉄工所	中野市
37	須田 和重	(株)エスケー	長野市
38	大日野茂行	(株)オオヒノ	長野市
39	豊田 章	(株)羽生田鉄工所	長野市
40	宮崎 文也	(株)前田鉄工所	須坂市
41	小林 大真	(株)羽生田鉄工所	長野市
42	土田 政義		須坂市
43	広瀬 裕二	トライアン(株)	長野市
44	原 順子	長野溶接工業会	長野市

#### 5 一般社団法人長野県溶接協会理事長表彰貢献賞

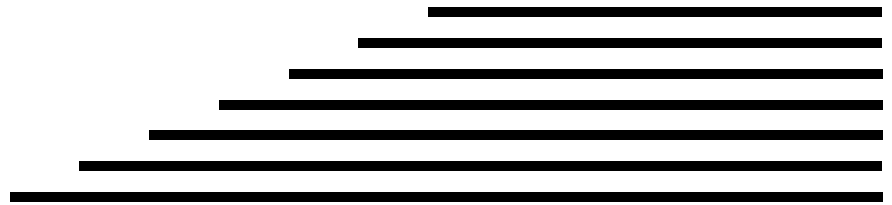
	氏名	企業名・所属	所在地・住所
1	石田 常夫	(株)角藤 鉄構事業部	長野市
2	黒子 智	日酸 TANAKA (株)	千曲市
3	菅野 崇	日酸 TANAKA (株)	千曲市
4	小林喜八郎		長野市
5	笠井 淳	岡谷酸素(株)	長野市
6	中島佐久男	岡谷酸素(株)	佐久市
7	桑澤 政光		上伊那郡箕輪町
8	沓掛 延幸		上田市
9	沖村 啓治		上伊那郡南箕輪村

#### 6 一般社団法人長野県溶接協会理事長表彰感謝状

	機関名等・氏名／所属等	所在地・住所
1	長野県工業技術総合センター 材料技術部門	長野市
2	産報出版(株)	東京都
3	(株)日刊工業新聞社	東京都
4	長野県職業能力開発協会	長野市

	機関名等・氏名／所属等		所在地・住所
5	(株)神戸製鋼所 溶接事業部門		東京都
6	中野地域職業訓練センター		中野市
7	長野地域職業訓練センター		長野市
8	佐久高等職業訓練校		佐久市
9	松本技術専門校		松本市
10	テクノプラザおかや		岡谷市
11	飯田勤労者福祉センター		飯田市
12	日酸 TANAKA (株)		千曲市
13	小林 和昌	元事務局長／溶接学会永年会員	長野市
14	近藤 友巳	前事務局長	千曲市
15	三善 理栄	事務局 元書記	長野市
16	松橋 利奈	事務局 書記	長野市





## 各地区の歩み

# 佐久溶接協会

会 長 長岡創一郎  
事務局 〒384-0025 小諸市相生町 3-3-12  
小諸商工会議所内  
TEL 0267(22)3355 FAX 0267(23)9030

## 会長あいさつ



会長 長岡創一郎

一般社団法人長野県溶接協会創立70周年に際し、心からお喜び申し上げます。この記念事業に当たり、一協会員としてあいさつの会をいただき、大変光栄に感じております。

佐久溶接協会は、県内各協会の中でも最初期に設立され、長野県溶接協会が発足する前から組織されていたとのことです。県関係の会議等では、諸先輩方を差し置いて一番席に座らせていただき、毎度恐縮しております。しかしながら、毎回この70年にわたる長い歴史のある会に責(席)として自分なりに重く受け止め、参画させていただいております。

佐久溶接協会では、アーク溶接、ガス溶接技能講習の講師派遣、労働基準監督署と合同での管内事業所巡回を定期事業として行っており、理事の皆さんを中心に協力して運営しています。また、「協会の力になれるような活動を」と考え、総会時には世情に応じた様々な講習会を行ってきました。ここ数年のコロナ禍でも、できる限り会員同士お互いに顔を合わせ、話ができる機会を、との思いで活動しています。

昨今の少子化、デジタル化などで様々な分野で合理化やデジタル化が図られ、人から機械へと技術がシフトしてきています。ただ、どうしても人の手に頼らなければならない技術も同時に見直されてきているとも感じます。私は「溶接技術」もその一つではないかと思えます。職人さんたちの華麗なビードはもはや伝統技術といってもいいのではないのでしょうか。長野県溶接協会の70年という歴史は、伝統技術の継承という大事な役割を担っているのだと改めて感じています。また、これからさらに希薄になっていくであろう、人と人とのコミュニケーション、出会いの場のひとつとして、長野県溶接協会が今後もますます繁栄し、80年、さらに100年へと歩みを進めていかれることをお祈り申し上げます。

## 佐久溶接協会の活動

佐久溶接協会は佐久・南佐久・川西・浅麓と4地区で成り立っており、現在は、会長・副会長4名(各地区1名)・理事10名・監事2名で組織されています。また、事務局は発足当初から小諸商工会議所に委託しております。理事会や正副会長会議など会議は随時行い、より良い組織づくり、運営体制を築いております。

ガス溶接技能講習会やアーク溶接特別教育講習会は佐久地区では「佐久高等職業訓練校」をお借りし実施し、多くの技能者の育成に努めており、「佐久平総合技術高等学校」で各講習を実施の際は実技講師の派遣も実施しております。



このほか、年に1回小諸労働基準監督署の職員の方に同行いただきながら、企業巡回指導を4地区交代で行い、企業で見逃されていた危険箇所を指摘し、専門的な指導により未然に労働災害を防ぐ取組みも行っております。

このような地域企業の力になる活動をこれからも続けて参ります。これまで築き上げていただいた佐久溶接協会を「優秀な技能者の育成」「地域に貢献できる協会」として存続させることを会員・役員共に努めて参ります。

最後に長野県溶接協会の益々のご発展を祈念いたします。



ガス溶接技能講習会（座学）



アーク溶接特別教育講習会（実技）







上小地区溶接コンクール



上小地区溶接コンクール 表彰式

翌年の令和4年には、TIG溶接の競技種目を追加し26名の参加がありました。

この取り組みの結果として、令和4年度長野県溶接技術コンクール・炭酸ガスアーク溶接の部において篠原祥吾氏（松山(株)）が最優秀賞を受賞することが出来ました。

これからの時代を担う若い溶接技術者を育てるためにも、今後も当コンクールへの参加を通して技術研鑽の場としての取り組みを行って参ります。

最後に、協会の益々の発展と会員皆様のご健勝をお祈り申し上げます。

# 諏訪溶接協会

会 長 佐塚 健  
事務局 〒394-0034 岡谷市湖畔 1-15-6  
岡谷酸素(株)岡谷営業所内  
TEL 0266(22)4931 FAX 0266(22)1562

## 地区会長のことば



会長 佐塚 健

一般社団法人 長野県溶接協会がここに創立70周年を迎えられますことに心よりお祝い申し上げます。70年という長い歴史を積み重ねられたことは歴代の理事長をはじめとし、役員の皆様、そして協会の皆様のご尽力の賜物であり、改めて敬意を表し感謝を申し上げます。

私共、諏訪溶接協会も平成20年の合併以来15年の歴史を刻んでまいりました。この間、決して順風満帆が続いていたわけではなく、特にこの3年間は新型コロナウイルス感染症の猛威に翻弄され、協会活動もままならない状態でありました。そのような厳しい状況を乗り越え、徐々にではありますが今春には以前のような活動を行えるようにまで戻ってまいりました。本年6月には久しぶりに従来規模の定時総会を開催することができるようになりました。

現在、当協会が抱えております課題としては、長らく言われております会員数の減少と、高齢化による後継者不足であります。昨今の世の中においては新たな技術も普及し、時代の変わり目を強く感じるところです。しかしながら、産業の基礎技術であります金属溶接の技術者の育成に私共は努めていかななくてはならないと考えております。今後も長野県溶接協会のご指導を賜り、当協会員並びに地域の皆様の協力を得ながら協会運営に努めて参ります。

次なる周年に向けて、皆様とともに頑張りましょう。

## 地区の活動

地域内の産業構造が大きく変化する中、溶接技術者の育成不足や世代交代の停滞により、益々「溶接工程」というものが大きな課題となっている状況と言えます。本会は情報提供や各種講習会の開催を通じ、少しでも課題改善につながるような活動を提供していきたいと考えております。

また、定時総会には諏訪広域圏内六市町村首長様をお招きし、地域に根付いた活動と協力の報告を継続しております。

主事業活動でありますガス溶接技能講習とアーク溶接特別教育講習会につきましては毎年1回の開催を継続しています。実技設備・機器の老朽化や実技講師の高齢化、更には開催会場等、課題も沢山ありますが、地域の皆様にご協力頂き、継続開催が実現しています。また、地域内の職業高校向けの講習会にも実技講師を派遣することにより、若年層の育成にも微力ではありますが協力をさせていただいています。

平成29年には発足10周年記念の視察研修を開催し、親睦を深め、更なる発展を目指してまい

りました。視察先の(株)神戸製鋼所 藤沢工場では溶接ロボットや溶接ワイヤー製造工程を見学、その後の懇親会では親睦をさらに深めました。令和10年には発足20周年記念の催しが開催できるよう、今後も活動をしていきたいと考えております。

最後に、一般社団法人 長野県溶接協会並びに加盟企業の皆様のご発展を重ねてご祈念申し上げます。



各種講習会実技講習



(株)神戸製鋼所 藤沢工場視察



国会議事堂見学



# 上伊那溶接協会

会 長 松井 俊仁  
事務局 〒399-4102 駒ヶ根市飯坂 1-21-20  
(株)金丸 松井鉄工所内  
TEL 0265(83)6361 FAX 0265(83)2581

## 地区会長のことば



会長 松井 俊仁

一般社団法人 長野県溶接協会創立70周年を迎えられましたこと、大変喜ばしくお祝い申し上げます。

上伊那溶接協会の礎は県溶接協会より1年早く発足し、現在に至っています。

上伊那溶接協会は、昨年70周年記念事業開催の年でしたが、コロナ禍との事、残念ですが記念品を作製しお祝いを致しました。

月日の過ぎるのも早く感じる年となった今日この頃、また、上伊那溶接協会の会長を務めさせて頂いて早6年、協会の技術委員、理事、副会長と20年の月日を迎えて今に至っています。

6年の任期中、県の溶接コンクールで団体優勝に2回携わることもでき大変うれしく思います。毎日が勉強で、これからもますます県協会と連携し高い溶接技術水準確保、技術者安全確保、環境管理等に努めて参りたいと思います。

最後に今後の協会、会員皆様の益々のご活躍、ご健勝をお祈り申し上げます。

## 上伊那溶接協会の活動、あゆみ

上伊那溶接協会の例年最大事業活動として3高等学校（駒ヶ根工業高等学校、上伊那農業高等学校、箕輪進修高等学校）の受講希望の学生と、一般企業受講希望者で、ガス溶接技能講習会、アーケ溶接特別教育講習会を開催しています。ここ数年コロナ禍のため140人位で推移し、南信工科短期大学校で開催しています。

県溶接協会に関しては、隔年の長野県溶接技術コンクール準備、運営、参加者対応等の事業促進、また溶接技能者評価試験準備、運営に関する事業の推進等を行っています。

上伊那溶接協会ここ10年活動の歩み（令和5年 郡会員11社含む）

平成26年～平成27年	会長 加藤 一夫	会員 86社
平成28年～平成29年	会長 加藤 一夫	会員 79社
平成30年～平成31年	会長 松井 俊仁	会員 73社
平成30年度	第58回 長野県溶接技術コンクール団体優勝	
令和2年～令和3年	会長 松井 俊仁	会員 67社
令和3年度	第60回 長野県溶接技術コンクール団体優勝	
令和4年度	(株)ヤマウラ 熊谷和成さん全国大会出場（優良賞）	
令和4年～令和5年	会長 松井 俊仁	会員 65社

上伊那溶接協会 役員名簿 令和4年～5年

役職	氏名		事業所
会長	松井 俊仁 (株)金丸 松井鉄工所		
副会長	滝澤 文夫	滝澤鉄工(株)	赤羽 健治 赤羽鉄工(株)
会計	中村 定夫 中村鉄工所		
監事	中村 由和 (有)春近鉄工業		久保村 勉 久保村工業
理事	吉江 英二 (株)IHI 回転機械 EG		登内 栄一 (有)登内鉄工
	松澤 武夫 (有)カクミ		小松 広茂 岡谷酸素(株)伊那営業所
	富島 克洋 (有)富島鉄工所		小坂 博志 (株)中野屋ステンレス
	平澤 英夫 ヒラサワ空調技術		小澤 勝巳 信州中建工業(有)
	新井 紀和 (有)新井鉄工所		熊谷 壘 (株)クマガイメッシュ
顧問	加藤 一夫 カトウ・テック(株)		



総会風景



評価試験風景



# 飯伊溶接協会

会 長 戸 崎 敬  
事務局 〒395-0801 飯田市鼎中平 2380-3  
戸崎製作所内  
TEL 0265(22)5710 FAX 0265(52)5425

## 地区会長の言葉



会長 戸崎 敬

一般社団法人 長野県溶接協会が発足70周年を迎えられますことに心からお祝い申し上げます。

飯伊溶接協会は長野県溶接協会発足と同じ年の昭和29年に発足いたしました。当時は飯田機械鉄工業協同組合が飯田機械鉄工組合となり、溶接部門は飯伊溶接協会として独立したと記録されています。現在の溶接器具及び溶接技術の進歩には驚かされますが、“溶接”と言う技術を再認識して、『いかに安全に作業できるか』を地域内の会員や受講者の皆様とともに勉強させて頂いています。

溶接関連の事故を起こさないように努めようと会員一同頑張っています。

長野県溶接協会様の今後益々のご発展と、会員企業様のご発展、ご活躍をご祈念申し上げます。

## 地区の活動

飯伊溶接協会では年2回のガス溶接技能講習会と年1回のアーク溶接特別教育講習会を開催しています。一般事業所の従業員の方をはじめ下伊那農業高等学校、飯田 OIDE 長姫高等学校（旧飯田工業高等学校と旧飯田長姫高等学校が統合）の生徒さんたちの受講を頂いています。最近では、飯田地方でのリニア中央新幹線などの大型建設工事に伴い大手建設会社の現場も増え、そこで従事する方たちの受講も増えています。

飯伊地区には講習を行えるような適当な施設が無く、発足当時は市役所の空き部屋での講義に続き神社の境内での実技講習を行ったという話も耳にします。

また、各高校の実技教室での実施や屋外駐車場にテントを張っての実技講習を行ったこともありました。

お陰様で現在では飯田勤労者福祉センターでの講義と建物1階駐車場での実技講習が行えるようになり天候に左右されずに安心して各技能講習が行えるようになりました。現在9名の指導員体制でガス溶接技能講習とアーク溶接特別教育を行っています。

それぞれの指導員は発足当時の会員の2代目が引き継ぎ、充実した指導をさせて頂いています。年に数回の指導員会を開催して、講習会時の実技指導の反省や指導員相互の親睦を深めまとまった組織となるように努めています。

長野県溶接協会様のご指導の下、指導員の勉強会への積極的な参加を行い技術指導の向上に努めるとともに安全への取り組みを第一に今後も的確な指導が行えるように努めてまいります。





ガス溶接技能講習会 実技



ガス溶接技能講習会 実技



ガス溶接技能講習会 学科

# 中信溶接協会

会 長 高木 常行  
事務局 〒390-8503 松本市中央 1-23-1  
松本商工会議所内  
TEL 0263(32)5350 FAX 0263(32)1482

## 地区会長の言葉



会長 高木 常行

一般社団法人長野県溶接協会創立70周年を迎えられましたこと、まことに喜ばしく、謹んでお祝い申し上げます。

当協会も「中信溶接研究会」として、松本を中心に北は大町から南は木曾地方まで広範囲にわたる地域企業を会員として、昭和31年に発足して以来、諸先輩方の技術革新への真摯な取り組みと弛まざる努力、そして会員の皆様のご理解、ご協力に支えられ今日を迎えております。

製造業、溶接作業者を取り巻く環境も、東日本大震災からの復興、2021東京オリンピック、2025日本国際博覧会へと、高度な溶接技術が社会から益々期待されている一方で、基盤を支える溶接技能者の不足が表面化するなど依然として厳しい状況も続いております。

長野県溶接協会の主催のもと、ガス溶接技能講習、アーク溶接特別教育など各種講習会の実施を通じて、これからも高い技術水準を保ちながら溶接作業に携わる技術者への安全の確保と環境づくりへの努力を行って参りたいと考えております。

## 中信溶接協会の活動

長野県溶接協会主催のもと、春に、学校法人未来学舎「松本情報工科専門学校」自動車整備学科とスポーツバイシクル学科の一年生と一般社会人を対象としたガス溶接技能講習会、アーク溶接特別教育講習会を、秋にはガス溶接技能講習会、アーク溶接特別教育（3日間コース）講習会を実施しております。

また、中信地域松本、安曇野、塩尻の3市3商工団体が「ものづくり体験教室や化学実験教室を開催し、将来を担う子供たちに、ものづくりや理工学に関心を持ってもらうこと」を目的に開催する「まつもと広域ものづくりフェア」への参加、協賛を通じ、未来のものづくりを担う若者や子供たちの育成にも力を入れております。



アーク溶接特別教育講習会



まつもと広域ものづくりフェア

中信溶接協会 歴代会長

青木 昌尚	昭和31年度～昭和42年度
横林 九一	昭和43年度～昭和52年度
澤井 鈔	昭和53年度～昭和54年度
米沢 千万人	昭和55年度～昭和56年度
内ヶ島 吉広	昭和57年度～昭和58年度
小松 立男	昭和59年度～平成 6 年度
黒田 護	平成 7 年度～平成10年度
一ノ瀬 清秀	平成11年度～平成13年度
倉科 季男	平成14年度～平成23年度
横山 正一	平成24年度～令和 3 年度

# 南長野更埴溶接協会

会 長 塚田 弘道  
事務局 〒387-0018 千曲市大字新田 823  
日酸 TANAKA (株)長野工場内  
TEL 026(272)2700 FAX 026(272)6822

## 南長野更埴溶接協会の活動



会長 塚田 弘道

一般社団法人長野県溶接協会の創立70周年を迎えられたこと、心よりお喜び申し上げます。

南長野更埴溶接協会は、長野市篠ノ井地区、川中島地区、松代地区、千曲市および坂城町の5地区の会員企業約50社の協力で活動しております。

この10年間の事業や活動として、例年長野県溶接協会主催のガス溶接技能講習会、アーク溶接特別教育講習会を地区講師で分担し実施してきました。近年、女性の受講が目立つようになり、明るい雰囲気での質問が出ることもあり、研究熱心なところをうれしく思っています。

過去10年の出来事として2008年秋のリーマンショック以降、世界同時不況から持ち直し、第4次産業革命によるAI、IoT、ロボットの技術の発展があり、国内では北陸新幹線の金沢延伸、造船業界の再編、近年の動きとして石油等の燃料価格の高騰、半導体不足、カーボンニュートラル、電気自動車の台頭等、業界の変化も慌ただしくなりました。また、新型コロナウイルスの流行で、1年遅れの東京オリンピック、パラリンピックが行われました。新型コロナ禍により例年の講習会の中止・延期となる中、ようやく通常開催に戻りつつあり、新型コロナウイルスへの感染防止策が緩和されてウェルディングショー等の展示会も開催されました。ガス溶接技能講習会、アーク溶接特別教育講習会においては製造業の景況感が改善している中、南長野更埴溶接協会の受講者も満員の状況が戻ってきました。講習会においても改正される労働安全衛生法等の法令に則り環境を改善し、ガス溶接、アーク溶接共に実技のルールを守って実施いたしております。

なお、南長野更埴溶接協会も創立50周年を迎え、地区会員の健康管理に役立てていただけるよう記念品としてタニタ体組成計を配布いたしました。これからも会員の皆様の希望と協力を得ながら活動して、地域の産業の発展に寄与すべく、会員数をさらに伸ばしていきたいと思っております。

最後に一般社団法人長野県溶接協会の益々のご繁栄を御祈念申し上げます。





ガス溶接技能講習会



ガス溶接技能講習会

# 須高溶接協会

会 長 片桐 卓也  
事務局 〒382-8502 須坂市大字幸高 246  
オリオン機械(株)内  
TEL 026(245)1230 FAX 026(246)1344

## 地区会長の言葉



会長 片桐 卓也

一般社団法人長野県溶接協会がここに創立70周年を迎えられましたことに対しまして、心からお祝いを申し上げます。貴協会におかれましては、長年にわたりまして長野県全地域の技術革新、地元産業の振興に多大なる貢献をされました歴代関係者の皆様のご尽力に、改めまして敬意を表する次第でございます。

当協会の活動につきましても長年にわたりご指導、ご支援を頂きましたことに、改めて感謝を申し上げます。

当須高溶接協会は、須坂市・上高井郡を中心に、現在は13社にて活動を行っております。活動に関しましては、長野県溶接協会をはじめ各地区の協会役員、また会員の皆様のご多大なるご理解とご協力に支えられ、今日を迎えております。

溶接業界を取り巻く環境も、経済状況の悪化による材料の調達難、価格高騰や人材不足等の影響を少なからず受けておりますが、今後も溶接作業に携わる技術者への、安全な環境づくりと、人材育成への指導を行って参りたいと考えております。

結びに今後の長野県溶接協会の益々のご発展と会員皆様のご健勝をお祈り申し上げます。

## 須高溶接協会の活動

当協会は、長野県溶接協会のご指導のもと、中高溶接協会と連携を図りながら、ガス溶接技能講習会を中心に実施しております。近年コロナ禍もあり、昨年度は限られた人数での開催ではありましたが、年2回の講習会を実施しております。会員地域以外も含め多数の方々に受講頂き、大きな事故もなく現在に至っていることは大変喜ばしいこととあります。

その他、地域の若者への溶接技能の継承、人材育成を目的として、須坂創成高校でのガス溶接技能講習会にも協力させて頂いております。

<須高溶接協会の歴代会長>

- ・昭和29年～ 羽生田 三郎、中村 俊美、武藤 喜代次、大栗 桂之助、  
大栗 富太、湯本 等、大栗 輝夫、篠原 厚海、春原 忠夫、  
下田 哲郎、岩井 正、相澤 利益、西原 重喜
- ・平成23年～25年 齊藤 三男、須藤 康浩
- ・平成26年～27年 山崎 克行
- ・平成28年～29年 平野 敏夫
- ・平成30年～令和1年 小田切 旭
- ・令和2年～3年 小林 康弘
- ・令和4年～ 片桐 卓也、副会長：安藤 一雄、理事：山崎 克行、  
監事：小林 和幸、相談役：小林 康弘

【令和5年6月15日、16日実施のガス溶接技能講習会風景】

(中野地域職業訓練センター)



ガスボンベ、器具の取り扱い



溶断実習



溶接実習1



溶接実習2

ガス溶接技能講習会を通じて今後の溶接業界を担う若い人たちに、ものづくりの楽しさや、奥深さを経験頂き、未来の技術者へと育てていって頂ければと願っております。



# 中高溶接協会

会 長 小野澤幸人  
事務局 〒389-2255 飯山市大字静間 280-1  
飯山陸送(株)内  
TEL 0269(62)3351 FAX 0269(62)0591

## 地区会長の言葉



会長 小野澤幸人

一般社団法人長野県溶接協会創立70周年を迎えられますこと、心よりお祝い申し上げます。当協会は、中野・飯山地区を中心に、県協会、地区会員、会員の皆様のご理解、ご協力に支えられ今日を迎えております。

## 地区の活動

事業活動は、毎年、須高溶接協会主催と合同でガス溶接技能講習会を実施しております。

令和元年には、中国をはじめ世界中で新型コロナウイルス感染症が拡大し、令和2年は、日本での感染が見られ、人口の多い首都圏を中心に瞬く間に拡大してしまいました。死者も多数出るような日々も続き、ニュース番組でも多く取り上げられ、日常生活及び社会活動に不安を抱える毎日となりました。その影響下、様々な講習会が中止となり、当協会でも、令和2年度のガス溶接技能講習会の開催を見合わせる事となりました。

令和3年・4年度は、人数制限・人との距離間などの対策をしつつ、年2回にわけて開催することができました。

今年度は、中野市中野地域職業訓練センターをお借りして、5月15日・16日の2日間の日程で行いました。新型コロナウイルスが5類感染症に移行となり、人数制限も緩和され、2回に分けて開催していたものを、一度の開催とすることが出来ました。

中野・飯山地域では、少子高齢化が進んでいる中でも、10代・20代の受講者が多くみられました。その光景はとても新鮮に見え、これからの若い方々の技術の向上や、安全に作業していく為に大切な事だと思いました。

2日目は、4つの班に分かれて中高・須高地区の会員より1名ずつ、県協会より2名の方に講師にお越しいただきました。会員数、登録講師数共に以前より減少してきており、事業を行って行くには厳しい環境下におかれています。その中での実技講習当日は、暑い中屋外での実技でしたが、作業工程1つ1つ丁寧に指導して下さる講師の方、受講生の一生懸命に学ばれる姿勢がとても印象に残りました。

講師を務められた方々と、これからの協会の技術と知識を引き継ぎながら、これからの発展、社会貢献できる人材を育成していきたいと思っております。



ガス溶接技能講習

ここで、中高地区の魅力を紹介させていただきます。

中野地域では、きのこや果物の生産が盛んで、その中でえのき茸の生産出荷量が日本一と言われております。えのき茸で作る中野市特産のえのき氷は、えのき本来の栄養分を効率よく摂取できると人気があり有名です。果物では、シャインマスカットやりんごが特産で、市内多くの果樹園があります。

飯山地域では、日本有数の豪雪地域です。近年有名なのが、飯山市寿で行われている「かまくら祭り」です。皆様もご存じだと思いますが、会場にはかまくらが数多く作られており、とても幻想的で全国各地及び外国人観光の方々からもとても人気です。そのかまくらの中で、白菜やきのこ等の地元産野菜を入れた信州味噌仕立ての名物「のろし鍋」を食べる事ができます。

平成27年には、北陸新幹線・長野～金沢間が開通し、「飯山駅」が誕生。全国各地からのアクセスがぐっと便利になりましたので、機会がありましたらぜひお越しください。



# 長野溶接工業会

会 長 羽生田豪太  
事務局 〒380-0954 長野市大字安茂里字本上河原 8102 長野県板金工業組合内  
TEL 026(227)7187 FAX 026(228)5945

## 地区会長の言葉



会長 羽生田豪太

平成26年から令和5年までの10年間、長野溶接工業会は飯田前会長から羽生田に代替わりをいたしました。令和2年、新型コロナウイルス禍の真ただ中、世界中に感染症は蔓延し、いつ頃収束するかの先行きも見えなくなってきたころでした。70年近い歴史を持つ当工業会の歴史上、書面決議での総会というのは初めてではなかったかと思います。現在では終息宣言が出され、原稿を書いている初夏のこの時期には、ようやく市民生活も以前のように戻りつつあります。次の10年の間に、世界の様々な情勢がどうなるか予測することは困難ですが、これまでの3年半を失われたものとしないう、経験を今後に活かしていきたいと思えます。

## 10年間の歩み

### 新型コロナウイルス感染症

コロナ禍以前の6年間、年間の行事の多くは常設のイベントであり、6月開催が基本の理事会・総会・懇親会から年度が始まると、アーク溶接特別教育講習会の開催、暑気払いを兼ねた役員会、秋のゴルフ大会、忘年会を兼ねた役員会、年明けは全会員対象の新年会、ガス溶接技能講習会と続き、隔年で開催される Welding Show の視察見学会と前後して、翌年度に移っていくという、概ねそんな流れでした。

そのような流れが大きく変わったのが、2020年2月ころより日本を襲った、新型コロナウイルス感染症の広がりです。時を同じくして、同年6月より私は新会長となるわけですが、新旧交代の総会は書面決議という船出であり、実感のないスタートとなりました。

その後、令和2年度の行事は、例年暑気払いを兼ねて行う役員会を、会議のみとして行い、令和2年度に交代した新旧正副会長にて少人数の会食を行ったというのが、たった一度のリアル開催でした。

コロナ禍も一年を経過、With コロナというマインドも醸成されてきた中、令和3年6月3日、ホテルメトロポリタンにて、懇親会をともなう総会の開催にこぎつけることができました。普段はお酒を飲むと大変元気になる諸先輩方も、お酌にいかない、着座にて手酌で飲む、といったルールを守っていただき、久しぶりに楽しく過ごすことができました。翌年も同様にメトロポリタンにて開催いたしました。アフターコロナである令和5年度は、いよいよコロナ前のシステムにて、久々のやま茶屋において開催したところです。



## 溶接技術者交流会

2017年度の総会懇親会、新建新聞社の小池氏との会話を発端に、その場で当時の飯田会長の合意をいただきスタートした、会員企業を中心とした、溶接技術者同士の交流会。当初は「溶接男子・溶接女子」として口火を切りましたが、実際には溶接女子は参加しておらず（当時の参加各社には女性の溶接士がいなかった）、数多の苦情の声も鑑み、3年目から「溶接男子」と、名称を変更しました。最初の3年間は夜、居酒屋などに集まり、ディスカッション、技術情報インプット、交流会（メイン行事）を行いました。コロナ期間に入り、飲み会が難しくなったため、「昼の陣」と名称を変え、初年度（2020年）は前年度、長野県溶接技術コンクールの各部門優勝者によるデモンストレーションを中心にした、技術勉強会を行いました。2021年からは、コンクールに備えたりハーサル型技術学習会を開催、その後行われた長野県溶接技術コンクールでの好成績につながった選手も多く、大変好評でした。22年には、そこにTIG溶接体験会を加え開催いたしました。その年より、遂に「溶接女子」の参加が実現しております。

昼の陣、初年度は羽生田鉄工所本社工場にて開催しましたが、2021年より、上田地域高等職業訓練センターにて開催させていただきました。県内の、溶接を学習するための拠点が減少していく中、大変貴重な施設であり、今後も存続していけるよう、協力してまいりたいと思えます。長野県内の溶接技術者全体のレベルの底上げに繋げる活動として、今後も継続して開催してまいります。



溶接技術者交流会「溶接男子」

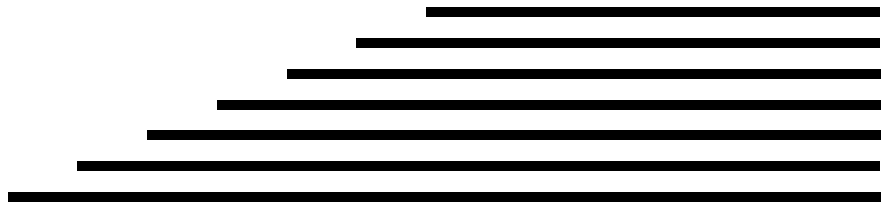
溶接技術者交流会「昼の陣」



長野溶接工業会は昨年度よりホームページを開設しています。QRコードはこちら







# 70周年を迎えて (思い出)



## 全国溶接技術競技大会に出場して

株式会社ヤマウラ

熊谷 和成

私は、現在の会社に勤める前に父が営んでいた鉄工所で働いていました。幼いころから溶接のアーク音や、クレーンの可動音などは聞き慣れたものであり、子供のころから物造りに興味を持っていました。成人して父親と2人で働いたことは、現在の私の基礎となっています。仕事の内容は、製缶工だけでなく、屋根の葺き替えや、鉄骨建屋の建て方、解体など、多岐にわたりました。今振り返るとその時の経験が、現在の会社で様々な場面に活かされており、そのような経験を与えてくれた父にとっても感謝しています。

わが社では、長野県溶接技術コンクールに参加する出場者を決めるための社内選抜があります。私は、初めて参加した社内選抜において最下位となり、周りのレベルの高さを知ったのと同時に、自分には才能がないのか？このまま仕事をやっていけるのか？と自分の無力さに悩みました。そのような時に、現在は信州の名工として活躍する先輩に、「教えるから本気でやってみるか」と言って頂き、教えの通りに無我夢中で練習し、令和元年度長野県溶接技術コンクールにおいて2位となることができました。その時は、自身の努力が認められたことが嬉しかった反面、本当に全力が出せたのか？これが自分の全力なのか？と悔しい思いが強かったことを覚えています。そして、溶接方法、手順など一から見直し、溶接条件を整理していきました。また、イレギュラーに柔軟に対応できるようになるには練習量、経験量にあるとの思いで、日々の作業や練習に取り組みました。その結果、令和3年度長野県溶接技術コンクールで最優秀賞を頂くことができました。

全国溶接技術競技会に出場すると分かってからは、長野県の代表として恥ずかしくない技量、行動を身に着けるため、練習に励みました。また、今後あるかわからないチャンスであると認識するとともに、あとで後悔しないように自分の中で、「本当の意味で全力を出す」と決めて挑みました。競技会が終わったあとは、しばらく動けないほどに疲れましたが、全力を出し切れたと思っています。結果は優良賞を頂き、教えて下さった諸先輩方や、勇気付けてくれた仲間達、そして支えてくれた家族に、良い報告ができ、喜んで頂けたと思っています。特に父親に報告した時は、自分の事のように喜んでくれ、父親と一緒に働いていた時期を思い出し、感慨深いものがありました。

全国溶接技術競技会に参加したことにより、全国のレベルを肌で感じることができました。今後はこの経験を活かし、さらに良い成績が残せるように努力を続けることはもちろんのこと、後進の育成にも力を入れながら、より一層の技術を身に着けられるように精進してまいります。

最後になりますが、このような機会や環境を与えて下さった、溶接協会の皆様、大会関係者の方々、株式会社ヤマウラの皆様に感謝するとともに、長野県の溶接技術の向上、発展を祈念申し上げます。





## 技能五輪全国大会に出場して

株式会社 羽生田鉄工所

小林 航大

私が出場させて頂いた技能五輪全国大会、第59回東京大会について振り返りたいと思います。最初の練習はMAGとアークのテストピースでした。両方とも裏波を出さなければならないので、まずは大まかな条件を教えて頂いてから練習に取り掛かりました。なかなか裏波が出ないので試行錯誤しながら練習に取り組みました。次に圧力容器の課題練習を開始し、この課題は上下横様々な姿勢で溶接をするのでまだ溶接係に配属されて2年目の私にとってはとても難しい課題でした。最後はステンレスとアルミニウムの課題です。ステンレスは普段の仕事でも溶接しているので慣れていましたが、アルミニウムは仕事でも全く溶接したことがないのでとても苦戦しましたが、溶接係の先輩方にアドバイスを貰いながら練習を重ねていきました。慣れてくると今度は時間を測って実際の競技に近い練習をしましたが、最初の頃は全く時間に収まらなくて無理やり時間に収めようとすると溶接がうまく行かなくなりとても大変でした。それと同時に課題の寸法を測り始めたので、寸法も規定の範囲に収めなくてはならず、首が回らなくなる位大変でした。それでも毎日練習に励み、先輩方にアドバイスを頂きながら少しずつ成長していき、超過していた時間も時間内に収まるようになり、課題の寸法の誤差も少なくなっていました。そして大会本番が近づいき、大会本番前に長野県内で技能五輪全国大会に出場する企業が集まって合同練習会が開催され、各企業の選手と一緒に練習して自分とは違う溶接方法等の意見交換をしたりして自分に残された課題を浮き彫りにできました。また、本番同様のタイムテーブルで練習会が進行していくため、本番の雰囲気はこの練習会で味わって大会本番に挑めるので、大変有意義な練習になりました。

そして大会本番となり、会場には各企業の選手他にも沢山の関係者の方々が会場に足を運んでいたその時点で場の空気に飲まれていました。競技は3日間あり、1日目に自分が使うブースの設営と競技で使う材料の加工で、2日目は競技本番で3日目は間隔が空いて水圧試験の日になりました。本番は競技がスタートするまではとても緊張していましたが、いざ競技が始まると練習でやってきたとおりに体が動いてくれたため、細かいミスはしたものの概ね練習でやってきたことをそのまま出すことができました。結果だけを見れば32人中26位と不甲斐ない結果だったのですが、一つの目標に向かって努力することの大切さや身についた溶接の技術は決して無駄なものではありません。その身についた技術を無駄にすることないようにこれからも溶接技術の向上に励み、(株)羽生田鉄工所及び長野県溶接協会のお役に立ちたいと思います。最後に技能五輪全国大会の練習期間中、忙しい中、私の指導して下さった先輩方や応援して下さった会社の皆さん及び関係者方には心から感謝しています。そして陰ながら応援してくれた家族にも感謝したいと思います。

長野県溶接協会70周年の節目の企画にお誘いいただき本当にありがとうございました。



## 限りなき挑戦 ～アーク溶接と向き合った熱き日々～

長野県須坂創成高等学校創造工学科

長倉直人

「第13回関東甲信越高校生溶接コンクールで最優秀賞を取る」この目標を掲げ、溶接練習を始めました。

父が溶接関係の仕事をしていたこともあり、溶接には興味があったので株式会社前田鉄工所様への就職を希望していました。そんな中、宮原先生から高校生溶接コンクールへの出場を勧められたのが出場のきっかけです。9月に出場することが決まってからは、前田鉄工所様の方々にもご指導に来て頂き毎日放課後の3時間を使っての練習が始まりました。溶接には興味があったものの、どんな溶接方法で、どんな素材をつかうのかなど何も分からない状態からのスタートでした。「守・破・離」という言葉があるように、最初はお手本を見せてもらって真似をすることから始めました。満足にアークを発生させたり、真っ直ぐに引くことすらできなかつたのですがコツコツと練習を続けました。私が初めて出場した大会が、12月に行われた第9回長野県高校生溶接コンクールでした。何回か本番会場で練習させて頂いたこともあって、本番当日は緊張よりも自信のほうが上回っており、普段の練習通りに出来たと思います。その甲斐あってか、長野県大会では最優秀賞を受賞することが出来ました。振り返ってみて、嬉しかったのは元より、とても自信になったと思います。

長野県大会が終わってからは、より練習に熱が入りました。しかし、今までとは裏腹に順調に上達することはなく、ある日からやってもやっても上達しませんでした。それどころか、練習すればするほど自分のやっている溶接があっているのか分からなくなり、モチベーションが上がらない日々が続きました。そんなときに、ご指導いただいていた前田鉄工所様の皆様から、今まで通りの溶接を少しずつ変えてみることや、1週間ずつ小さな目標を立てることなどのアドバイスを頂き、なんとか抜け出すことが出来ました。その他にも、初層の裏波溶接や、最終層の運棒、繋ぎの部分がすごく難しかったです。ときには夢にも出てきたりしましたが、数をこなすうちに克服することが出来ました。そして、第13回関東甲信越高校生溶接コンクールの当日になりました。新型コロナウイルスの影響で、開会式・閉会式はなく、他の選手の作品を見ることが出来ませんでした。会場に入ると初めて味わう緊張感で、手が震えてうまくコントロールできなかったのを思い出します。結果としては、優秀賞を受賞することが出来ました。最優秀賞を取るという目標には届きませんでした。結果を聞いてから、悔しさが頭をよぎり自然に涙が溢れて止まらなかったのを覚えています。しかしながら、後悔はありません。全力で練習した毎日は楽しく充実していたのはもちろんのこと、間違いなく人としても成長できたと思います。社会人になっても、向上心を忘れずに技能五輪を含む沢山の溶接の大会に出場して技術を高めて行きたいです。

最後にこの優秀賞を受賞できたのは、私だけの力ではなく溶接協会の皆様、ご指導頂いた株式会社前田鉄工所様や須坂創成高校の皆様、そして何よりも溶接コンクールへの出場から今でも支え続けてくださっている宮原先生に感謝いたします。



## 関東甲信越高校生溶接コンクールに出場して

株式会社 羽生田鉄工所

小林大真

私が初めて「溶接」というものに出会ったのは、長野県立中野立志館高等学校の1年生でした。部活に所属しないまま入学から半年程が経過していた中、担任の先生から「機械部」を勧められ、見学に行ったのをきっかけに溶接作業と出会いました。もともとのづくりに興味があった私は、今まで体験したことのない「溶接」というものにとっても興味を惹かれたのを覚えています。その後、練習を重ねていく中で、高校2年生の春に開催される関東甲信越高校生溶接コンクールへ出場させていただける機会を得ることができました。最初は火花が飛んで危なそうに思えた溶接作業も、練習をかさねていくうちにどんどんと面白く感じ、「もっと綺麗に溶接したい」「もっと上手くなりたい」と思うようになり、大会に出場するにあたり溶接指導という形で(株)羽生田鉄工所より社員の方に来ていただいた時に、初めて溶接を仕事としている人の腕前を見て自分の溶接と比べものにならないほどの綺麗な仕上がりをみて「自分もこのレベルまで腕を上げたい」と感じました。

本番の会場は東京ビッグサイトでウェルディングショーの一角で行われ、とても大きな会場を前に震えるほど緊張したのを今でも忘れられません。そして迎えた本番ですが、溶接作業終了時に溶接機の電源を切り忘れてしまうというミスをしてしまい減点となってしまいました。こうして単純な力不足もあり、初挑戦は4位と悔いの残る結果となりました。コンクール終了後「悔しい」「まだ頑張れたはずだ」という気持ちになっていた時、顧問の先生から「来年も頑張ってみたらどうか」と言っていただき、もう一度出場する決心をし1年後の大会に向けて練習を再開しました。

2回目の挑戦では、練習をして行く中で何枚練習しても上手く出来ず、むしろ下手になっているような感覚に陥ってしまいました。その時、高校生3年生だった私は何度も練習をやめたいと思ったのが正直なところで、それでも練習を続けているとある時から少しずつ良い方向に近づいて行くのを自分でも実感する事が出来ました。

そうして迎えた本番では前年のリベンジを果たし、長野県からの出場者では初となる最優秀賞をいただく事が出来ました。そこで私は「続けることの大切さ」を学ぶ事が出来ました。もし練習をやめてしまっていたらこの賞をいただく事が出来なかったからです。それと同時に「溶接」というものを仕事として続けたい、極めてみたいと思ったことを覚えています。その時指導に来ていただいていたご縁もあり、技能五輪全国大会へ挑戦したいという気持ちもあり(株)羽生田鉄工所の面接を受けさせていただきました。そして入社してから2年目になった時、技能五輪全国大会へ挑戦させていただける事となりました。練習を始めましたが、高校生のコ

ンクールとは次元の違う難しさの課題に圧倒されました。また、水圧試験という今まで経験したことのないものに翻弄されながら練習を重ねましたが、残念ながら目標としていた入賞には遠く及びませんでした。まだ諦めきれなかった私は翌々年の技能五輪全国大会の出場に志願し挑戦させていただきました。しかし、結果はというと前回から順位を上げることは出来ましたが、入賞の壁は厚く入賞の夢は叶いませんでした。ですが、この2大会に出場したことで、通常業務だけでは得られない技術や経験、圧力容器を製造する上での急所を学ぶ事ができ、大幅なスキルアップをする事が出来ました。ここまでの経験をもとに、令和元年度の長野県溶接技術コンクールでは最優秀賞をいただく事ができ、全国大会への切符を手にししました。しかしここで新型コロナウイルスの発生によって2度の開催延期になり、自分の中で気持ちが途切れそうになった時がありましたが、上司の「ここで一枚でも多く練習した人が上に行く」と言う言葉に背中を押され、練習という自分のできる精一杯の準備をしていました。

そして令和3年度全国溶接技術コンクールに出場をする事が叶いました。会場はコロナウイルスの感染対策で物々しい雰囲気の中大会が行われました。いざ本番を迎えると緊張感がビリビリと伝わり、全国大会というものの凄みを肌で感じ、立っている舞台の大きさを感じました。緊張で手が震えてしまい、ミスはありませんでしたがやはり会社での練習どおりに溶接することは出来ませんでした。改めて自分の心の弱さを感じ、また技術の未熟さを痛感させられた大会でした。

私は、結果だけではなく自分が納得できる溶接ができているかどうか重要だと考えています。これからも「自らが納得できる溶接」を目指して日々精進し、いつかまた全国大会の切符を手にする事が出来た時に満足のいく溶接ができるよう備えたいと考えます。また日々の仕事でもこの考えを念頭に置いて努めていきたいと考えています。

最後になりましたが、技術、心身面で成長を実感することのできる大会に何度も挑戦させていただいた(株)羽生田鉄工所の皆様、そしてそのような場を設けていただいている長野県溶接協会の皆様様に心より感謝を申し上げますと共に、今後ともより一層のご指導、ご鞭撻の程を賜わりますようお願い申し上げます。



## 第21回高校生ものづくりコンテスト全国大会 (神奈川2021・溶接競技部門)に出場して ～公開競技として初めて開催～

金沢工業大学 電気電子工学科

工藤 成

「第21回高校生ものづくりコンテスト」(全国工業高等学校長協会主催)が、横浜市と川崎市で開催されました。全国9ブロック(北海道・東北・関東・開催地・北信越・東海・近畿・中国・四国・九州)の地区予選を勝ち抜いた工業高校の生徒101人が出場し、ものづくりの技術や技能を競い合いました。

第11回関東甲信越高校生溶接コンクール 同時開催 北陸高校生溶接コンクール溶接競技部門では、「北信越代表」として在学(長野県中野立志館高校・電気系列/所属 機械部)当時3年だった自分の出場が決まりました。

私は「溶接」が好きです。その魅力に引き込まれて以来、日々溶接技術を追求し、スキルを磨く情熱を大切にしてきました。そして、私の情熱の象徴とも言えるのが、毎年開催される溶接大会への参加です。その大会は私にとって、技術の向上、知識の進歩、そして仲間との交流の場でもあります。また、個人の技術力を競う競技だけでなく、チームとしてのコラボレーションが求められる競技でもあります。個人の技術向上はもちろん大切にしますが、他のチームメンバーとの連携や協力によって、もっと高いレベルの成果を出すことができると信じています。仲間がいなければ上達はあり得なかった、それらを支えてくださった顧問の先生方には感謝しきれません。

私が溶接大会へ参加する理由の一つは、自分の技術力を頑張る場としての側面もあります。競技会に参加することで、他のプロフェッショナルたちと自分の腕を競い合い、自己成長の機会を手に入れることができます。時には失敗や挫折もあるかもしれませんが、それが私の成長を賭けて、次の大会に向けて更なる努力を続ける原動力となります。

私の一番の目標は身近にあり、それは1年先輩の部長です。いつも隣で切磋琢磨してきましたが、技術の高さに毎回驚かされました。コロナ禍によって大会が無くなってしまい、最後に決着をつけることが出来なかったことが後悔として残っています。できることならばもう一度、勝負したいと考えています。さらに溶接大会への熱い思いは、ただ競技会に参加するだけでなく、自分自身の成長と業界全体の発展に対して貢献にも繋がっていると考えています。私はこの活動を通して継続的な努力の意味を知ることが出来ました。最初に溶接を始めたころは、ただ綺麗に溶接できると嬉しいというだけでしたが、県大会を経ることでライバルとの力量差を感じ、勝利したいという気持ちが沸き上がってきました。その後、着々と勝ち進み全国大会に出場できるほどに上達することが出来ました。私が溶接を始めたころには、全国大会という大きな枠組みの中に参加できるとは思いもしませんでした。ですが様々な経験を経て、「敢闘賞」を得ることが出来ました。

今後とも努力を重ね、学んだことを生かしながら成長していきます。このような機会を与えて頂いた、東部地区溶接協会連絡会をはじめ、全国工業高等学校長会、長野県溶接協会の皆さま方に感謝申し上げます。ありがとうございました。





## 卓越技能者知事表彰を受賞して

株式会社前田鉄工所

宮崎 文也

令和3年度、卓越技能者知事表彰「信州の名工」のアーケ溶接士として表彰して頂きました。表彰して頂けると聞いた時は、まさか自分が榮譽ある「信州の名工」に選ばれたという喜びより、驚きの方が強かった事を今でも昨日の事のように覚えております。

簡単な経歴を説明します。豪雪地帯及びスキーで有名な長野県北部の野沢温泉村に生まれ育ち、小・中・高校とアルペンスキーの選手として青春時代を過ごしてきました、優秀な成績を残す事ができなかつたので、選手として一区切りをつけ引退し大学進学を諦め、現在の会社に平成17年4月に入社しました。

入社後の配属は、熱交換器を製作する溶接職場となりましたが、溶接を経験した事がなかったので、とても難しく溶接が向いていないのではと何度も悩んだ事がありました。そんな時、当時の上司から「溶接コンクールに出て、他の会社、溶接士がどのような溶接をしているか勉強して来い」と言われたのがきっかけで、長野県溶接コンクールに出場する事になりました、私が目標としている現在の上司、当時は溶接職場の先輩、上條孝宏氏(平成26年度信州の名工受賞)との出会いもあり、基礎知識から始まり溶接技術を隠すことなく熱心に指導して下さり、平成19年度・平成22年度・令和元年度に最優秀賞を受賞する事もでき、3回長野県代表として全国大会にも出場させてもらいました、県代表として出場したくてもできなかった選手もいるのだからと自分に言い聞かせ、日々練習に明け暮れていたことを今でも覚えています、結果全国大会でも3回入賞する事ができました。「結果が全てではない、決して練習は裏切らない」10年前に私が目標としている上條孝宏氏が記念誌に残した言葉です、直接指導を受けている時にも聞いた言葉です、それまでの私は「結果が良ければすべてよし」と思っていました、この言葉に衝撃をうけ、考え方を改め、参考にしています。私は記念誌に残せるほどの言葉はありませんので、大事にしている五つを紹介します。一つは「最後まで諦めない事」、次に「人や物のせいにはしない事」、三つ目は「何事も楽しむ事」、四つ目は「支えてくれる人に感謝する事」、そして最後に「努力する事」。これからも人間的にも溶接士としても更に成長できるように日々努力していきます。同時に後進の育成にも邁進していく次第です。

最後になりましたが、このような榮譽ある賞を受賞でき、前田鉄工所の皆様といつも支えてくれている家族、そして長野県溶接協会の関係者の皆様方に心より感謝申し上げますとともに、今後とも一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



## 創立70周年によせて

一般社団法人 長野県溶接協会相談役

**五味 光亮**

一般社団法人長野県溶接協会がこの度創立70周年を迎えられましたこと心よりお慶び申し上げます。

長野県溶接協会の歴史は全国で最も古く当時の鉄工所や産業機械メーカーの連帯意識の高さが伺えます。かつて造船王国と言われた日本は、今や中国や韓国に奪われましたが船造りは、溶接技術のかたまりです。

私は以前、台湾、韓国、中国での合弁や自社工場を運営しましたが、それぞれ溶接技術は高く、また、機材も世界中から輸入されていて、全く問題ありませんでした。

このような国際技術の高まりの中でさらに日本の溶接技術を高める手段はあるのか、少子化で人手不足となっている現在、韓国や中国も同様な条件下になりつつありますが、今後女性や外国人も含め、日本の技術を守りぬいて行かなければなりません。

産業機械はかつて木製から鋳物、そして板金加工品となってまいりました。板金加工となると溶接となりその関連技術の進化が伴い、また、ロボットも多用されてはいますが、すべての作業を行うことは出来ません。過去を見て、未来を予測し、私達の産業もまた世の進化と共に周年事業を通して、進化することでしょう。

この度の70周年事業に伴う御関係者の皆様に対し敬意を表す次第であります。誠に御苦勞様でございます。

最後に一般社団法人長野県溶接協会の益々のご発展をお祈り申し上げます。





## 創立70周年によせて

(前)一般社団法人長野県溶接協会事務局長

近藤 友巳

一般社団法人長野県溶接協会が創立し、今年で70周年を迎えましたこと、心からお祝い申し上げます。

長野県溶接協会は、昭和29年に(社)日本溶接協会の最初の支部として、全国に先がけて発足しました。当時の関係者の皆様の溶接にかける熱意と想いは、今なお脈々と引き継がれているものと思います。

私は、平成28年3月に長野県職員を定年退職した後、この歴史と伝統ある素晴らしい協会の事務局長として就任させていただきました。

それまで、溶接の知識も経験もなく、果たして事務局長が勤まるだろうかと不安もありましたが、当時の小林事務局長など諸先輩の薦めもあり、思いきってお世話になることとしました。

それまで、長野県溶接協会の活動を全く知らなかったのですが、全県下で行うガス溶接技能講習やアーク溶接特別教育、毎年多くの方が参加する評価試験、高度な溶接技術を競い合う溶接コンクール等の事業を通じて、長野県の溶接技術の向上と溶接人材の育成を担う重要な団体だと実感しました。

事務局長の5年間は、この素晴らしい協会をより良い形で次の世代に引き継いでいきたいと思い、役員・会員の皆様のご意見・ご協力をいただきながら、微力でしたが、適切な事業の遂行、業務の改善、役員・会員の皆様との信頼関係の確保に努めてまいりました。

思い起こせば、いろいろなことが脳裏に浮かびます。

毎年の先端技術導入調査は、視察先の選定・交渉には苦勞しましたが、一部の方にはお断りせざるを得ないほど盛況で、実際の視察・親睦会も大変楽しいものでした。

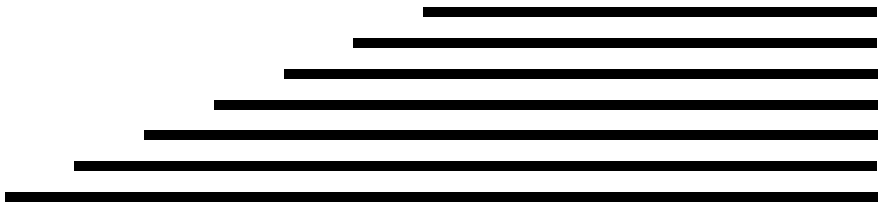
高校生や社会人の溶接コンクールは、事務局として参加しましたが、若者が真剣に溶接に取り組む姿とその素晴らしい作品に感動を覚えました。

平成2年の新型コロナの感染が全国で拡大する際には、協会員・参加者・講師の皆様等の感染を極力防止するため、事業の中止・延期も含め、あらゆる対策を講じ、幸い大きな感染は避けることができました。この対応をする中で、改めてインターネットによる迅速な情報発信の必要性を痛感し、その年に、長野県溶接協会のホームページを立ち上げました。

思い出は尽きませんが、全ての事業や取り組みは、協会の役員の皆様、評価委員の皆様、学科・実技講師の皆様、地区協会の皆様等の支援・協力がなければ、何一つ実施することはできませんでした。

当時の五味理事長、横山理事長をはじめ、様々な場面でお世話になった協会の皆様方に対し、改めて心から感謝申し上げます。

最後になりますが、長野県溶接協会並びに会員の皆様の益々のご発展をご祈念申し上げます。



# 會員名簿

# 一般社団法人 長野県溶接協会会員名簿

## ●佐久溶接協会

〒384-0025 小諸市相生町 3-3-12 小諸商工会議所内 TEL0267-22-3355 FAX0267-23-9030

会員種別	事業所名	所在地	代表者名	TEL	FAX	〒
団体3級	竹花工業(株)	小諸市南町 2-6-10	唐澤 正幸	0267-22-1750	0267-23-3969	384-0012
団体3級	(株)コミヤマ	小諸市大字市 950	小宮山 完治	0267-22-2311	0267-22-2313	384-0083
団体3級	みすず精工(株)信州工場	小諸市大字滋野甲 906	佐藤 浩三	0267-22-0278	0267-22-1918	384-0809
団体3級	浅間技研工業(株)	小諸市耳取 450	吉岡 英夫	0267-22-8118	0267-22-3973	384-0084
団体3級	(有)櫻井工業	小諸市大字塩野 4087	櫻井 茂男	0267-22-2693	0267-31-0104	384-0806
団体3級	(株)浅間銅機	小諸市大字耳取 56-1	小林 正人	0267-23-2518	0267-23-2519	384-0084
団体3級	丸新鉄工	小諸市大字加増 692	高橋 厚志	0267-22-6353	0267-22-7442	384-0061
団体3級	小林鉄工業所	小諸市加増 229-1	小林 祐一	0267-22-5424		384-0061
団体3級	(株)清水管業	小諸市三和 2-5-6	高橋 一	0267-22-2536	0267-23-2956	384-0017
団体3級	小原工業所	小諸市甲 1323	嶋田 宜忠	0267-22-1874	0267-22-4928	384-0801
団体3級	(有)鐵音工房	北佐久郡軽井沢町追分 16-38	村山 克己	0267-46-0027	0267-46-8027	389-0115
団体3級	(有)滝沢鉄工所	北佐久郡立科町山部 157-1	瀧澤 壽美雄	0267-56-1150	0267-56-3810	384-2307
団体3級	(株)藤友建設工業	北佐久郡立科町大字牛鹿 1234	佐藤 一行	0267-56-2299	0267-56-3311	384-2308
団体3級	(株)ナガオカ製作所	北佐久郡立科町大字芦田 1829	長岡 聡	0267-56-1259	0267-56-3411	384-2305
団体3級	(有)渡辺鉄工所	東御市大字下之城 175-2	渡辺 秀樹	0268-67-3014		389-0405
団体3級	(有)井出鉄工	佐久市八幡 251-2	井出 国雄	0267-58-2357	0267-58-4359	384-2106
団体3級	(有)依田鉄工所	佐久市矢島 19-1	依田 孟	0267-58-2658	0267-58-4345	384-2105
団体3級	(株)竹花組	佐久市望月 30-1	矢野 健太郎	0267-53-2345	0267-53-6000	384-2202
団体3級	(有)飯沼	佐久市春日 741-3	飯沼 勝智	0267-53-3508	0267-53-3509	384-2205
団体3級	長岡鉄工(株)	北佐久郡軽井沢町大字追分 703-1	長岡 秀秋	0267-45-5279	0267-46-2526	389-0115
団体3級	大日建設(株)	北佐久郡軽井沢町大字長倉 5638	大林 博美	0267-45-7165		389-0111
団体3級	エムケーカシヤマ(株)	佐久市長土呂 801	檜山 剛士	0267-66-7785	0267-65-7011	385-0021
団体3級	(有)トーテック	佐久市長土呂 1157-3	佐藤 静生	0267-67-4719		385-0021
団体3級	(株)佐久協同	佐久市桜井 3	富澤 辰男	0267-62-0714	0267-62-5716	385-0056
団体3級	(有)新海鉄工所	佐久市取出町 199-14	新海 一男	0267-62-2255	0267-62-2229	385-0043
団体3級	(株)柳澤鐵工所	佐久市中込 3400-7	柳澤 章	0267-62-1152	0267-62-7231	385-0051
団体3級	(有)内藤工業所	佐久市中込 3368-3	内藤 央	0267-67-1800	0267-67-1815	385-0051
団体3級	(株)宮川鉄工	佐久市中込 2441	宮川 章	0267-62-1105	0267-63-2755	385-0051
団体3級	シャッターセンター(株)	佐久市塚原 1579-7	東山 大明	0267-68-0441	0267-68-1069	385-0025
団体3級	(株)共栄製作所	佐久市中込 3671	友野 広昭	0267-63-0003	0267-63-0008	385-0051
団体3級	(株)佐々木工業	佐久市中込 3368	佐々木 将臣	0267-67-1820		385-0051
団体3級	中央鉄工(株)	佐久市根々井南原 7-4	市川 和身	0267-68-0886	0267-68-0519	385-0012
団体3級	(有)中島溶工	佐久市今井字大塚 105-1	中島 正美	0267-62-7318		385-0015

会員種別	事業所名	所在地	代表者名	TEL	FAX	〒
団体3級	(有)小須田工業	佐久市瀬戸 2072-1	小須田 猛	0267-63-4735		385-0035
団体3級	(有)市川鉄工	佐久市中込 632-1	市川 秋男	0267-68-4538	0267-67-4950	385-0051
団体3級	咲電機(株)	佐久市下越 150	黒岩 正夫	0267-82-2571	0267-82-4018	384-0414
団体3級	(有)井出工業	佐久市臼田 2237-3	井出 亮	0267-82-2321	0267-82-5919	384-0301
団体3級	マルムツ建工(株)	佐久市臼田 1825-6	黒岩 文孝	0267-82-2666		384-0301
団体3級	市村鉄工所	佐久市臼田 120-4	井出 秀一	0267-82-7583		384-0301
団体3級	小林鉄工	佐久市平林 1147	小林 真一	0267-86-2397		384-0622
団体3級	三葉産業(株)	佐久市田口 5672-6	比企 得二	0267-81-5601	0267-60-0013	384-0412
団体3級	井出鉄工	佐久市臼田 2239-1	井出 敏一	0267-82-2083	0267-82-8101	384-0301
団体3級	ヤマサ鉄工高見沢	南佐久郡佐久穂町大字高野町 48	高見沢 沢幸	0267-86-2337	0267-86-2337	384-0613
団体3級	池田建鉄	南佐久郡佐久穂町海瀬 1441-1	池田 一郎	0267-86-3990		384-0503
団体3級	(有)田島自動車工業	佐久市臼田 1843	田嶋 千里	0267-82-7372	0267-82-4502	384-0301
団体3級	福山工業	南佐久郡小海町大字豊里 1648-3	井上 力	0267-92-2807		384-1103
団体3級	日本ニューホランド(株) 長野営業所	南佐久郡小海町豊里 2118	沼山 晃宏	0267-92-2436	0267-92-2144	384-1103
団体3級	新井鉄工所	南佐久郡川上村御所平 879-6	新井 竜也	0267-97-2523	0267-97-2523	384-1407
団体3級	横山鉄工所	南佐久郡川上村御所平 1407	横山 寛	0267-97-2942		384-1407

### ●上小溶接協会

〒386-8555 上田市材木町 1-2-6 上田合同庁舎内 TEL0268-23-3609 FAX0268-75-0322

会員種別	事業所名	所在地	代表者名	TEL	FAX	〒
団体特級	松山(株)	上田市塩川 5155	松山 信久	0268-42-7500	0268-42-7500	386-0497
団体1級	長野計器(株)	上田市秋和 1150 番地	芹沢 陽司	0268-22-7530	0268-23-6111	386-0412
団体1級	カネテック(株)	上田市上田原 1111	山木 勝	0268-24-1111	0268-23-6111	386-1193
団体2級	コトヒラ工業(株)	東御市滋野乙 1320	手塚 久仁彦	0268-63-0001	0268-63-0111	389-0512
団体2級	ミヤジマ技研(株)	上田市下之郷 248	宮島 武宏	0268-38-2004	0268-38-2015	386-1211
団体2級	オルガン針(株)	上田市前山 1	増島 良介	0268-38-3111	0268-38-8532	386-1436
団体2級	(有)合葉製作所	上田市国分 1570-3	甲田 諭	0268-24-2377	0268-24-2380	386-0016
団体2級	上田日本無線(株)	上田市踏入 2-10-19	奥川 隆祥	0268-26-2112	0268-26-2070	386-8608
団体2級	山洋電気(株)上田事業所	上田市殿城 5-4	田沢 則男	0268-22-8585	0268-23-8355	386-8634
団体2級	(株)ミクニ	東御市鞍掛 1204-3	望月 健二郎	0268-62-1808	0268-62-0618	389-0502
団体3級	(株)マナテック	上田市古里 740-2	前島 繁治	0268-71-7731	0268-71-7732	386-0005
団体3級	岡谷酸素(株)上田営業所	上田市古里 776-1	林 大介	0268-24-4311	0268-24-4342	386-0005
団体3級	宮原酸素(株)	東御市本海野 1708	宮原 英嘉	0268-62-0888	0268-64-3964	389-0518
団体3級	(株)三葉製作所	上田市中央東 5-14	堀内 健一	0268-24-3131	0268-24-3136	386-8638
団体3級	上田農機(株)	東御市滋野乙 1649	春山 清利	0268-62-1338	0268-62-1349	389-1512
団体3級	南雲鉄工所	上田市中野 351-1	南雲 幸男	0268-38-2271	0268-38-2271	386-1325

会員種別	事業所名	所在地	代表者名	TEL	FAX	〒
団体3級	(有)長岡鉄工所	上田市小泉 884-1	長岡 章雄	0268-24-7222	0268-24-7223	386-1106
団体3級	(有)三浦鉄工所	上田市上丸子 1570-1	三浦 啓史	0268-42-2168	0268-42-2284	386-0404
団体3級	(有)佐藤	上田市築地 553	佐藤 信隆	0268-22-5053	0268-25-8688	386-1107
団体3級	(有)川西鉄工所	上田市富士山字大日影 5039-1	池内 一敏	0268-39-8311	0268-39-8322	386-1212
団体3級	(株)ホシバ	上田市古安曾 2248-13	干場 文孝	0268-38-6596	0268-38-6492	386-1213
団体3級	東京精電(株)上田工場	上田市蒼久保 1216	辰野 昭司	0268-35-0555	0268-35-2895	386-0155
団体3級	(株)三協産業	上田市国分 1781	山邊 正重	0268-22-8616	0268-22-8606	386-0016
団体3級	(株)中村体育	上田市古安曾 3372-1	山邊 正重	0268-75-5585	0268-75-5595	386-1213
団体3級	(株)関工業	上田市秋和 199-2	関 吟哉	0268-24-6766	0268-24-9059	386-0041
団体3級	(株)小林浴工	上田市秋和 959	小林 善久	0268-23-0632	0268-23-0083	386-0041
団体3級	(株)上原溶接所	上田市腰越 807	上原 榮一	0268-42-2473	0268-43-0578	386-0403
団体3級	FD フューチャー(株)	上田市腰越 1544	小島 桂一	0268-42-3151	0268-42-3724	386-0403
団体3級	カクイチ建材工業(株)	東御市加沢 778	田中 千章	0268-62-0777	0268-62-1596	389-0514
団体3級	(株)別府設備工業	東御市新張 308	池田 健太	0268-64-3403	0268-71-6740	389-0501
団体3級	(有)小林工業	上田市諏訪形 1168	小林 昇	0268-22-8055	0268-23-0138	386-0032
団体3級	(有)格榮建設	上田市常入 1-14-10	滝沢 格	0268-24-0689	0268-24-0635	386-0015
団体3級	(株)岩下製作所	上田市長瀬 1050-7	石沢 保夫	0268-42-3351	0268-42-7911	386-0407
団体3級	(株)綿谷製作所	上田市上丸子 1082	綿谷 憲一	0268-42-3114	0268-42-3515	386-0404
団体3級	(株)イー・エム技研	上田市富士山 2416-21	森 大作	0268-38-8500	0268-38-8515	386-1212
団体3級	堀内鉄工所	上田市下之郷 527-3	堀内 光信	0268-38-2582	0268-38-6560	386-1211
団体3級	(株)カワベ工業	上田市富士山 2416-5	根津 設夫	0268-38-8188	0268-38-8303	386-1211
団体3級	クロサワメタル(株)	上田市富士山 4039-1	黒澤 一彦	0268-38-8505	0268-38-9259	386-1211
団体3級	(有)戸堀鉄工所	上田市下丸子羽黒沢 729-1	戸堀 一夫	0268-42-4616	0268-42-7137	386-0406
団体3級	大洋機材(株)	上田市築地 503-1	塩入 貴司	0268-22-4358	0268-25-3231	386-1107
団体3級	飯塚製作所	上田市保野 184-1	飯塚 真一	0268-38-7888	0268-38-8808	386-1321
団体3級	(有)保屋野製作所	上田市保野 281-3	保屋野 久	0268-38-3311	0268-38-0606	386-1321
団体3級	(有)堀内溶接工業所	上田市小泉 353	堀内 幸芳	0268-24-5838	0268-24-5872	386-1106
団体3級	(有)本山製作所	東御市本海野 67-2	本山 賢一	0268-35-0535	0268-35-0535	389-0518
団体3級	(株)宮坂製作所	上田市常田 1-7-14	宮坂 誠	0268-22-1413	0268-23-3751	386-0018
団体3級	(有)新工	小県郡青木村大字当郷 34-4	池田 茂三	0268-49-3601	0268-49-3602	386-1603
団体3級	新栄工業(株)	上田市真田町傍陽 889	高塚 源一郎	0268-75-3121	0268-73-2407	386-2203
団体3級	笹沢興業	上田市生田 14	笹沢 正	0268-42-6569	0268-42-6569	386-0411
団体3級	千曲鉄工	上田市岩下 428-1	池田 守世	0268-35-0515	0268-35-3528	386-0153
団体3級	(株)沓掛工業	上田市吉田 289-1	沓掛 恵介	0268-27-8151	0268-25-2445	386-1105
団体3級	(有)ハヤシ工業所	上田市富士山 4962-2	林 久子	0268-38-3221	0268-38-3221	386-1212
団体3級	(有)栄工作所	上田市上丸子 211-2	成澤 信宏	0268-42-7000	0268-42-7002	386-0404

会員種別	事業所名	所在地	代表者名	TEL	FAX	〒
団体3級	(株)ミヤシタ	上田市上武石 955	宮下 孝夫	0268-85-2323	0268-85-2324	386-0507
団体3級	(有)綿屋工業	小県郡長和町大門 139	武井 秀峰	0268-68-3718	0268-68-3845	386-0601
団体3級	金佳工業(株)	上田市中央東 9-24	坂口 哲也	0268-72-4800	0268-72-4802	386-0013
団体3級	コロナ技建(株)	上田市本郷 766-1	松澤 克人	0268-38-3318	0268-38-3412	386-1323
団体3級	(株)吉見钣金製作所	上田市小泉 346-1	吉見 昌高	0268-27-7647	0268-23-0712	386-1106
団体3級	(株)亀山	上田市上田原 752-6	亀山 照一	0268-22-5407	0268-25-2686	386-1102
団体3級	(株)ファスコナガノ	東御市常田 753	馬場 直樹	0268-62-0880	0268-62-0999	389-0515
団体3級	(有)中村プレス工業	上田市下丸子 97-4	小林 春幸	0268-42-2360	0268-42-3867	386-0406
団体3級	(株)アルカディア	上田市小泉 2566-1	春原 直樹	0268-25-0034	0268-25-2925	386-1106
団体3級	(有)アイアン工業	上田市住吉 1702-1	宮原 克彦	0268-28-8246	0268-28-8258	386-0002
団体3級	(有)砥石鉄工所	上田市富士山 3963-1	砥石 勝義	0268-39-0377	0268-39-0378	386-1212
団体3級	(株)マシンメイト	上田市保野 1220	村田 秀夫	0268-28-1300	0268-28-1310	386-1321
団体3級	(株)ジェー.ピー.イー	上田市富士山字鴻ノ巣 2329-1	五味 剛志	0268-38-3801	0268-38-3818	386-1212
団体3級	(株)トミック	上田市富士山 2511-1	柳澤 日出男	0268-38-9200	0268-38-9201	386-1212
団体3級	(株)マルイ	東御市鞍掛字上平 507	武田 孝行	0268-62-2031	0268-62-2071	389-0502
団体3級	VTEC	上田市小泉 346-1	北村 大典	0268-27-7647	0268-23-0712	386-1106
団体3級	(株)山崎総建	上田市古安曾 2672-1	山崎 貴信	0268-38-9066	0268-38-9196	386-1213
団体3級	(株)双葉溶接	上田市古里 819-2	北澤 丈直	0268-75-7128	0268-75-7208	386-0005
団体3級	(有)山崎工業所	東御市海善寺 1208-1	山崎 章生	0268-63-7785	0268-63-7785	389-0504
団体3級	金井工業	東御市鞍掛 25-22	金井 隆幸	0268-62-4614	0268-62-3440	389-0502
個人会員	小林 一夫		小林 一夫			

### ●諏訪溶接協会

〒394-0034 岡谷市湖畔 1-15-6 岡谷酸素(株)岡谷営業所内 TEL0266-22-4931 FAX0266-22-1562

会員種別	事業所名	所在地	代表者名	TEL	FAX	〒
団体特級	岡谷酸素(株)	岡谷市幸町 6-6	野口 博一	0266-22-4931	0266-22-1562	394-0029
団体1級	(株)マルニシ	岡谷市田中町 3-4-21	河西 明	0266-23-3024	0266-22-0223	394-8555
団体1級	TPR (株)	岡谷市神明町 2-1-13	末 廣 博	0266-23-2811	0266-23-0172	394-0004
団体1級	マルヤス機械(株)	岡谷市成田町 2-11-6	林 広一郎	0266-23-5630	0266-21-6262	394-0024
団体1級	(株)タケムラ製作所	岡谷市川岸上 3-4-8	竹村 一幸	0266-22-3184	0266-22-2995	394-0048
団体1級	(株)丸眞製作所	岡谷市 10016-471 エコ・ファクトリーパーク湯殿山 1	高木 克彦	0266-75-8100	0266-75-8108	394-0000
団体1級	(株)イツミ	諏訪郡原村 11865	五味 光亮	0266-79-2331	0266-79-2721	391-0107
団体2級	(有)小口熱研	岡谷市赤羽 1-3-21	小口 仁志	0266-23-1118	0266-24-0137	394-0002
団体2級	(株)丸和柞山製作所	岡谷市塚間町 2-5-26	柞山 浩章	0266-22-2569	0266-22-6914	394-0026
団体2級	(株)丸柳大津屋	諏訪市諏訪 2-9-27	北澤 光彦	0266-52-0165	0266-52-0223	392-0004
団体2級	野寺基礎工業(株)	諏訪市四賀 1907	吉江 匡	0266-52-5236	0266-52-5028	392-0012
団体2級	(株)カネタ	茅野市宮川 1359	長田 謙一	0266-72-6536	0266-72-8946	391-0013

会員種別	事業所名	所在地	代表者名	TEL	FAX	〒
団体2級	八ヶ岳中央農業実践 大学校	諏訪郡原村 17217-118	大杉 立	0266-74-2111	0266-74-2382	391-0112
団体3級	(有)丸真小口設備工業	岡谷市長地小萩 2-9-10	小口 真喜也	0266-27-4436	0266-27-4671	394-0022
団体3級	(有)オグマエンジニア リング	下諏訪町清水町 4559	小熊 志津夫	0266-27-1226	0266-27-5626	393-0086
団体3級	(有)金子酸素工業所	岡谷市中央町 1-9-28	金子 博	0266-22-3048	0266-24-1377	394-0027
団体3級	(有)タケイサンキ	岡谷市東銀座 1-14-20	佐塚 健	0266-23-5415	0266-23-1648	394-0023
団体3級	(株)平出精密	岡谷市今井 168-1	平出 正彦	0266-22-8866	0266-23-8555	394-0000
団体3級	(有)岩井鉄工	下諏訪町樋橋 2774	岩井 佳雄	0266-27-3744	0266-28-8282	393-0001
団体3級	(有)石川工業	岡谷市岡谷 2104-1	石川 卓也	0266-24-0596	0266-24-0546	394-0055
団体3級	コジマ S・I (株)	岡谷市川岸中 2-7-12	小島 一昭	0266-22-8402	0266-22-6427	394-0047
団体3級	(有)前田技工	岡谷市長地柴宮 3-20-28	寺平 明史	0266-26-8055	0266-20-8056	394-0083
団体3級	(株)古城自動車ボデー 製作所	岡谷市小井川 7777-10	古城 勉	0266-22-5018	0266-22-5015	394-0000
団体3級	KEN	岡谷市中央町 3-7-14	小口 健一郎	0266-78-3058	0266-78-3059	394-0027
団体3級	小松鉄工(株)	諏訪市四賀 55	小松 弘和	0266-52-7140	0266-52-2697	392-0012
団体3級	(株)小松製作所	諏訪市湖岸通り 2-3-14	守屋 芳弘	0266-52-2740	0266-52-2784	392-0027
団体3級	(株)ハナオカエンジニア リング	諏訪市小和田 23-16	花岡 秀明	0266-52-2550	0266-52-2536	392-0024
団体3級	(株)オーゾングクト	諏訪市清水 3-3948-1	花岡 隆夫	0266-53-3336	0266-53-4629	392-0007
団体3級	(有)浜鉄工	諏訪市四賀 3160	浜 孝一	0266-52-5819	0266-52-8311	392-0012
団体3級	(有)小和田製作所	諏訪市上川 2-2037	柳澤 幸喜	0266-53-6535	0266-58-8248	392-0021
団体3級	(株)永由鉄工	諏訪市豊田 895-1	永由 忠實	0266-53-2846	0266-53-2830	392-0016
団体3級	野村ユニソン(株)	茅野市ちの 650 番地	野村 稔	0266-72-6151	0266-73-6559	391-0001
団体3級	(有)北原鉄工所	茅野市茅野 720	北原 桂一	0266-72-2973	0266-72-9703	391-0001
団体3級	設備工業(有)	茅野市宮川 4166-2	丸山 純	0266-73-4698	0266-73-5587	391-0013
団体3級	(有)大野鉄工	茅野市玉川 5063	大野 賢二	0266-72-3805	0266-72-9490	391-0011
団体3級	(有)松澤鉄工	茅野市泉野 6054	松澤 良民	0266-79-5578	0266-79-5478	391-0214
団体3級	(企)坂本鉄工所	諏訪郡富士見町富士見 4654	坂本 隆男	0266-62-2065	0266-62-2065	399-0211
団体3級	富士見鉄工(株)	諏訪郡富士見町落合字 6973-1	小林 弘幸	0266-62-2017	0266-62-5376	399-0214
団体3級	(株)武藤電機茅野工場	茅野市玉川字原山 11400-1107	三島 吉貴	0266-79-6071	0266-79-6074	391-0011
団体3級	(有)篠原鉄工建設	諏訪郡原村 7698-イ	篠原 音幸	0266-79-2421	0266-79-5948	391-0105
団体3級	(株)ケーター	諏訪郡富士見町落合 10350-1	小林 一典	0266-62-8175	0266-62-8141	399-0214
団体3級	カゴメ(株)富士見工場	諏訪郡富士見町富士見 2150	鍵谷 和生	0266-62-3111	0266-61-1107	399-0211

●上伊那溶接協会

〒399-4102 駒ヶ根市飯坂 1-21-20 (株)金丸松井鉄工所内 TEL0265-83-6361 FAX0265-83-2581

会員種別	事業所名	所在地	代表者名	TEL	FAX	〒
団体特級	(株)ヤマウラ	駒ヶ根市東町 19-16	山浦 正貴	0265-83-8888	0265-82-2879	399-4106



会員種別	事業所名	所在地	代表者名	TEL	FAX	〒
団体1級	赤羽鉄工(株)	上伊那郡箕輪町中箕輪 8092	赤羽 廣治	0265-79-2448	0265-79-2635	399-4601
団体1級	滝澤鉄工(株)	伊那市上牧 6432-1	滝澤 文夫	0265-78-4105	0265-78-4106	396-0006
団体2級	(有)田村鉄工所	伊那市東春近東原 7000-6	田村 アイ	0265-78-3559	0265-73-7581	399-4432
団体2級	(資)大島鉄工所	駒ヶ根市飯坂 1-21-33	大島 信義	0265-82-2304	0265-82-2305	399-4102
団体2級	(株)キッツ 伊那工場	伊那市東春近原 7130	小原 久彦	0265-78-1111	0265-76-1110	399-4496
団体2級	(株)金丸松井鉄工所	駒ヶ根市飯坂 1-21-20	松井 俊仁	0265-83-6361	0265-83-2581	399-4102
団体3級	(株)IHI 回転機械	上伊那郡辰野町伊那富 7358-02	吉江 英二	0266-41-2081	0266-41-2365	399-0428
団体3級	(有)日進ウェルディング	上伊那郡箕輪町中箕輪 1545	上島 拓夫	0265-98-0007	0265-98-0009	399-4601
団体3級	(株)協成 長野工場	上伊那郡辰野町平出平田 1944	東 伸一	0266-41-0023	0266-41-4613	399-0422
団体3級	(有)登内鉄工	上伊那郡箕輪町木下 12151	登内 栄一	0265-79-3016	0265-79-0141	399-4601
団体3級	JA 上伊那オートパル 伊那整備	伊那市上牧 6404	掛川 晃	0265-78-0849	0265-78-0285	396-0006
団体3級	(有)信州鉄工	上伊那郡箕輪町中箕輪 8737-1	清水 利治	0265-79-2508	0265-79-6268	399-4601
団体3級	(有)唐澤鉄工	上伊那郡箕輪町沢 1899-1	唐澤 儀一	0265-79-3420	0265-79-3793	399-4601
団体3級	(有)中村鉄工所	上伊那郡箕輪町松島 8385-3	中村 正一	0265-79-2502	0265-79-9480	399-4601
団体3級	(有)サカエ鉄工所	上伊那郡箕輪町東箕輪 5231-1	大森 引幸	0265-79-3841	0265-79-9109	399-4602
団体3級	(有)中村製作所	伊那市東春近 1398-3	中村 祐二	0265-72-1852	0265-73-5185	399-4432
団体3級	興研工業(株)	上伊那郡箕輪町大字東箕輪 4895-3	宮嶋 利彰	0265-79-3323	0265-79-8285	399-4602
団体3級	(株)中野屋ステンレス	伊那市西箕輪 2701-5	小坂 博志	0265-72-4413	0265-73-5153	396-4501
団体3級	中村鉄工所	伊那市美篤上大島 3749-2	中村 定夫	0265-78-3120	0265-78-4002	396-0111
団体3級	(有)飯島鉄工	伊那市東春近 1796	飯島 豊	0265-78-2543	0265-78-2560	399-4432
団体3級	カトウ・テック(株)	上伊那郡南箕輪村田畑 6475	加藤 誠	0265-73-3005	0265-78-7121	399-4511
団体3級	(有)富島鉄工所	伊那市美篤青島 10797-1	富島 克洋	0265-78-2929	0265-78-2906	396-0111
団体3級	春日修理工場	伊那市美篤 3096-2	春日 俊一	0265-78-4110	0265-78-4110	396-0111
団体3級	(株)KTB	伊那市西春近 5393-2	小林 和良	0265-73-5878	0265-73-6311	399-4431
団体3級	(有)カクミ	上伊那郡南箕輪村田畑 5692-1	松澤 武夫	0265-76-0322	0265-72-8876	399-4511
団体3級	久保村工業	上伊那郡南箕輪村南原 9716	久保村 堅	0265-78-0653	0265-78-0653	399-4511
団体3級	ホンダ製作所	伊那市東春近 623	細田 誠治	0265-72-8419	0265-72-8453	399-4432
団体3級	(有)大西鉄工設備	伊那市西箕輪 3340-101	唐澤 重雄	0265-72-9350	0265-72-9114	399-4501
団体3級	(有)春近鉄工業	伊那市東春近 441	中村 勇一	0265-72-6248	0265-72-6228	399-4432
団体3級	カトー(株)	上伊那郡宮田村大原 6458	加藤 英明	0265-85-4375	0265-85-4532	399-4301
団体3級	タカノ(株)	伊那市西春近下河原 5331	鷹野 準	0265-72-3147	0265-78-6944	399-4431
団体3級	ヒラサワ空調技術	上伊那郡宮田村新田 4782	平澤 英夫	0265-85-2164	0265-85-2193	399-4301
団体3級	(有)近藤鉄工	上伊那郡宮田村 6110	近藤 崇	0265-85-2339	0265-85-4399	399-4301
団体3級	中島鉄工	駒ヶ根市中沢 2522-12	中島 明美	0265-82-2266	0265-82-2266	399-4231
団体3級	(有)新井鉄工所	駒ヶ根市赤穂 9319	新井 紀和	0265-83-3755	0265-81-5957	399-4117
団体3級	(株)北澤電機製作所	駒ヶ根市赤穂 497-122	北澤 誠治	0265-82-3161	0265-82-3353	399-4117

会員種別	事業所名	所在地	代表者名	TEL	FAX	〒
団体3級	大森鉄工所	駒ヶ根市赤穂 8167-5	大森 慶高	0265-83-1009	0265-83-5908	399-4117
団体3級	(株)宮脇製作所	駒ヶ根市中沢 12147	宮脇 眞	0265-82-2265	0265-82-3268	399-4231
団体3級	(株)ヨウホク	駒ヶ根市赤穂 11678-79	北林 元	0265-82-5238	0265-83-6346	399-4117
団体3級	(有)矢澤鉄工業	上伊那郡飯島町親町 674-20	矢澤 正幸	0265-86-2172	0265-86-5758	399-3702
団体3級	宮下建設工業(株)	上伊那郡中川村片桐 4030	宮下 進吾	0265-88-3034	0265-88-3575	399-3802
団体3級	(有)南原製作所	上伊那郡中川村片桐 6512-235	寺平 弘幸	0265-88-2416	0265-88-2952	399-3802
団体3級	(株)宮下鉄工	伊那市福島 215	宮下 健	0265-78-1151	0265-73-5824	396-0001
団体3級	アルプラス(株)	伊那市西箕輪 7130-1	後呂 康輔	0265-71-7172	0265-76-4787	399-4501
団体3級	南信工管(株)	伊那市西春近 2547	市川 修次	0265-72-1212	0265-73-6834	399-4431
団体3級	アラタ商店	伊那市上の原 6116-1	新田 明徹	0265-72-6518	0265-76-0649	396-0008
団体3級	(有)原鉄工	上伊那郡南箕輪村 2275-1	原 淳	0265-76-5156	0265-76-5156	399-4511
団体3級	信州中建工業(有)	駒ヶ根市赤穂 4841	小澤 勝巳	0265-82-2006	0265-83-0966	399-4117
団体3級	岡谷酸素(株)伊那営業所	伊那市美篤 7302-1	小松 広茂	0265-77-1031	0265-77-1022	396-0111
団体3級	(株)有賀鉄工	伊那市福島 513	有賀 克征	0265-78-4664	0265-78-1780	396-0001
団体3級	(株)河手プラント	上伊那郡箕輪町大字東箕輪 4161-1	河手 克則	0265-79-0348	0265-98-7161	399-4602
団体3級	(有)富永自動車	上伊那郡中川村大草 4632	富永 憲和	0265-88-2129	0265-88-3875	399-3801
団体3級	(株)クマガイメッシュ	上伊那郡中川村片桐 6512-239	熊谷 壘	0265-88-3852	0265-88-3862	399-3802

### ●飯伊溶接協会

〒395-0801 飯田市鼎中平 2380-3 戸崎製作所内 TEL0265-22-5710 FAX0265-52-5425

会員種別	事業所名	所在地	代表者名	TEL	FAX	〒
団体1級	(有)梅田鉄工	飯田市竹佐 684-5	梅田 豊	0265-25-2493	0265-25-8887	395-0242
団体1級	(有)岡本鉄工所	下伊那郡高森町吉田 2190	岡本 明方	0265-35-2478	0265-35-2426	399-3102
団体1級	(有)クボテツ	飯田市座光寺 3483	久保田 和夫	0265-22-5346	0265-22-1760	395-0001
団体1級	(有)塚平鉄工所	飯田市鼎切石 5005	塚平 英治	0265-22-0526	0265-22-0526	395-0807
団体1級	(株)原鉄	飯田市大門町 26	原 茂	0265-24-1201	0265-21-1201	395-0011
団体1級	(株)ミヤコー	飯田市松尾明 7770-1	山代 晋治	0265-24-3830	0265-24-6834	395-0823
団体1級	(有)宮下鉄工所	飯田市高羽町 2-1-5	宮下 静夫	0265-22-0637	0265-24-1109	395-0051
団体1級	村上鉄工所	飯田市中村 1502-4	村上 眞二	0265-25-1288	0265-25-1255	395-0156
団体1級	カナエ鉄工(有)	下伊那郡豊丘村神稲 9278-3	戸崎 佳治	0265-35-7934	0265-35-8877	399-3202
団体2級	綿半ソリューションズ(株)	下伊那郡高森町下市田 3198	森本 雅也	0265-35-5525	0265-35-6660	399-3103
団体2級	岡谷酸素(株)飯田営業所	下伊那郡高森町下市田 3220-3	奥原 清文	0265-35-2434	0265-35-6743	399-3103
団体3級	(有)相川鉄工場	下伊那郡松川町元大島 2311	宮崎 政幸	0265-36-2069	0265-36-6158	399-3303
団体3級	(有)今村鐵工	飯田市東中央通り 3211-6	今村 陽俊	0265-22-0907	0265-22-0907	395-0025
団体3級	(株)小笠原鉄工	下伊那郡阿智村春日 1145	小笠原 敏彦	0265-43-2035	0265-43-3975	365-0301
団体3級	(有)熊鉄	下伊那郡天龍村平岡 906	熊谷 文郷	0260-32-2175	0260-32-3089	399-1201

会員種別	事業所名	所在地	代表者名	TEL	FAX	〒
団体3級	(株)鈴木鉄工場	飯田市鼎西鼎 634-1	鈴木 修三	0262-22-5766	0265-22-8903	395-0026
団体3級	戸崎製作所	飯田市鼎中平 2380-3	戸崎 道夫	0265-22-5710	0265-52-5425	395-0801
団体3級	(有)戸崎鐵工所	飯田市鼎中平 2320	戸崎 敬	0265-52-3325	0265-52-3326	395-0801
団体3級	(有)宮沢鉄工場	下伊那郡喬木村阿島 400-74	宮沢 功	0265-33-3535	0265-33-3019	395-1101
団体3級	(有)山下鉄工所	飯田市下久堅下虎岩 3249-1	山下 敏治	0265-29-7771	0265-29-7370	399-2603
団体3級	飯田ヂーゼル(株)	飯田市松尾明 7664-1	中島 一夫	0265-21-1130	0265-21-1136	395-0823
団体3級	飯田三冷工業(有)	下伊那郡高森町牛牧 1450-1	伊坪 聡	0265-35-8969	0265-35-1022	399-3105
団体3級	鷹・久保田組	飯田市座光寺 4745-4	久保田 祐介	0265-53-8106	0265-53-8103	395-0001
団体3級	(株)土屋	飯田市上郷別府 3327-2	小椋 章志	0265-23-3011	0265-23-9426	395-0003
団体3級	山田鐵工(有)	飯田市上郷別府 3340-2	山田 剛	0265-23-3317	0265-23-3399	395-0003
団体3級	(株)飯島鉄工所	飯田市駄科 2699	飯島 貴裕	0265-26-7727	0265-26-6327	399-2561
団体3級	(有)渡辺工機	飯田市下殿岡 1075-2	渡邊 勝也	0265-25-3211	0265-25-5243	395-0154
団体3級	(有)新栄鐵工	下伊那郡下條村陸沢 8621-1	熊谷 善司	0260-27-2339	0260-27-3739	399-2101
団体3級	二吉建設(株)	飯田市下久堅下虎岩 975	吉川 智加司	0265-29-8222	0265-29-8219	399-2602
団体3級	西村鉄工所	飯田市伊豆木 6336	西村 勝博	0265-27-3288	0265-27-3288	399-2434
団体3級	(株)ヨシ鉄	下伊那郡松川町元大島 2905-1	後藤 芳久	0265-48-6011	0265-48-6061	399-3303
団体3級	(有)菅沼建鉄	飯田市松川町 2239-1	菅沼 隆人	0265-23-0494	0265-52-1459	395-0074
団体3級	吉村鉄工所	飯田市南信濃和田 1046	吉村 堅治	0262-34-2225	0260-34-2470	399-1311
団体3級	(有)峰鉄工	飯田市中村 1452-5	峰 淳	0265-25-5334	0265-25-5337	395-0156
団体3級	(有)片桐鉄工所	下伊那郡阿智村駒場 548-3	片桐 奨悟	0265-43-3007	0265-43-3007	395-0303
団体3級	(株)キンポーメルテック	飯田市三日市場 2111	野沢 稔弘	0265-25-4500	0265-25-4190	395-0155
団体3級	(株)ティー・ウエーブ	下伊那郡松川町大島 1978	岡本 俊生	0265-34-1420	0265-34-1421	399-3304
団体3級	(有)関口鐵工所	飯田市鼎西鼎 654	関口 多賀寿	0265-22-2311	0265-23-3648	395-0026
団体3級	輸入石油(株)	飯田市大通り 2-218-2	中島 隆	0265-22-6231	0265-23-8244	395-0056

### ●中信溶接協会

〒390-8503 松本市中央 1-23-1 松本商工会議所内 TEL0263-32-5350 FAX0263-32-1482

会員種別	事業所名	所在地	代表者名	TEL	FAX	〒
団体特級	(株)IHI アグリテック	松本市石芝 1-1-1	浦畑 智光	0263-25-4518	0263-25-0923	390-0845
団体特級	(株)デンソーエアケール	安曇野市穂高北穂高 2027-9	深澤 治人	0263-81-1261	0263-81-1395	399-8386
団体1級	(株)デリカ	松本市和田 5511-11	金子 孝彦	0263-48-1184	0263-48-1190	390-1242
団体1級	日本電熱(株)	安曇野市三郷温 3788	田中 紀幸	0263-87-8289	0263-87-8302	399-8102
団体2級	(株)エイビック	安曇野市穂高柏原 4580	須藤 大吾	0263-82-9262	0263-82-9264	399-8304
団体2級	(株)カイジョー	松本市和田 4010-29	土屋 隆行	0263-48-1233	0263-48-1019	390-1242
団体2級	岡谷酸素(株)営業本部	松本市市場 6-20	青木 政弘	0263-27-2235	0263-28-5116	399-0004
団体2級	(株)小松製作所	松本市今井松本道 7256-1	小松 浩康	0263-58-3330	0263-58-3360	390-1131
団体2級	(有)昭光産業	塩尻市大字宗賀 1 番地	平沢 淳	0263-52-0737	0263-52-0739	399-6461

会員種別	事業所名	所在地	代表者名	TEL	FAX	〒
団体2級	昭和興業(株)	大町市常盤 6958-4	山本 和彦	0261-22-9098	0261-22-9039	398-0004
団体2級	(株)信成	松本市大字笹賀 5652-43	織田 兼治	0263-26-2927	0263-26-8895	399-0033
団体2級	(株)高山製作所	松本市大字和田 3967-20	高山 佳和	0263-47-8809	0263-47-9809	390-1242
団体2級	(株)田中機器製作所	松本市島内 5543	田中 幸一	0263-47-2211	0263-47-7574	390-0851
団体2級	土屋製工(株)	安曇野市明科七貴 6103-1	土屋 久	0263-62-5435	0263-62-5404	399-7104
団体2級	(株)東工シャッター	東筑摩郡山形村 3119-1	中川 剛寛	0263-31-5440	0263-31-5441	390-1301
団体2級	(株)中島鐵工所	安曇野市三郷明盛 2659	中嶋 秀幸	0263-77-4520	0263-77-6249	399-8101
団体2級	TIP composite (株)	松本市大字和田南西原 3967-19	小穴 明男	0263-47-8861	0263-47-8860	390-1242
団体2級	フィット工業(株)	松本市今井区松本道 7155-53	高木 常行	0263-58-7744	0263-57-2796	390-1131
団体2級	(株)松本鉄工所	松本市大字笹賀 5652-218	三村 平	0263-28-0088	0263-28-8020	399-0033
団体2級	(株)丸谷工業	松本市笹賀 5652-89	丸谷 一友	0263-25-4008	0263-27-0776	399-0033
団体2級	(株)宮原酸素	塩尻市広丘吉田 1078-1	宮原 亮平	0263-57-5200	0263-57-5203	399-0701
団体2級	(株)モモセポデー	松本市市場 2-8	上條 一詞	0263-25-8899	0263-25-8099	399-0004
団体2級	弥生精工(株)	松本市野溝木工 2-6-1	黒田 由三	0263-26-2240	0263-26-2241	399-0005
団体3級	赤田工業(株)	池田町会柴 6108-75	赤田 弥寿文	0261-62-2235	0261-62-9071	399-8602
団体3級	(有)アーステック	木曾郡上松町大字小川 2036-3	西谷 正	0264-52-2833	0264-52-2374	399-5601
団体3級	(株)伊藤組	大町市大町 6850	伊藤 紀裕	0261-22-1771	0261-22-7030	398-0002
団体3級	(株)一ノ瀬鐵工所	松本市神林 3888	一ノ瀬 徳雄	0263-26-2311	0263-27-0944	390-1243
団体3級	(有)猪又鍍金工業	安曇野市堀金三田 3698	猪又 悟	0263-72-2693	0263-72-5149	399-8212
団体3級	(株)イマイ鐵構	東筑摩郡山形村字北竹原 5682-1	今井 康人	0263-98-3035	0263-98-3037	390-1301
団体3級	(有)今村圧接工業所	松本市野溝木工 1-6-4	今村 浩志	0263-25-9283	0263-26-1214	399-0005
団体3級	(有)内川鉄工製作所	安曇野市豊科 1823	内川 伸良	0263-72-2644	0263-72-6879	399-8205
団体3級	(有)内田工業	安曇野市堀金烏川 2023-3	内田 聡	0263-73-2394	0263-73-2929	399-8211
団体3級	梅沢鉄工所	大町市平 7550-12	梅沢 孝次	0261-22-7148		398-0001
団体3級	(有)上條鉄工所	安曇野市穂高 5690-1	上條 邦保	0263-82-2660	0263-82-2660	399-8300
団体3級	(株)木下工業	木曾郡大桑村須原 1229-1	木下 哲也	0264-55-3111	0264-55-2289	399-5502
団体3級	(有)久保製作所	木曾郡大桑村殿 1116-1	久保 和夫	0264-55-3023	0264-55-2410	399-5501
団体3級	(株)倉科鐵工所	松本市神林 3878	倉科 賢三	0263-26-2388	0263-26-2390	390-1243
団体3級	京王重機整備(株)塩尻事業所	塩尻市広丘高出 1783	中島 一博	0263-52-0640	0263-52-0644	399-0703
団体3級	コイケ精工(有)	松本市野溝木工 1-8-38	小池 義明	0263-26-3577	0263-26-3610	399-0005
団体3級	小林工業	安曇野市穂高有明 1003-2	小林 清章	0263-83-2193		399-8301
団体3級	小松工業(株)	塩尻市広丘原新田 214-3	小松 博	0263-88-8532	0263-86-5670	399-0706
団体3級	メイコー	松本市野溝木工 1-7-8	千野 孝明	0263-26-9707	0263-26-9707	399-0005
団体3級	(株)サクセス工業	松本市梓川梓 2872	石渡 一広	0263-88-7464	0263-88-4844	390-1702
団体3級	(有)創悠遊	松本市大字今井 7089-3	伊東 昌恒	0263-85-7630	0263-85-7631	390-1131
団体3級	(株)瀬戸口化工機	松本市中山 1503-9	瀬戸口 修	0263-25-1750	0263-25-1762	390-0823

会員種別	事業所名	所在地	代表者名	TEL	FAX	〒
団体3級	(株)タカノ	松本市和田南西原 3967-73	高野 泰大	0263-48-1500	0263-48-1501	390-1242
団体3級	(株)武田鐵建	松本市梓川梓 2454	武田 力	0263-78-2552	0263-78-2399	390-1702
団体3級	竹内鐵工所	北安曇郡松川村 5721-167	竹内 幸春	0261-62-3463		399-8501
団体3級	(株)田之尻鐵工	大町市大町 4155	平林 良章	0261-22-1083	0261-22-9543	398-0002
団体3級	(有)田村興業	松本市中山台 29-11	田村 和則	0263-57-0050	0263-57-1166	390-0823
団体3級	(有)タダチ	松本市元町 3-5-30	松橋 通人	0263-35-2975	0263-34-9634	390-0803
団体3級	(株)一志ホーム	東筑摩郡麻績村日 5250-1	塚原 友一	0263-67-4600	0263-67-4601	399-7702
団体3級	中部精器(有)	大町市常盤 6908-1	竹村 真吾	0261-22-2213	0261-23-3530	398-0004
団体3級	(株)D-CRAFT	安曇野市明科光 621	白板 正光	0263-62-0370		399-7103
団体3級	(有)原製作所	東筑摩郡朝日村古見 3725-20	原 和樹	0263-99-3778	0263-99-3778	390-1104
団体3級	(有)平野冷熱工業	松本市筑摩 3-35-8	平野 享	0263-26-1255	0263-26-1598	390-0821
団体3級	藤沢商会(有)	東筑摩郡生坂村 7713-1	藤沢 政文	0263-69-2046	0263-69-2777	399-7200
団体3級	富士技研工業(株)	松本市岡田町 445-3	笠原 正夫	0263-46-1556	0263-46-3368	390-0315
団体3級	(有)フルセ工業	木曾郡上松町上松 1800-5	古瀬 有	0264-52-4852		399-5601
団体3級	(有)古川鐵工所	松本市笹賀神戸 3836	古川 東久光	0263-58-2855	0263-58-3106	399-0033
団体3級	堀金工業(株)	安曇野市穂高牧 173-3	齊間 健次	0263-83-3624	0263-83-4876	399-8305
団体3級	(有)一陽鐵建社	北安曇郡松川村 1494	横澤 直人	0261-62-2713	0261-62-9142	399-8501
団体3級	(株)丸山鐵工所	松本市今井区松本道 7155-24	丸山 弥寿郎	0263-58-2267	0263-58-2268	390-1131
団体3級	松田鐵工(株)	松本市小屋南 1-16-1	高橋 博美	0263-58-1115	0263-58-4781	399-0038
団体3級	松本ガス設備(株)	松本市芳野 3-3	清水 廣	0263-26-5200	0263-27-6240	399-0002
団体3級	(有)丸信工機	木曾郡南木曾町読書 2445	長谷部 俊光	0264-57-3522	0264-57-4188	399-5301
団体3級	(有)村山工業	松本市大字今井 4004-2	村山 智計	0263-59-2536	0263-50-3240	390-1131
団体3級	(有)村上鐵工所	松本市神林 2315	村上 久登	0263-57-4462	0263-57-9074	390-1243
団体3級	(有)山辺鐵工	東筑摩郡山形村南野尻 4219-4	布野 毅	0263-98-3355	0263-98-3849	390-1301
団体3級	(有)矢島鐵工所	松本市笹賀 232	矢島 卓実	0263-58-1000	0263-58-1233	399-0033
団体3級	山岸輪店	北安曇郡小谷村中小谷丙 696	山岸 利男	0261-82-2019	0261-82-3866	399-9421
団体3級	(有)米倉鐵工	安曇野市堀金烏川 2175-1	米倉 哲也	0263-72-2797		399-8211
団体3級	(有)横山酸素店	松本市島立 3827-4	横山 裕史	0263-47-8383	0263-47-8266	390-0852
団体3級	(有)ワーク	松本市波田 10362-1	小石 剛志	0263-98-5501	0263-98-5661	390-1401
個人会員	本澤 賢		本澤 賢			

●南長野更埴溶接協会

〒387-0018 千曲市大字新田 823 日酸 TANAKA (株)長野工場内 TEL026-272-2700 FAX026-272-6822

会員種別	事業所名	所在地	代表者名	TEL	FAX	〒
団体特級	(株)前田製作所	長野市篠ノ井御幣川 1095	塩入 正章	026-292-2222	026-293-0370	388-8522
団体特級	日酸 TANAKA (株)	千曲市大字新田 823	佃 淳一	026-272-6964	026-272-2885	387-0018
団体特級	長野工業(株)	千曲市大字八幡 3297-2	塚本 泰久	026-273-1331	026-273-0045	387-8561

会員種別	事業所名	所在地	代表者名	TEL	FAX	〒
団体特級	(株)竹内製作所	埴科郡坂城町大字上平 205	竹内 敏也	0268-81-1100	0268-81-1127	389-0605
団体1級	(株)中嶋製作所	長野市篠ノ井会 33	中嶋 功雄	026-292-1203	026-293-1611	388-8004
団体1級	サクラ精機(株)	千曲市大字新田 46-1	東 竜一郎	026-273-3582	026-273-3584	387-0018
団体1級	森川産業(株)	千曲市大字鋳物師屋 150	岡本 正敏	026-272-0640	026-272-3010	387-0015
団体1級	KYB-YS 株式会社	埴科郡坂城町坂城 9165	田中 章義	0268-82-2850	0268-82-2857	389-0688
団体2級	大晴工業(株)	長野市篠ノ井東横田 520-1	樽田 俊秀	026-292-2812	026-292-2360	388-8005
団体2級	(株)武仁	長野市篠ノ井会 102	海江田 勝由	026-292-0579	026-292-1142	388-8004
団体2級	善光産業(株)	長野市松代町松代 1023-6	樽田 国昭	026-278-2215	026-278-8586	381-1231
団体2級	(株)飯島工業所	千曲市大字屋代 902	飯島 正博	026-272-2478	026-272-2267	387-0007
団体2級	中部建工(株)	千曲市大字屋代 3055	加藤 潤	026-272-1479	026-273-3729	387-0007
団体2級	(株)八光電機	千曲市大字磯部 1486	関口 寿	026-275-0121	026-276-0492	389-0806
団体2級	(株)ツジテ	埴科郡坂城町大字中之条 2149	辻出 浩一	0268-82-2675	0268-82-8179	389-0602
団体2級	(有)宮原酸素工業所	埴科郡坂城町上五明 1310	宮原 誠	0268-82-3020	0268-82-3021	389-0606
団体2級	(株)モリカワ	千曲市寂蒔 1048	森川 毅	026-272-4592	026-272-0380	387-0016
団体3級	更北工業(株)	長野市稲里町田牧 344-1	宮坂 英雄	026-285-3903	026-285-3953	381-2214
団体3級	伸和工業(株)	千曲市大字八幡 1122-7	宮川 哲士	026-274-3513	026-274-3514	387-0023
団体3級	(有)美弥ステンレス工業	千曲市大字力石 1435	塚田 弘道	0268-82-6122	0268-82-7179	389-0824
団体3級	横山アーク(株)	埴科郡坂城町南条 6781	横山 和雄	0268-82-2779	0268-82-7998	389-0603
団体3級	サンケン工業(株)	長野市篠ノ井岡田 538-1	堅岩 恵行	026-292-7007	026-292-6150	381-2225
団体3級	A.D.P アンドー工業(有)	長野市合戦場 2-118-2	安藤 幸良	026-292-1182	026-292-1839	388-8008
団体3級	(株)信越工業	千曲市大字内川 191	中村 大吉	026-275-2446	026-275-0091	389-0802
団体3級	中部機電(株)	千曲市大字屋代 805-7	棟方 茂	026-272-5656	026-272-4808	387-0007
団体3級	長野県農業大学校	長野市松代町大室 3700	西澤 奈緒樹	026-278-5211	026-261-2121	381-1211
団体3級	(有)鳴海工業	千曲市大字雨宮 413-5	平林 和英	026-273-4519	026-273-5250	387-0001
団体3級	渡辺工業	千曲市森 2618-1	小島 利彦	026-272-3921	026-272-3921	387-0005
団体3級	岡谷酸素(株)長野南営業所	千曲市屋代 4158-1	宮坂 東	026-274-3474	026-274-3974	387-0007
団体3級	クリエイティブワース(株)	千曲市鋳物師屋 710-2	宮川 秀一	026-273-5816	026-273-5810	387-0015
団体3級	(株)安田製作所	長野市篠ノ井御幣川 753	安部 信也	026-292-0845	026-293-9673	388-8006
団体3級	(有)ナツキ製作所	長野市篠ノ井御幣川 726-1	北村 夏樹	026-293-8033	026-293-0422	388-8006
団体3級	(有)北村工業	千曲市大字桑原字五反田 1819	北村 誠	026-272-0965	026-273-0061	387-0024
団体3級	光葉スチール(株)	千曲市八幡 4601-1	牛越 寛生	026-274-0802	026-274-0810	387-0023
団体3級	(株)野沢製作所	長野市篠ノ井岡田 539-1	野沢 明	026-292-3423	026-293-5592	388-2225
団体3級	協全商事(株)	長野市稲里町中氷鉤字上荒沢 435	塚田 裕一	026-285-2216	026-283-0723	381-2215
団体3級	(株)久保冷機	千曲市大字雨宮 641-1	久保 和彦	026-272-2160	026-272-2254	387-0003
団体3級	若林熔工	埴科郡坂城町大字南条 7735-1	若林 亜啓美	0268-82-6663	0268-82-5142	389-0603



会員種別	事業所名	所在地	代表者名	TEL	FAX	〒
団体3級	(有)ミヤセ工業	埴科郡坂城町大字南条 4963-12	宮尾 智生	0268-82-8122	0268-82-8002	389-0603
団体3級	(有)浦野	千曲市大字倉科 286-1	酒井 和浩	026-274-1888	026-273-5884	387-0004
団体3級	(有)川中島鉄工所	長野市川中島町原 1216-3	武 満利	026-292-4003	026-292-4420	381-2224
団体3級	青木板金工業所	千曲市大字戸倉 2200-2	青木 茂一	026-275-0790	026-276-4816	389-0804
団体3級	(有)石川製作所	千曲市大字八幡 2131-1	石川 正之	026-273-1023	026-273-3003	387-0023
団体3級	(有)小田切工業	長野市篠ノ井御幣川 703-4	小田切 彰	026-293-3362	026-293-3699	388-8006
団体3級	福田溶接	長野市信更町田野口 1433-10	福田 勝利	026-299-2999	026-299-2999	381-2353
団体3級	吉田製作所	千曲市大字小船山 326	吉田 淳	026-247-8852	026-247-8853	389-0801
個人会員	横山 康司		横山 康司			
個人会員	神田 豊		神田 豊			
個人会員	武田 隆志		武田 隆志			

### ●須高溶接協会

〒382-8502 須坂市大字幸高 246 オリオン機械(株)内 TEL026-245-1230 FAX026-246-1344

会員種別	事業所名	所在地	代表者名	TEL	FAX	〒
団体特級	オリオン機械(株)	須坂市大字幸高 246	片桐 卓也	026-245-6205	026-246-1344	382-8502
団体1級	オリオン精工(株)	高山村大字高井 55	安藤 一雄	026-245-5366	026-245-7703	382-0837
団体1級	オリオン熱学(株)	須坂市大字米持 200	小林 和幸	026-245-0640	026-248-0990	382-0041
団体1級	信州工業(株)	須坂市墨坂南 1-18-13	山崎 克行	026-245-8211	026-248-2450	382-0098
団体2級	ヤマキ工業(株)	須坂市小河原 3954-20	小林 康弘	026-248-1121	026-251-2000	382-0005
団体3級	(株)岩井鉄工所	須坂市米持町 141-11	岩井 正	026-245-5014	026-246-1981	382-0041
団体3級	(有)下田鉄工所	須坂市墨坂南 1-15-7	下田 哲郎	026-245-2600	026-248-3917	382-0098
団体3級	(有)西原鉄工所	須坂市小河原 471-1	西原 重喜	026-245-5676	026-245-6890	382-0074
団体3級	(株)内田鉄工所	須坂市相之島 250	内田 茂	026-245-1246	026-248-3063	382-0065
団体3級	(株)平野建設工業	須坂市福島町 32-1	平野 敏夫	026-245-3206	026-248-8866	382-0056
団体3級	(有)オカモエンジニアリング	須坂市墨坂 5-12-17	茂木 淳	026-248-8157	026-248-8159	382-0099
団体3級	(有)勝山ステンレス工業	高山村大字高井久保 2012	勝山 哲	026-248-1673	026-248-4375	382-0833
団体3級	(有)逸町製作所	高山村中山 3366	逸町 睦雄	026-245-8362	026-245-9224	382-0805

### ●中高溶接協会

〒389-2255 飯山市大字静間 280 番地 1 飯山陸送(株)内 TEL0269-62-3351 FAX0269-62-0591

会員種別	事業所名	所在地	代表者名	TEL	FAX	〒
団体3級	(有)丸山鉄工所	中野市大字中野 1701	丸山 隆	0269-22-3296	0269-22-3435	383-0013
団体3級	(有)長野奥村製作所	中野市大字草間 1335-1	奥村 光雄	0269-22-5717	0269-26-1431	383-0053
団体3級	(有)アオキビルド	中野市大字草間 2011-1	青木 久隆	0269-22-5567	0269-23-1481	383-0053
団体3級	(株)武田	中野市大字一本木 707-1	武田 明良	0269-22-2185	0269-26-7873	383-0012
団体3級	飯山陸送(株)	飯山市大字静間 280 番地 1	小野澤 幸人	0269-62-3351	0269-62-0591	389-2255

会員種別	事業所名	所在地	代表者名	TEL	FAX	〒
団体3級	(株)山根屋	飯山市大字飯山145-1	長瀬 健一	0269-62-3641	0269-62-3372	389-2253

●長野溶接工業会

〒380-0954 長野市大字安茂里字本上河原8102 長野県板金工業組合内 TEL026-227-7187 FAX026-228-5945

会員種別	事業所名	所在地	代表者名	TEL	FAX	〒
団体特級	(株)角藤鉄構事業部	長野市南屋島515	高野 浩文	026-221-8145	026-221-4086	381-8686
団体特級	トライアン(株)	長野市松岡2-6-18	松橋 幹生	026-251-1605	026-251-1615	381-0022
団体特級	(株)青木鐵工所	須坂市小島松川添1476-166	青木 光幸	026-246-8855	026-246-8699	382-0062
団体特級	(株)西澤製作所	長野市大橋南1-20-1	西澤 章	026-284-3332	026-284-5829	381-2207
団体特級	協立工業(株)	長野市川中島町御厨1069	菊嶋 秀生	026-284-4268	026-283-1210	381-2221
団体特級	(株)宮入鐵工所	長野市松代町東寺尾2628	宮入 豊一	026-278-5888	026-278-9118	381-1225
団体1級	岡谷酸素(株)長野営業所	長野市中越1-1-1	野口 博一	026-251-0301	026-251-0330	381-8560
団体1級	(株)羽生田鐵工所	長野市柳原2433	羽生田 豪太	026-296-9221	026-296-9226	381-0012
団体1級	(株)マナテック	長野市南長池古新田369-5	神田 昭夫	026-243-3222	026-244-5146	381-0024
団体1級	(株)中村絞工業	長野市西和田1-13-18	中村 義政	026-243-1368	026-243-9382	381-0037
団体1級	JR東日本旅客鉄道(株) 首都圏本部 長野総合車両センター 生産技術課	長野市西和田2-29-1	西澤 慎也	262-243-0899	026-214-9624	381-0037
団体1級	(株)カワモト	長野市川中島今井1780	河本 龍一	026-284-0400	026-284-5577	381-2226
団体1級	長野日本無線マニ ファクチャリング(株)	長野市稲里町下水鉤1163	篠原 和郎	026-285-1210	026-285-1061	381-2221
団体1級	大伸鐵工所(株)	長野市下駒沢800-13	寺島 隆	026-296-2231	026-295-4556	381-0008
団体1級	(株)前田鐵工所	須坂市豊丘1385-1	半谷 雅典	026-246-7301	026-246-7335	382-0021
団体1級	宮原酸素(株)長野営業所	長野市南長池村前197-1	宮原 龍也	026-243-6751	026-243-8141	381-0024
団体1級	直富商事(株)	長野市大豆島3397-6	木下 繁夫	026-222-1880	026-222-1881	381-0022
団体2級	(株)三英 長野工場	長野市風間2034	三浦 剛	026-221-6252	026-221-1534	381-0023
団体2級	(株)二見屋	長野市稲里町田牧190	水沢 仁亮	026-284-3113	026-284-2007	381-2214
団体2級	(株)アイテクノ矢嶋	長野市上野1-35	表 裕明	026-296-1125	026-296-1179	381-0085
団体2級	(株)本久	長野市東和田809-1	加藤 章	026-243-2603	026-244-0146	381-0038
団体2級	長野鋼材(株)	長野市稲里中央4-21-38	竹下 将司	026-285-2231	026-285-2186	381-2217
団体2級	長野県冷凍空調設備協 会	長野市大字栗田字西番場205-1 長野県工業技術総合センター食品 技術部門2階	山田 義信	026-262-1903	026-262-1904	380-0921
団体2級	信幸金属工業(株)	長野市稲里町中氷鉤九反1	鈴木 康裕	026-284-3173	026-284-3177	381-2215
団体2級	(株)竹村製作所	長野市小島127	岩田 裕之	026-253-1220	006-251-0233	381-0017
団体2級	(株)オオヒノ	長野市風間下河原2034-8	大日野 茂行	026-221-0712	026-221-7056	381-0023
団体2級	吉池鐵工(株)	長野市松代町東寺尾2874	吉池 茂	026-278-6530	026-278-8249	381-1231
団体2級	(株)タケメト	須坂市大字小河原971-4	竹本 淳	026-248-8112	026-248-0003	382-0017

会員種別	事業所名	所在地	代表者名	TEL	FAX	〒
団体3級	(株)マツハシ冷熱	長野市若里 1-5-1	上島 隆久	026-223-0620	026-228-6378	380-0928
団体3級	(有)信州溶接工業社	長野市青木島町大塚 220-1	酒井 昌幸	026-284-3490	026-284-3490	381-2205
団体3級	(有)フカサワ鉄工	長野市大字大豆島 1673	深沢 忠夫	026-222-5163	026-222-5163	381-0022
団体3級	(株)信州冷機	長野市真島町川合字北宮島 2036-33	轟 一弥	026-285-5911	026-285-5915	381-2203
団体3級	山崎設備工業(有)	長野市若里 4-13-3	山崎 敏郎	026-226-7546	026-226-7584	380-0928
団体3級	(株)塚田工業	長野市吉田 5-17-18	塚田 博文	026-243-6421	026-241-6556	381-0043
団体3級	倉澤鋼業(株)	長野市石渡 456	倉澤 利夫	026-241-5140	026-244-5971	381-0015
団体3級	長野金属工業(株)	長野市若里 7-7-5	大久保 昭	026-227-3689	026-228-0691	380-0928
団体3級	(株)樋口工業	長野市中御所 5-2-8	樋口 高義	026-226-5435	026-227-5650	380-0935
団体3級	(株)三立	長野市風間下河原 2034-10	山本 義迪	026-221-2083	026-221-2013	381-0023
団体3級	(株)エクセル	長野市大豆島之上島 3397-13	滝澤 幸広	026-222-3438	026-222-3670	381-0022
団体3級	太田産業(有)	長野市南高田 1850	太田 和重	026-221-7478	026-221-5193	381-0034
団体3級	蟻坂工業(有)	長野市高田 2155	蟻坂 照	026-221-0437	026-221-5040	381-0034
団体3級	(株)東亜	長野市若穂綿内 315-12	山口 恵司	026-282-1331	026-282-1332	381-0101
団体3級	(有)太田製作所	長野市若穂保科字板倉 2171	田中 伸弥	026-282-3622	026-282-5611	381-0120
団体3級	関鉄工所	長野市信州新町日原東 1627	関 春良	026-262-2516	026-262-2696	381-2422
団体3級	(有)岡田鉄工所	長野市中御所 4-5-4	岡田 倉美	026-226-1788	026-224-9350	380-0935
団体3級	河口鉄工(株)	長野市松代町東条 3045	河口 康宣	026-278-3584	026-278-8532	381-1211
団体3級	長野プレス工業(有)	長野市鬼無里 1630-1	和田 和彦	026-256-2108	026-256-3296	381-4301
団体3級	(有)横谷工業	長野市鬼無里日影 408	横谷 義次	026-256-2080	026-256-3261	381-4302
団体3級	(有)中沢工業	長野市下駒沢 240-30	中沢 拓治	026-296-2620	026-296-2620	381-0008
団体3級	(有)角田工業	長野市若穂綿内 6059-3	角田 武美	026-282-5871	026-282-5871	381-0101
団体3級	(株)ナガノエンジニアリング	長野市大字高田 1773	小林 政	026-221-3550	026-221-3551	381-0034
団体3級	(有)中園工業	長野市大豆島 6092-7	中園 良人	026-222-6139	026-222-6153	381-0022
団体3級	(有)大輝工業	長野市大豆島 1670	亀井 吉雄	026-221-9261	026-221-9262	381-0022
団体3級	(株)アーク柏	埼玉県北葛飾郡松伏町大川戸 1046	塚田 光輝	048-991-8877	048-991-8866	343-0106
団体3級	長野エンジニアリング	長野市上松 1-9-11	山崎 政男	026-232-6892	026-233-2582	380-0802
団体3級	(有)小林仮設工業	須坂市仁礼生守 153-14	小林 秀樹	026-248-1337	026-246-5635	382-0034
団体3級	芳川鉄工所	長野市川中島町上氷鉋 1300	芳川 清一	026-284-3712	026-214-7712	381-2233
団体3級	(有)竹元鉄工所	長野市富竹 23-2	竹本 義則	026-296-2275	026-295-5753	381-0006
団体3級	(有)池田工業所	長野市広田 50-2	池田 暢	026-284-8514	026-285-6562	381-2213
団体3級	(株)川中島装建	長野市稲里町下氷鉋 392-3	後藤 茂広	026-283-1801	026-283-1859	381-2211
団体3級	ワールド開発工業(株)	長野市若穂川田字村南 923	高野 博勝	026-282-5367	026-282-5806	381-0103
団体3級	三巧金属(株)	長野市大橋南 1丁目 10番地	和田 要一	026-285-5361	026-285-5371	381-2207
団体3級	サカニシ興業(株)	長野市豊野町豊野 484-7	坂西 仁	090-3333-3215	026-241-5007	389-1105

会員種別	事業所名	所在地	代表者名	TEL	FAX	〒
団体3級	(株)ネクスパイア	長野市大字長野横沢町 753-1 ネクストビル2F	小松 誠一郎	026-213-4327	026-213-4328	380-0861
団体3級	ニチアスセラテック(株) 中野工場	中野市大字草間 2034 番地	高橋 祐輔	026-262-1913	0269-22-5500	383-0053
団体3級	岩上鋼材(株)	上高井郡高山村大字高井 6100-11	黒川 裕彦	026-246-6833	026-246-6838	382-0800
団体3級	(有)タバタ産業	長野市大字風間 2034-31	宮本 拓	026-222-6066	026-222-6067	381-0023
団体3級	(株)一城 北部営業所	長野市大字大町 738-12	小林 孝夫	026-295-6789	026-296-6661	381-0004
団体3級	(株)島田工業	長野市平林 1-6-33	島田 章	026-263-7720	026-263-7721	381-0036
団体3級	(株)信越車体	長野市大字村山 541-2	樋口 博一	026-296-9311	026-296-9315	381-0011
団体3級	(株)北山商事	長野市大字赤沼 767-1	北山 聡明	026-296-5516	026-266-0633	381-0001
団体3級	(株)山崎工業所	長野市南長池 716-4	山崎 俊	026-217-0890	026-217-0460	381-0024
団体3級	(株)日新電機製作所	長野市大豆島芹土 277	平塚 恵一	026-221-3535	026-221-5094	381-0022
団体3級	(株)エスケー	長野市川中島町今井 1780 カワモトビル3F	須田 和重	026-213-6484	026-291-1561	381-2226
団体3級	(有)小浜興業	長野市大字徳間 718-25	小浜 光弘	026-295-9324	026-213-4156	381-0041
団体3級	(株)信越興業	長野市大字高田 1715-7	中村 真一	026-223-0687	026-466-6414	381-0034
個人会員	飯田 弘己		飯田 弘己			

# 祝

## 創立70周年

一般社団法人 長野県溶接協会の創立70周年を  
心からお祝い申し上げます。

---

### 【協賛企業】（掲載順）

---

岡谷酸素株式会社  
株式会社神戸製鋼所  
産報出版株式会社  
長野県高圧ガス協会  
長野県板金工業組合  
松山株式会社  
宮原酸素株式会社  
株式会社イツミ  
株式会社三協産業  
長野県鐵構事業協同組合

株式会社日刊工業新聞社  
株式会社羽生田鉄工所  
株式会社ヤマウラ  
有限会社横山酸素店  
コトヒラ工業株式会社  
善光産業株式会社  
有限会社タケイサンキ  
有限会社堀内溶接工業所  
株式会社前田鉄工所




# 「 転石、苔を生ぜず 」

活発な活動をしている者は  
いつまでも古くならないということのたとえ

革新者は、錆びつかない。

人へ、社会へ、未来を支えるエネルギーを届けています

 **岡谷酸素株式会社**

本 社 : 〒394-8585 岡谷市幸町6番6号 TEL:0266-22-5531  
営業本部 : 〒399-0004 松本市市場6番20号 TEL:0263-27-2235

他営業拠点

岡谷・松本・あづみ野・木曾・伊那・駒ヶ根・飯田・諏訪南・山梨・  
長野・長野南・長野北・上田・佐久・高崎・上越・見附・新潟

工業用ガス(酸素、窒素他)、家庭用LPガス、医療用ガスの販売  
ガス関連機器の販売・メンテナンス、住宅リフォーム、  
太陽光発電システム販売・施工  
管工事業、電気工事業、内装仕上工事業



岡谷酸素HPはこちら



祝

# 一般社団法人 長野県溶接協会 創立70周年



## KOBELCO

### 株式会社神戸製鋼所

溶接事業部門

<https://www.kobelco.co.jp/welding/>

#### マーケティングセンター

マーケティング企画室 TEL. 03-5739-6321

国内営業部

東日本営業室

(溶接材料)

TEL. 03-5739-6323

(溶接システム)

TEL. 03-5739-6325

北海道営業所

TEL. 011-261-9334

東北営業所

TEL. 022-261-8812

中日本営業室

TEL. 052-584-6075

コベルコ溶接テクノ(株)CS推進部 カスタマーサポートグループ

西日本営業室

(溶接材料)

TEL. 06-6206-6390

(溶接システム)

TEL. 06-6206-6423

中国営業所

TEL. 082-258-5305

四国営業所

TEL. 087-823-7444

九州営業所

TEL. 092-451-6012

造船・エネルギー営業室

TEL. 03-5739-6322

TEL. 0466-20-3000



# 産報出版の定期刊行物



《週刊新聞》

## 溶接ニュース

年間購読 25,633円(税込)〒共

溶接を取り巻く産業界の最新動向、内外の新技术や新製品、工業材料や工業製品の生産統計、注目される話題の探訪、現場からの報告等、全国各地にわたる取材網を活かし、様々な情報を提供する毎週火曜日発行の新聞。一般社団法人日本溶接協会の機関紙でもあり、同協会の各委員会や各指定機関行事の詳細も報道。



《月刊》

## 溶接技術

1 冊 1,495円(税込)〒別

年間購読 17,939円(税込)〒共

溶接技術の向上、発展を目的に、内外各産業界のあらゆる分野における溶接・接合についての調査研究結果、最新技術情報、入門講座など豊富な記事を、毎号特集を組んで掲載する唯一の溶接技術専門誌。一般社団法人日本溶接協会の機関誌として、斯界最高といえる監修委員ならびに編集委員の陣容を誇る。



《月2回刊》

## 検査機器ニュース

年間購読 19,506円(税込)〒共

工業材料や工業製品の品質を試験、検査する方法のうち、近年注目されている非破壊検査を取り巻く産業界の最新動向、内外の新技术や新製品、注目される話題の探訪等、様々な情報を提供する毎月5日および20日発行の新聞。一般社団法人日本非破壊検査協会や同日本非破壊検査工業会の活動も詳細報道。



《季刊》

## 溶射技術

1 冊 3,300円(税込)〒別

材料の表面改質法の中でも優れた特徴を有する溶射技術についての研究の成果や最新情報、溶射関連機器、材料の新製品など、豊富な記事を掲載する国内唯一の溶射技術専門誌。社団法人日本溶射協会が発行していた「溶射技術」の伝統を受け継ぎ、一般社団法人日本溶射学会が監修、学識経験に富む執筆陣を擁している。

●申込先

**産報出版株式会社**

<https://www.sanpo-pub.co.jp>

●東京本社:〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町1-11

TEL:03-3258-6411 FAX:03-3258-6430

●関西支社:〒556-0016 大阪市浪速区元町2-8-9

TEL:06-6633-0720 FAX:06-6633-0840

# 祝 設 立 70 周 年

## 長野県高圧ガス協会 会員一同

エア・ウォーター東日本(株)	岡 谷 酸 素 (株)
(有) 金子酸素工業所	協 栄 興 業 (株)
小池酸素工業(株)	甲 村 酸 素
(株) サ イ サ ン	サ ン リ ン (株)
し な の 液 酸 (株)	信 光 実 業 (株)
大 陽 日 酸 (株)	田 邊 ガ ス テ ク ノ (株)
(株) 巴 商 会	長 野 液 酸 工 業 (株)
日 酸 T A N A K A (株)	日 本 エ ア ・ リ キ ー ド (同)
(株) 丸 柳 大 津 屋	宮 原 酸 素 (株)
(株) 宮 原 酸 素	輸 入 石 油 (株)
(有) 横 山 酸 素 店	~五十音順~

責任施工保証制度 全国初実施組合  
屋根・雨樋・外壁工事のスペシャリスト集団

# 長野県板金工業組合

〒380-0954 長野県長野市大字安茂里字本上河原 8102

TEL 026-227-7187 FAX 026-228-5945

HP <http://www.naganokenbankin.jp/>

MAIL [naganokenban@naganokenbankin.jp](mailto:naganokenban@naganokenbankin.jp)



## 主要事業

- ・ 金属板金加工取付
- ・ 金属加工・屋根・外装・雨樋・リフォーム他
- ・ 安心の10年保証の実施
- ・ 共同受注・共同購買・共同宣伝
- ・ 各種資格取得講習会開催

## 主要加入団体・関連組織等

- ・ 全日本板金工業組合連合会
- ・ 社団法人日本建築板金協会
- ・ (一社) 長野県溶接協会
- ・ 長野県中小企業団体中央会 他

各種お問合せは事務局 026-227-7187 まで



# 祝

## 長野県溶接協会 創立70周年記念



いのちをつくる 土づくり



# 松山株式会社

長野県上市塩川5155 <https://www.niplo.co.jp>

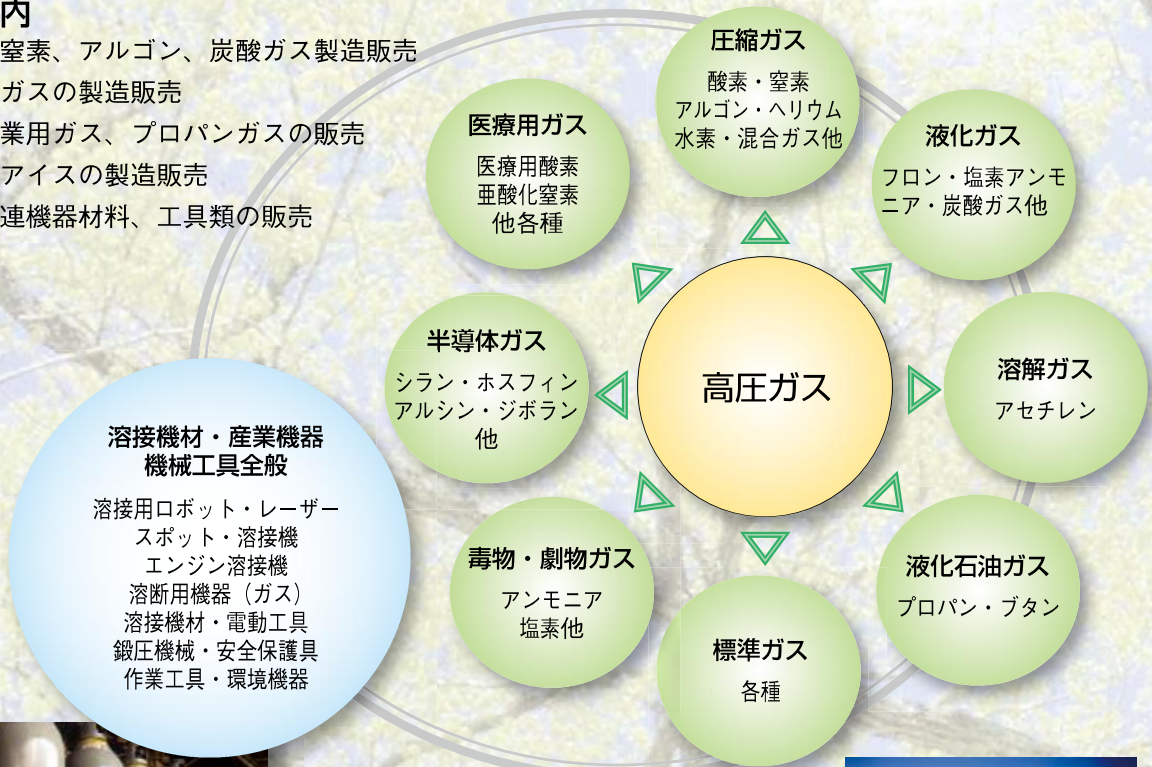


# 環境保全活動で業界のトップ企業を目指します

一般用及び医療用の高圧ガスの販売を主業務とする弊社は、地域社会への貢献並びに環境保全が極めて重要な企業の社会的責任であるとの認識から、社員及び関係者全員が一丸となり、環境保全活動での業界のトップ企業を目指します。

## 営業案内

- ・酸素、窒素、アルゴン、炭酸ガス製造販売
- ・医療用ガスの製造販売
- ・各種工業用ガス、プロパンガスの販売
- ・ドライアイスの製造販売
- ・溶接関連機器材料、工具類の販売



**宮原酸素株式会社**

MIYABARA SANSO CO.,LTD

〒 389-0518 長野県東御市本海野 1708 <http://www.miyabara-sanso.jp/>

本社・工場 TEL0268(62)0888 長野営業所 TEL026(243)6751 佐久営業所 TEL0267(62)8315  
高崎営業所 TEL027(361)4620 中之条営業所 TEL0279(68)3415 上越営業所 TEL0255(39)1166



# 衣料用仕上機メーカー

## ファッションの未来をつくる

当社は昭和36年創業以来、クリーニングショップ用仕上プレス機、縫製工場用仕上機、コインランドリー、福祉施設用洗濯乾燥機械の開発・設計・製造を行い、少数精鋭による徹底したコストダウンと世界最高レベルの高品質を目指して発展してまいりました。

素材から完成品までの一貫生産方法を確立し、ユーザーのニーズに応えるべく、多品種少量生産、短納期への対応により、高い評価を頂いております。



ランドリー仕上用プレス機

ワイシャツロボット仕上げ機

業務用乾燥機

業務用乾燥機/縫製工場機械/コインランドリー機器/クリーニング機械  
ゴルフ場・厚生施設・病院・ホテル等洗濯、乾燥、プレス設備

〒391-0107

**itsumi**

株式会社イツミ

[www.itsumi.jp](http://www.itsumi.jp)

本社：長野県諏訪郡原村11865

第二工場：長野県諏訪郡原村11839

第三工場：長野県諏訪郡原村11956

TEL:(0266)79-2331 FAX:(0266)79-2721

E-mail:info@itsumi.jp

## モットー「鉄は生き物、心がある」



私たちは、鉄のもつ強靱さに、  
美しさと真心をこめた建造物を、  
皆さまにお届けしています。



株式会社 **三協産業**

本社／〒386-0016 長野県上田市国分1781

TEL 0268-22-8616 FAX 0268-22-8606

工場／〒386-1604 長野県小県郡青木村殿戸196

TEL 0268-49-2757 FAX 0268-49-2758

# 安全・安心

建築鉄骨は品質保証の時代



## 長野県鐵構事業協同組合

〒381-0043 長野市吉田 5 丁目 1-27 日新パークビル 3 階

TEL 026-262-1595 FAX 026-262-1597

E-mail jim2014@na-tetsu.jp

# 日刊

THE NIKKAN

# 工業

KOGYO SHIMBUN

# 新聞

未来を読んでいる。  
未来が呼んでいる。

日刊工業新聞電子版は  
こちら



株式会社日刊工業新聞社

〒103-8548 東京都中央区日本橋小網町14-1  
<https://corp.nikkan.co.jp/>



溶接技術で  
ものづくりの  
最先端をささえる



株式会社 **羽生田鉄工所**

〒381-0012 長野県長野市柳原2433 TEL.026-296-9221



創業大正9年  
おかげさまで  
一世紀 **Yamaura**

多様なニーズに応える確かなテクノロジー



WEBサイト

**インフラ技術ナビ**

水処理・電力・水害対策など、インフラに  
関わる専門技術のウェブサイト



WEBサイト

**製缶加工・  
装置受託センター.COM**

製缶加工・溶接加工・大物機械加工  
などの専門技術のウェブサイト



WEBサイト

**制御・監視エンジニア  
リングセンター.COM**

各種盤・機器装置、  
総合監視システムなどの専門技術サイト



東証プライム上場

**株式会社 ヤマウラ**

エンジニアリング事業部 駒ヶ根市東町19-16

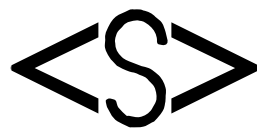
TEL:0265-83-8888



本社・建設事業部 駒ヶ根市北町22-1

TEL:0265-81-6010





熔接材料と機械工具

有限会社 横山酸素店

〒390-0852 長野県松本市大字島立3827-4

TEL 松本(0263)47-8383番

FAX 松本(0263)47-8266番



祝 一般社団法人長野県溶接協会 創立70周年



Creative, KOTOHIRA.

 **コトヒラ工業株式会社**

〒389-0512 長野県東御市滋野乙1320

TEL.(0268)63-0001(代) FAX.(0268)63-0111

<http://www.kotohira.biz>

## 善光産業株式会社

各種精密製缶・板金・機械加工

長野県長野市松代町松代1023番地の6  
電話 (026) 278-2215 FAX278-8586

精密板金・各種制御盤・シートメタル加工



有限会社 **タケイサンキ**

〒394-0023 長野県岡谷市東銀座1-14-20

TEL 0266-23-5415 FAX 23-1648

ステンレス、アルミ、鉄、真鍮、鋳物等金属溶接全般  
アルゴン溶接、アーク溶接、半自動溶接など特殊な溶接  
技術・技能は一生の宝

# 有限会社 堀内溶接工業所

代表取締役社長 堀内幸芳

〒386-1106 長野県上田市小泉353

TEL: 0268 24 5838

FAX: 0268 24 5872

Email: horiuchi.yukiyoshi@rose.plala.or.jp

**MAEDA**

省エネルギー  
省資源化を志向する。

熱交換器



鋳鉄製真空式温水ヒータ

熱技術歴 100 余年の豊富な経験と基礎研究を生かし、  
当社の熱交換器は、タビレントチューブ構造により従来の  
直管構造に比べ約 2 倍の伝熱性能を可能にしました。  
大切な資源・エネルギー・熱を最大限に生かすために、  
まごころの精神をもって、たゆまぬ努力を重ねています。

業務用ボイラ・熱交換器・炭酸風呂 熱関連総合機器メーカー



**株式会社 前田鉄工所**

本社・工場 〒381-8555 須坂市大字豊丘 1385-1 TEL026-246-7301(代表)  
長野営業所 〒381-0014 長野市北尾張部 105-1 TEL026-243-3443  
<http://www.maedatekkou.co.jp>

## 編集後記

令和もすでに5年が過ぎようとするなか、時代の変化は今まで以上にスピードを増し、人に代わる ChatGPT (AI) がこれまでの基幹産業に影響を与える時代となることが予想されます。

ここ60周年から70周年に至る社会的時代背景を改めてふりかえれば、少子高齢化、人口減少、働き手不足、女性の活躍推進、ヤングケアラー、Society 5.0、DX（デジタルトランスフォーメーション）など様々な面で意識の改革が迫られる時代であったことでしょう。

当協会は(社)日本溶接協会長野県支部として、昭和29年に全国初の支部立ち上げを成し遂げて以来、長野県の産業の基盤技術となる溶接技術の発展と共に、今「創立70周年」を迎えることとなりました。これも関係者のご理解とご尽力の賜と心から感謝の念でおります。組織の継続は人が積み重ねた歴史でもあります。当協会においても、60年、70年と半世紀以上にわたり組織が継続できたことは、先人の決してあきらめない信念に基づいたその時々判断と努力にあったのではないのでしょうか。改めて先人の方々に敬意を表します。

このような中、令和4年の通常総会で創立70周年記念事業の主旨が決定され、組織継続の筋目となる70周年記念誌を発刊する運びとなりました。編集委員会の設置と主導のもと、記念誌の内容と構成の検討を重ね、歴代の記念誌に並ぶものとなり、当時をふりかえり感慨深く胸を打ちます。

そして、この度の記念誌のコンセプトに掲げたのが「デジタル化」であります。ただし、記録には冊子は不可欠であり、すべてをデジタル化することは、リスクの面で脆弱性がともなうため、冊子（印刷物）とホームページ（デジタルデータ）の新旧両面からの制作に取り組んだところに今回の編集の意図があります。この試みが当協会におけるSDGs（エス・ディー・ジーズ）への取り組みへと繋がることを望んでいるところです。

編集ではこのような理念にもとづき、長野県、長野労働局、日本溶接協会、地区協会他、関係者の皆様に寄稿をお願いしてご快諾をいただきました。また、多くの企業、団体、機関の皆様に快く協賛広告をお引き受けいただきました。お陰様をもちまして無事記念誌の発刊にいたしました。改めましてご協力いただいた関係の皆様に感謝申し上げます。

記念誌編集に際し、編集委員、事務局、松澤印刷様における長期間の議論、作業の積み重ねにより、素晴らしい記念誌が仕上がったこと、編集委員長として心から感謝いたします。

最後に、この記念誌が一般社団法人長野県溶接協会の未来永劫の発展と存続に寄与することができ、次代へと繋ぐ橋渡しにご活用していただけることを願い、編集後記とさせていただきます。

この記念誌を身近に置いていただければ幸いに存じます。

令和5年10月

記念誌編集委員長 山邊 正重

### 記念誌編集委員会

委員長 山邊正重

委員 羽生田豪太 長岡創一郎 高木常行

事務局 山本潤一 松橋利奈 松木哲代 三善理栄

「一般社団法人 長野県溶接協会 七十年史」創立70周年記念誌

(非売品)

---

令和5年11月18日発行

編 集 創立70周年記念誌編集委員会

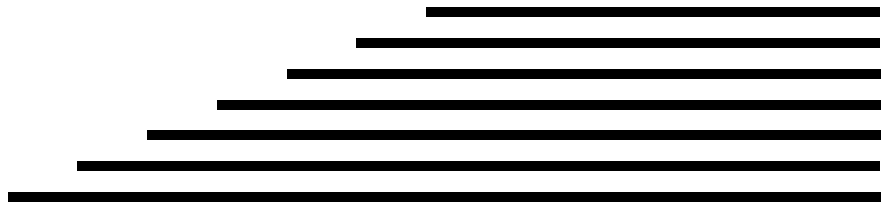
発 行 一般社団法人 長野県溶接協会

〒380-0928 長野市若里 1-18-1 長野県工業技術総合センター内 TEL026(228)3195

製作・印刷・製本 松澤印刷株式会社

---

©2023 NaganokenYousetukiyokai

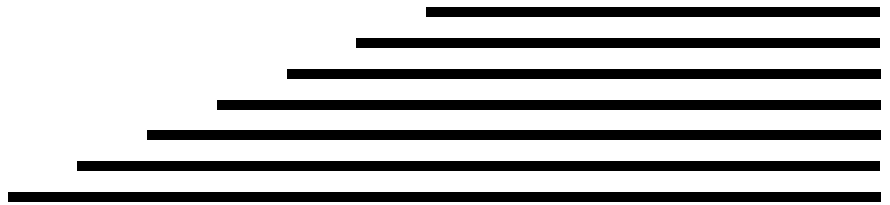


# デジタルブック編

## デジタルブック編 目次

70年の歩み	D - 3
歴代支部長・理事長	D - 4
(社)日本溶接協会長野県支部・長野県溶接協会歴代役員及び 事務局員(昭和29年～現在)	D - 7
一般社団法人長野県溶接協会 役員・職員名簿	D - 21
一般社団法人長野県溶接協会地区一覧	D - 23
各地区年度別会員数一覧	D - 24
(社)日本溶接協会長野県支部・(一社)長野県溶接協会のあゆみ	D - 25
一般社団法人長野県溶接協会年表(平成25年度～令和4年度)	D - 27
所属団体・会社の勲章受章者経歴一覧表	D - 33
卓越技能者表彰者一覧表	D - 35
日本溶接協会賞受賞者名簿	D - 36
一般社団法人長野県溶接協会功労者表彰受賞者名簿	D - 36
資料編	D - 39
労働安全衛生法に係わる講習会の実施状況	D - 40
溶接技能者評価試験の受験者数・合格者数の推移	D - 41
一般社団法人 長野県溶接協会定款	D - 42





# 70年の歩み

## 歴代支部長・理事長



初代  
玉井勝太郎  
(昭和29～31年度)  
長野県工業試験場長



2代  
本郷 高庸  
(昭和32年度)  
長野県工業試験場長



3代  
宮下 千浩  
(昭和33～34年度)  
大和施設(株)取締役会長



4代  
松山 篤  
(昭和35～38年度)  
松山(株)取締役会長



5代  
中原 誕男  
(昭和39～42年度)  
(株)中原鉄工所代表取締役社長



6代  
堀 健一郎  
(昭和43～48年度)  
(株)堀鐵工所取締役会長



7代  
横林 九一  
(昭和49～52年度)  
(株)横林鉄工所代表取締役社長



8代  
前田 完治  
(昭和53～54年度)  
(株)前田製作所取締役副社長



9代  
井上 恒利  
(昭和55～60年度)  
マルヤス機械(株)代表取締役社長



10代  
北澤 實  
(昭和61～平成3年度)  
ミヤジマ技研(株)取締役会長



11代  
山浦 義人  
(平成4～9年度)  
(株)ヤマウラ代表取締役社長



12代  
堀内 章三  
(平成10～11年度)  
(株)三葉製作所代表取締役社長



13代  
寺島 大士  
(平成12~17年度)  
大伸鉄工業(株)代表取締役



14代 (初代 理事長)  
倉科 季男  
(平成18~23年度)  
(株)倉科鐵工所代表取締役会長



15代 (2代 理事長)  
五味 光亮  
(平成24~29年度)  
(株)イツミ代表取締役会長



16代 (3代 理事長)  
横山 正一  
(平成30~令和5年度現在)  
(有)横山酸素店代表取締役会長

(社)日本溶接協会長野県支部・長野県溶接協会歴代役員及び事務局員 (昭和29年～現在)

役職	年度	昭和29年度	昭和30年度	昭和31年度	昭和32年度	昭和33年度	
支部長/理事長		玉井勝太郎			本郷 高庸	宮下 千浩	
副支部長/副理事長					宮下 千浩 青木 昌尚	羽生田三郎 青木 昌尚	
理事	佐 久	大根原 茂			檜山 信		
	上 小	根津 正吾				松山 篤	
	諏 訪 岡 谷	木村 勝豊 平井 米吉				木村 勝豊 平井 米吉 井上 恒利	
	上伊那	中原 誕男					
	飯 田	今村 正美					
	中 信	青木 章 松沢 喜美 濱 鐵夫	青木 昌尚 濱 鐵夫	青木 昌尚 武井 伊曾			
	更 埴	日向 浅雄					
	須 高 中 高	山口熊太郎			羽生田三郎		小口 和助
	長 野	宮下 千浩 藤縄 正三					
	監 事				太田 広		古畑 登
事 務 局	中村 秋広 伊藤袈裟雄			中村 秋広 伊藤袈裟雄 大西 俊輔		森山 正吾 伊藤袈裟雄 中村 秋広 大西 俊輔	



役職	年度	昭和34年度	昭和35年度	昭和36年度	昭和37年度	昭和38年度	
支部長／理事長		宮下 千浩	松山 篤				
副支部長／副理事長		羽生田三郎 青木 昌尚	中原 誕男 青木 昌尚 太田 広 平林 一則		中原 誕男 青木 昌尚 太田 広 羽生田三郎		
理事	佐 久	榎山 信			相馬朝四郎		
	上 小	松山 篤	松山 篤 森 直樹 宮島 定義 手塚 馨一				
	諏 訪	木村 勝豊 井上 恒利 平林 一則	諏訪	小平 宏		小林与志郎 北沢 清	
	岡 谷		岡谷	井上 恒利 平林 一則 井出 己由		平林 一則 井出 己由 帝国ピストンリング 井上 恒利	
	上伊那	中原 誕男	中原 誕男 鈴木嘉志男 滝沢文三郎				
	飯 田	今村 正美					
	中 信	青木 昌尚 武井 伊曾	青木 昌尚 武井 伊曾 岡 誠一郎 浅岡 和好		青木 昌尚 武井 伊曾 横林 九一 浅岡 和好		
	更 埴	日向 浅雄	日向 浅雄 平林 善継 南沢袈婆富		日向 浅雄 平林 善継 南沢袈婆富 前田又兵衛		
	須 高	羽生田三郎					
	中 高	小口 和助					
長 野	宮下 千浩 藤縄 正三	宮下 千浩 松沢 健治 太田 広		宮下 千浩 太田 広 堀 健一郎			
監 事	太田 広 古畑 登			堀 健一郎 伊藤 二郎		伊藤 二郎 松沢 健治	
事 務 局	本郷 高庸 森山 正吾 藤田 博 伊藤袈婆雄 中村 秋広 大西 俊輔 丸田 隆士	本郷 高庸 小山日出夫 伊藤袈婆雄 中村 秋広 藤田 博 大西 俊輔 丸田 隆士		本郷 高庸 小山日出夫 宮入 摩西 中村 秋広 大西 俊輔 小鮎 啓助 大日方 精 倉石佳代子		本郷 高庸 小山日出夫 宮入 摩西 中村 秋広 大西 俊輔 小鮎 啓助 大日方 精 佐藤 喜茂 倉石佳代子	

役職	年度	昭和39年度	昭和40年度	昭和41年度	昭和42年度	昭和43年度
支部長／理事長		中原 誕男				堀 健一郎
副支部長／副理事長		青木 昌尚 太田 広 羽生田三郎 宮島 定義	青木 昌尚 堀 健一郎 羽生田三郎 宮島 定義			日向 浅雄 横林 九一 鈴木嘉志男 北澤 實
理事	佐 久	邑上 啓介				邑上 啓介 大竹 始 南沢 泰造 山下新治郎
	上 小	松山 篤 宮島 定義 手塚 馨一 藤井 喬			松山 篤 北澤 實 手塚 馨一 藤井 喬	
	諏 訪	北沢 友喜 小林与志郎		北沢 国男 小林与志郎		
	岡 谷	井上 恒利 高野 章 木村 豊和			井上 恒利 笠原 信三 平林 一則	井上 恒利 塚田 満 古橋 正雄
	上伊那	中原 誕男 鈴木嘉志男 滝沢文三郎 原 五三				
	飯 田	今村 正美		今村 正美 武藤 秋一		
	中 信	青木 昌尚 武井 伊曾 横林 九一 浅岡 和好 岡 誠一郎	青木 昌尚 武井 伊曾 横林 九一 荒井 政雄 岡 誠次			小松 立男 澤井 鈔 横林 九一 土屋 康吾 後藤 徳信 土佐 正一 岡 誠次
	更 埴	日向 浅雄 平林 善継 前田又兵衛				日向 浅雄 前田又兵衛
	須 高 中 高	羽生田三郎				中村 俊美
	長 野	宮下 千浩 太田 広 堀 健一郎 松沢 健治 松橋久左工門	宮下 千浩 堀 健一郎 松沢 健治 松橋久左工門	宮下 千浩 中村 政雄 堀 健一郎 水沢 今夫 松橋久左工門		
監 事	仁科 繁生 中沢 誠之			寺瀬 清 中沢 誠之		
事 務 局	中村 秋広 小山日出夫 山野井銈之進 大西 俊輔 窪田 侃 佐藤 喜茂 倉石佳代子		中村 秋広 小山日出夫 山野井銈之進 大西 俊輔 齐間 幸雄 佐藤 喜茂 倉石佳代子	中村 秋広 森山 正吾 北島 栄吉 大西 俊輔 齐間 幸雄 佐藤 喜茂 倉石佳代子	中村 秋広 森山 正吾 北島 栄吉 大西 俊輔 青木 長年 佐藤 喜茂 田原真知子	

役職	年度	昭和44年度	昭和45年度	昭和46年度	昭和47年度	昭和48年度	
支部長／理事長		堀 健一郎					
副支部長／副理事長		日向 浅雄 鈴木嘉志男 横林 九一 北澤 實					
理事	佐 久	邑上 啓介 大竹 始 南沢 泰造 山下新治郎	大竹 始 山下新治郎 柳沢 宇一 掛川六三郎 長岡 幸八 日向 清勝				
	上 小	松山 篤 北澤 實 手塚 馨 藤井 一 喬					
	諏 訪	小林与志郎 北沢 国男			小林与志郎 北沢 国男 小平 宏	北沢 国男 小平 宏	
	岡 谷	井上 恒利 塚田 満 古橋 正雄					
	上伊那	中原 誕男 鈴木嘉志男 滝沢文三郎 原 五三	中原 誕男 鈴木嘉志男 滝沢文三郎 原 五三 田村 秀一 山浦 清一				
	飯 田	今村 正美 武藤 秋一					
	中 信	小松 立男 澤井 鈔 横林 九一 土屋 康吾 後藤 徳信 土佐 正一 岡 誠次	小松 立男 澤井 鈔 横林 九一 土屋 康吾 後藤 徳信 土佐 正一 岡 誠次 青木 昌尚 井上 忠男			小松 立男 澤井 鈔 横林 九一 後藤 徳信 土佐 正一 岡 誠次 青木 昌尚 井上 忠男 黒田 護	
	更 埴	日向 浅雄 前田又兵衛	日向 浅雄 西沢 皐月 前田又兵衛				
	須 高 中 高	中村 俊美	中村 俊美 武藤喜代次 小口 和助				
	長 野	宮下 千浩 中村 政雄 堀 健一郎 水沢 今夫 松橋久左工門			宮下 千浩 中村 政雄 堀 健一郎 水沢 今夫 松橋 昭生		
監 事	中沢 誠之 寺瀬 清	徳武 英三 寺瀬 清					
事 務 局	中村 秋広 森山 正吾 西条 能全 大西 俊輔 青木 長年 佐藤 喜茂 田原真知子	大西 俊輔 藤田 博 榎本 正三 依田 惇 松本 俊文 佐藤 喜茂 田原真知子			大西 俊輔 伊東 光雄 依田 惇 松本 俊文 佐藤 喜茂 竹村 幸子 駒村 和子		

役職	年度	昭和49年度	昭和50年度	昭和51年度	昭和52年度	昭和53年度
支部長／理事長		横林 九一				前田 完治
副支部長／副理事長		北澤 實 鈴木嘉志男 日向 浅雄 中村 政雄		北澤 實 鈴木嘉志男 中村 政雄 林 清市		井上 恒利 北澤 實 澤井 鈞 寺瀬 清 (常任理事) 大西 俊輔
理事	佐 久	大竹 始 山下新治郎 柳沢 宇一 掛川六三郎 長岡 幸八 日向 清勝		大竹 始 掛川六三郎 長岡 幸八 日向 清勝 柳沢 宇一 山下新治郎		掛川六三郎 田中 政信 大坪 寛吾 滝沢 喜寿 長岡 幸八 柳沢 宇一 内藤 辰雄 井出 忠夫
	上 小		北澤 實 手塚 馨一 三輪 鴻之助 松山 篤		北澤 實 手塚 馨一 三輪 鴻之助 松山 篤	
	諏 訪	小平 宏 岡野 匡男 五味 数武		岡野 匡男 小平 宏 五味 式部之亮		北沢 清 小平 宏 五味 式部之亮
	岡 谷	井上 恒利 平林 一則 中村 秀雄 塚田 満		塚田 満 井上 恒利 長井 浩 小林 良一		井上 恒利 塚田 満 中川 宏平 小林 良一
	上伊那	鈴木嘉志男 滝沢文三郎 田村 秀一	中原 誕男 赤羽 栄治 原 五三	鈴木嘉志男 田村 秀一 中原 誕男	山浦 義人 田辺 庄一 赤羽 栄治	原 五三
	飯 田	勝野 勝		武藤 秋一		武藤 秋一 村上 甫
	中 信	青木 昌尚 黒田 立男 小松 九一 横林 鈞 澤井 德信 後藤 正一 土佐 謙次 岡 忠男 井上 忠男		青木 昌尚 黒田 立男 小松 九一 横林 勉 松尾 德信 後藤 正一 土佐 忠男 井上 忠男 平林 木一	青木 昌尚 黒田 立男 小松 九一 横林 鈞 澤井 德信 後藤 正一 土佐 忠男 井上 忠男 平林 木一	澤井 鈞 黒田 立男 小松 九一 塚越 順一郎 後藤 德信 土佐 正一 井上 忠男 平林 木一
	更 埴	西沢 皇月 日向 浅雄 前田又兵衛		西沢 皇月 宮崎 直次 前田又兵衛		前田 完治 平林 善繼 宮崎 直次
	須 高			武藤喜次次		
	中 高			小口 和助		
長 野		徳武 英三 中村 俊美 中村 政雄 堀 健一郎 松橋 昭生 水沢 今夫			寺瀬 清 飯田 政次 徳武 英三 中村 政雄 新野 忠重 堀 健一郎 堀内 久夫 水沢 今夫	
監 事		飯田 政次	寺瀬 清		伊藤 治通 松橋 昭生	
事 務 局	大西 俊輔 友博 幸雄 伊東 光 依田 文 松本 俊 佐藤 喜茂 中島 洋一 竹村 幸子 駒村 和子	大西 俊輔 原山 光 依田 惇 松本 俊 佐藤 喜茂 中島 洋一 竹村 幸子 駒村 和子	大西 俊輔 原山 光 依田 惇 小林三与喜 佐藤 喜茂 中島 洋一 竹村 幸子 駒村 和子	大西 俊輔 原山 光 依田 惇 小林三与喜 佐藤 喜茂 中島 洋一 竹村 幸子 駒村 和子	長田 昭政 依田 三与喜 小林三与喜 佐藤 喜茂 小林 昌 竹村 幸子 駒村 和子	

役職	年度	昭和54年度	昭和55年度	昭和56年度	昭和57年度	昭和58年度	
支部長／理事長		前田 完治	井上 恒利				
副支部長／副理事長		井上 恒利 北澤 實 澤井 鈔 寺瀬 清 (常任理事) 大西 俊輔	米沢 千万人 寺瀬 清 柳沢 宇一 原 五三 (常任理事) 大西 俊輔		寺瀬 清 柳沢 宇一 原 五三 内ヶ島吉広 (常任理事) 大西 俊輔		
理事	佐 久	掛川六三郎 田中 政信 大坪 寛吾 滝沢 喜寿八 長岡 幸一 柳沢 宇一 内藤 辰雄 井出 忠夫	柳沢 宇一 大竹 始 掛川六三郎 田中 政信 大坪 寛吾 長岡 幸一 内藤 辰雄 井出 忠夫	柳沢 宇一 大竹 始 掛川六三郎 田中 政信 大坪 寛吾 横山 春寿 内藤 辰雄 井出 忠夫	柳沢 宇一 大竹 始 掛川六三郎 田中 政信 大坪 寛吾 横山 春寿 原 政廣 井出 忠夫		
	上 小	北澤 實 手塚 伸 三輪 鴻之助 松山 篤	北澤 實 成澤 登美雄 手塚 伸 堀内 章三		北澤 實 成澤 登美雄 堀内 章三		
	諏 訪	北沢 清 小平 宏 五味式部之亮				五味式部之亮 長田 吉弘 小林 宗春	
	岡 谷	井上 恒利 中川 宏平		塚田 満 小林 良一		井上 恒利 鈴木 義雄 塚田 満 小林 良一	
	上伊那	鈴木嘉志男 田村 秀一 中原 誕生 原 五三		山浦 義人 田辺 庄一 赤羽 栄治 五三		鈴木嘉志男 田村 秀一 中原 誕生 赤羽 栄治 原 五三 山浦 義人 大嶋 啓司	
	飯 田	武藤 秋一 村上 甫 塚平 時央					
	中 信	澤井 鈔 黒田 護 小松 立男 塚越 順一郎 後藤 徳信 土佐 正一 井上 忠男 平林 木一	米沢 千万人 黒田 護 小松 立男 塚越 順一郎 土佐 正一 竹内 伝 井上 忠男 平林 泰雄	米沢 千万人 黒田 護 小松 立男 栗林 幸五郎 土佐 正一 竹内 伝 井上 忠男 平林 泰雄	内ヶ島吉広 黒田 護 小松 立男 栗林 幸五郎 土佐 正一 竹内 伝 秋田 茂男 平林 泰雄	内ヶ島吉広 黒田 護 小松 立男 松崎 達男 土佐 正一 竹内 伝 沢柳 昇雄 平林 泰雄	
	更 埴	前田 完治 平林 善繼 宮崎 直次	宮崎 直次 平林 善繼		杉浦正七郎 善繼		平林 善繼 岡沢 一雄 杉浦正七郎
	須 高	武藤喜代次					
	中 高	小林 伝治					
長 野	寺瀬 清 飯田 政次 徳武 英三 中村 政雄 新野 忠重 堀 健一郎 堀内 久 水沢 今夫	寺瀬 清 堀 健一郎 中村 政雄 徳武 英三 松橋 昭生 水沢 仁亮 大塚 富次 石崎 誠	寺瀬 清 堀 健一郎 中村 政雄 徳武 英三 松橋 昭生 水沢 仁亮 大塚 富次 石崎 誠	寺瀬 清 中村 政雄 徳武 英三 松橋 昭生 水沢 仁亮 大塚 富次 上村 紀夫 中沢 伸昭	寺瀬 清 中村 政雄 徳武 英三 松橋 昭生 水沢 仁亮 寺島 大士 石崎 誠 中沢 伸昭		
監 事	伊藤 治通 松橋 昭生	伊藤 治通 中沢 伸昭		伊藤 治通 中村 清繁			
事 務 局	長田 昭政 野池 一廣 小林 三喜 佐藤 喜茂 小林 和昌 竹村 幸子 駒村 和子	長田 昭政 野池 一廣 佐藤 喜茂 竹村 幸子 深沢 佳代	有賀 肇 栗山 博美 佐藤 喜茂 竹村 幸子 深沢 佳代	有賀 肇 栗山 博美 佐藤 喜茂 小林 和昌 竹村 幸子 深沢 佳代	小林 美登 栗山 博美 佐藤 喜茂 小林 和昌 竹村 幸子 深沢 佳代		

役職	年度	昭和59年度	昭和60年度	昭和61年度	昭和62年度	昭和63年度	
支部長／理事長		井上 恒利		北澤 實			
副支部長／副理事長		寺瀬 清 北澤 實 小松 立男	武藤 秋一 (常任理事) 大西 俊輔	寺瀬 清 小松 立男 武藤 秋一	山浦 義人 (常任理事) 大西 俊輔		
理事	佐 久	大竹 始 掛川六三郎 田中 政信 大坪 寛吾	横山 春寿 原 政廣 井出 忠夫 小林 典人	井出 忠夫 大坪 寛吾 田中 政信 横山 春寿	掛川六三郎 小林 典人 柳沢喜和人 小林 康宏		
	上 小		北澤 實 成澤登美雄 堀内 章三		北澤 實 成澤登美雄 堀内 章三 三井 敏実		
	諏 訪	五味式部之亮 長田 吉弘 小林 宗春	長田 吉弘 小林 宗春 三澤久市郎		長田 吉弘 宮下 孝正 中村 孝雄		
	岡 谷		井上 恒利 鈴木 義雄	塚田 満 小林 良一			
	上伊那	鈴木嘉志男 山浦 義人 大嶋 啓司 赤羽 栄治 小坂 幸利 矢沢 信男 加藤 広美			山浦 義人 大嶋 啓司 赤羽 栄治 小坂 幸利 矢沢 信男 加藤 広美 五味三雄		
	飯 田		武藤 秋一	村上 甫	塚平 時央		
	中 信	小松 立男 黒田 護 松崎 達男 土佐 正一 竹内 伝 沢柳 昇 平林 泰雄 斉藤 政武			小松 立男 黒田 護 松崎 達男 竹内 伝 沢柳 昇 伊藤 善介 中島 栄章 石川 和夫		
	更 埴	平林 善継 杉浦正七郎 岡沢 一雄		宮崎 直次	杉浦正七郎	樽田 昭夫	
	須 高 中 高	武藤喜代次		大栗佳之助	小林 伝治	大栗 富太	
	長 野	寺瀬 清 中村 政雄 徳武 英三 松橋 昭生	水沢 仁亮 寺島 大士 石崎 誠 中沢 伸昭		寺瀬 清 中沢 伸昭 徳武 英三 松橋 昭生	水沢 仁亮 寺島 大士 石崎 誠 北原 文二	
監 事	伊藤 治通	三井 敏実		坂本東洋治	北沢 清		
事 務 局	小林 美登 和田 和夫 小林 和昌 竹村 幸子 深沢 佳代			福田 順市 和田 和夫 小林 和昌 深沢 佳代 宮島二三江	関 舜二 和田 和夫 小林 和昌 深沢 佳代 宮島二三江		



役職	年度	昭和64・平成元年度	平成2年度	平成3年度	平成4年度	平成5年度
支部長／理事長		北澤 實			山浦 義人	
副支部長／副理事長		寺瀬 清 小松 立男 武藤 秋一 山浦 義人 (常任理事) 大西 俊輔	小松 立男 山浦 昭生 松橋 昭生 久保田 勇 (常任理事) 大西 俊輔		小松 立男 松橋 昭生 堀内 章三 (常任理事) 大西 俊輔	
理事	佐久	井出 忠夫 大坪 寛吾 田中 政信 横山 春寿 塩沢 英明 小林 典人 柳沢 喜和人 小林 康宏	井出 忠夫 横山 春寿 塩沢 英明 小林 典人 小林 康宏 井出 国雄 長岡 秀秋 柳沢 謙三		井出 忠夫 小林 典人 塩沢 英明 中村 清繁 横山 春寿 井出 国雄 長岡 秀秋 柳沢 謙三	
	上小	北澤 實 松山 徹			堀内 章三 小島 脩	北澤 實 三井 敏実
	諏訪	長田 吉弘 中村 孝雄			五味 光亮 小林 宗春	宮下 孝正
	岡谷	井上 恒利 鈴木 義雄 塚田 満 小林 七郎			井上 恒利 興石 甫 塚田 満 小林 七郎	
	上伊那	山浦 義人 田村 秀一 赤羽 栄治 小坂 幸利 松井 正幸 加藤 広美 五味 三千雄	山浦 義人 田村 秀一 赤羽 栄治 小坂 幸利 松井 正幸 五味 三千雄 唐沢 孝一		山浦 義人 赤羽 栄治 小坂 幸利 松井 正幸 五味 三千雄 唐沢 孝一 中村 岩夫	
	飯田	武藤 秋一 村上 甫 塚平 時央 久保田 勇	久保田 勇 池田 次男 原 幸男 岡本 國		原 幸男 池田 次男 上原 和男 岡本 國	
	中信	小松 立男 黒田 護 松崎 達男 竹内 伝順 小川 繁 村田 繁 中島 栄章 石川 和夫	小松 立男 黒田 護 松崎 達男 降幡 哲英 村田 和夫 石川 和夫 一ノ瀬 清秀 中嶋 範行		小松 立男 黒田 護 松崎 達男 中野 市利 村田 繁 石川 和夫 一ノ瀬 清秀 中嶋 範行	小松 立男 黒田 護 松崎 達男 赤羽 広繁 村田 和夫 石川 和夫 一ノ瀬 清秀 中嶋 範行
	更埴	宮崎 直次 杉浦 正七郎 樽田 昭夫	千木良賢作 樽田 昭夫 杉浦 正七郎			
	須高	大栗 富太				
	中高	小林 伝治			丸山 徳治	
長野	寺瀬 清 中沢 伸昭 徳武 英三 松橋 昭生 水沢 仁亮 寺島 大士 坂本 東洋治 北原 文二 青木 康夫	松橋 昭生 中沢 伸昭 寺瀬 清 坂本 東洋治 水沢 仁亮 寺島 大士 北原 文二 青木 康夫		丸山 徳治 松橋 昭生 坂本 東洋治 水沢 仁亮 寺島 大士 青木 康夫 中村 二郎 北原 文二		
監事	瀬尾 元 柞山 一男	瀬尾 元 大野 文隆		瀬尾 元 塚平 時央		
事務局	関 舜二 山田 富重 小林 和昌 深沢 佳代 宮島 二三江	神津 政弘 山田 富重 小林 和昌 深沢 佳代 宮島 二三江		神津 政弘 山田 富重 小林 和昌 深沢 佳代 宮島 二三江	羽田 公男 春日 直明 小林 和昌 深沢 佳代 宮島 二三江	

役職	年度	平成6年度	平成7年度	平成8年度	平成9年度	平成10年度	
支部長/理事長		山浦 義人				堀内 章三	
副支部長/副理事長		小松 立男 松橋 昭生 原 幸男 堀内 章三 (常任理事) 大西 俊輔	松橋 昭生 堀内 章三 赤羽 榮治 黒田 護			赤羽 榮治 黒田 護 寺島 大士	
理事	佐久	井出 忠夫 横山 春寿 塩沢 英明 小林 典人 長井 国雄 岡沢 秋三 柳沢 謙三 中村 清繁	小林 典人 塩沢 英明 山下 喜登 遠藤 春寿 横山 秀謙 岡沢 謙三 柳沢 邦彦 大坪 邦彦	塩沢 英明 遠藤 喜和 山下 邦秋 柳沢 宗夫 大坪 章三 井上 徹昇 山邊 正重	塩沢 英明 遠藤 喜和 山下 邦秋 柳沢 宗夫 大坪 章三 井上 徹昇 山邊 正重	堀内 章三 松山 徹之 宮島 邦重 山邊 正重	英明 喜登 公 邦彦 力 夫
	上小	北澤 實三 堀内 章三 小島 脩 三井 敏実	堀内 章三 小島 脩 三井 敏実	堀内 章三 小島 脩 三井 敏実	堀内 章三 小島 脩 三井 敏実	堀内 章三 松山 徹 正重	堀内 章三 山邊 徹 正重
	諏訪	五味 光 宮下 孝 小林 宗春	光 亮 孝 正 宗 春	五味 光 宮下 孝 小林 宗春	光 亮 孝 正 宗 春	五味 光 牛山 植 松 武紀	光 亮 稔 武紀
	岡谷	井上 恒利 興石 甫 塚田 満 小林 七郎	井上 恒利 興石 甫 塚田 満 小林 七郎	井上 恒利 興石 甫 塚田 満 小林 七郎	井上 恒利 興石 甫 塚田 満 小林 七郎	井上 恒利 竹村 一幸	恒利 一幸
	上伊那	山浦 義人 赤羽 榮治 小坂 幸利 松井 正雄 五味 三雄 唐沢 孝一 中村 岩夫	山浦 義人 赤羽 榮治 五味 三雄 唐沢 孝一 中村 岩夫 登内 文隆	山浦 義人 赤羽 榮治 五味 三雄 唐沢 孝一 中村 岩夫 登内 文隆	山浦 義人 赤羽 榮治 五味 三雄 唐沢 孝一 中村 岩夫 桑沢 好孝	赤羽 榮治 五味 三雄 大野 文隆 桑沢 好孝 大森 美利廣 飯島 利廣	赤羽 榮治 五味 三雄 大野 文隆 桑沢 好孝 大森 美利廣 飯島 利廣
	飯田	原 幸男 池田 次男 上原 和男 岡本 國				原 幸男 池田 次男 上原 和男 岡本 國	原 幸男 岡本 輝夫 戸崎 輝夫
	中信	小松 立男 黒田 護 松崎 達男 赤羽 広雄 村田 繁 石川 和夫 一ノ瀬 清秀 中嶋 範行	黒田 護 萩原 照実 村沢 憲治 村田 博 今井 一ノ瀬 北島 清秀 松崎 達男	黒田 護 萩原 照実 村沢 憲治 村田 博 今井 一ノ瀬 北島 清秀 松崎 達男	黒田 護 萩原 照実 村沢 憲治 田中 一男 今井 博 一ノ瀬 清秀 北島 一 松崎 達男	黒田 護 小松 孝 今井 博 一ノ瀬 清秀 北島 一 松崎 達男	黒田 護 孝 博 一ノ瀬 清秀 北島 一 松崎 達男
	更埴	千木良賢作 樽田 昭夫 杉浦正七郎			杉浦正七郎 千木良賢作 大竹 誠	杉浦正七郎 大竹 誠 宮原 誠	杉浦正七郎 大竹 誠 宮原 誠
	須高	大栗 富太			大栗 富太	湯本 等	大栗 輝夫
	中高	丸山 徳治	畔上 茂登	畔上 茂登	畔上 茂登	青木 秀夫	畔上 茂登
長野	松橋 昭生 中沢 伸昭 坂本東洋治 水沢 仁亮 寺島 大士 北原 文二 青木 康夫 中村 二郎			松橋 昭生 中沢 伸昭 坂本東洋治 水沢 仁亮 寺島 大士 北原 文二 青木 康夫 中村 二郎	松橋 昭生 寺島 大士 中沢 伸昭 坂本東洋治 水沢 仁亮 北原 文二 青木 康夫 中村 二郎	寺島 大士 石田 常夫 水沢 仁亮 北原 文二 青木 康夫 中村 二郎	
監事	瀬尾 元 塚平 時央	瀬尾 元 石田 和夫	瀬尾 元 土屋 俊一		瀬尾 元 土屋 俊一	瀬尾 元 斎藤 三男	
技術顧問	大西 俊輔				大西 俊輔		
幹事	羽田 公男 春日 直明 小林 和昌	清水 喜平 小林 慎吾 小林 和昌			清水 喜平 小林 慎吾 小林 和昌	小柳 邦義 小林 和昌 後藤 善昭	
事務局	坂本 保 深沢 佳代 宮島 二三江	坂本 保 深沢 佳代 宮島 二三江	坂本 保 宮島 二三江 望月 訓子	坂本 保 宮島 二三江 伊東知佐子	坂本 保 宮島 二三江 伊東知佐子	坂本 保 宮島 二三江 三善 理栄	

役職	年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	
支部長／理事長		堀内 章三	寺島 大士				
副支部長／副理事長		赤羽 栄治 寺島 大士 一ノ瀬清秀	一ノ瀬清秀 山邊 正重 竹村 一幸		山邊 正重 竹村 一幸 倉科 季男		
理事	佐 久	塩沢 英明 遠藤 喜登 山下 公一 大坪 邦彦 長岡 秀秋 井上 力 森泉 義男	塩沢 英明 遠藤 喜登 山下 公一 大坪 邦彦 井上 力 森泉 義男 塩川 幸一		大坪 邦彦 遠藤 喜登 井上 力 森泉 義男 佐藤 一行 比田 勇二 柳澤 謙三		
	上 小	堀内 章三 山邊 正重 松山 徹	山邊 正重 宮島 希予 長岡 喜洸		山邊 正重 宮島 希予 小林 一夫		
	諏 訪	五味 光亮 牛山 稔 植松 武紀	五味 光亮 久我 光 植松 武紀		五味 光亮 植松 武紀		
	岡 谷	井上 恒利 竹村 一幸	竹村 一幸 中谷 一美				
	上伊那	赤羽 栄治 五味 三千雄 大野 文隆 桑沢 好幸 大森 実雄 飯島 利廣	大野 文隆 宮脇 実雄 大森 儀一 唐沢 次男 松沢 利廣 飯島 利廣		宮脇 眞 大森 実 唐沢 儀一 松沢 次男 小林 良信 宮下 一豊		
	飯 伊	(飯田) 原 幸男 岡本 國夫 戸崎 輝夫	岡本 國夫 戸崎 輝夫 小林 友平		池田 次男 戸崎 輝夫 小椋 章志		
	中 信	小松 孝 今井 博 一ノ瀬清秀 北島 達男 松崎 季男 倉科 季男	一ノ瀬清秀 倉科 季男 小松 孝 今井 博 北島 達男 時田 衆司		倉科 季男 稲垣 孝光 北島 一博 横山 正一 高山 元秀		
	更 埴	杉浦正七郎 大竹 誠 宮原 誠			大竹 誠 宮原 誠 塚田 弘道		
	須 高 中 高	大栗 輝夫	篠原 厚海 青木 秀夫	春原 忠夫		下田 哲郎 田中 政司	岩井 正 丸山 隆
	長 野	寺島 大士 石田 常夫 水沢 仁亮 北原 文二 青木 康夫 中村 二郎	寺島 大士 石田 常夫 水沢 仁亮 北原 文二 青木 康夫 中村 二郎		寺島 大士 青木 康夫 水沢 仁亮 石田 常夫 宮入 豊一 飯田 弘己		
監 事	瀬尾 元 齊藤 三男	瀬尾 元 丸山 徳治		北原 文二 依田 孟			
技術顧問	大西 俊輔						
幹 事	小柳 邦義 小林 和昌 後藤 善昭	小柳 邦義 小林 和昌 後藤 善昭	北原 正雄 小林 和昌 後藤 善昭		春原 壽雄 小林 和昌 宮嶋 隆司		
事 務 局	坂本 保 宮島 二三 三善 理栄	山下 輝男 宮島 二三 三善 理栄		宮坂 勝利 三善 理栄			

役職	年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
支部長／理事長		寺島 大士		倉科 季男			
副支部長／副理事長		山邊 正重 竹村 一幸 倉科 季男		宮島希予人 戸崎 輝夫 飯田 弘己			
理事	佐 久	大坪 邦彦 遠藤 義男 森比田井 勇二 佐藤 一行 新海 一男 井出 亮		泉藤 義男 遠藤 喜久夫 高橋 久一 佐藤 一男 新海 茂 櫻井 茂雄		井出 亮 井藤 一行 佐藤 一男 新海 久夫 高橋 久夫	
	上 小	宮島希予人 小林 一夫		山邊 正重 堀内 幸芳			
	諏 訪	五味 光亮 植松 武紀				五味 光亮 竹村 一幸 中谷 武紀 中谷 一美	
	岡 谷	中谷 一美		竹村 一幸 中谷 一美		宮下 一豊 加藤 一夫 征矢 利雄 井松 誠治 細田 俊仁 細田 誠治	
	上伊那	宮脇 眞一 宮下 一豊 上島 拓夫 唐沢 儀一 細田 誠治 大森 実雄		宮脇 眞一 宮下 一豊 加藤 一夫 征矢 利雄 細田 誠治 松井 俊仁		宮下 一豊 加藤 一夫 征矢 利雄 井松 誠治 細田 俊仁 細田 誠治	
	飯 伊	池田 次男 戸崎 輝夫 宮下 静夫		宮下 静夫 梅田 旭		宮下 静夫 久保田 和夫	
	中 信	稲垣 孝光 羽多野 雄一 今井 博 横山 正一 高山 元秀		稲垣 孝光 羽多野 雄一 上條 雄次 横山 正一 高山 元秀		稲垣 孝光 羽多野 雄一 戸田 進 横山 正一 高山 元秀	
	更 埴	大竹 誠 宮原 誠 塚田 弘道					
	須 高 中 高	岩井 正		相沢 利益		相沢 利益 丸山 隆	
	長 野	青木 康夫 水沢 仁亮 石田 常夫 宮入 豊一 飯田 弘己		水沢 仁亮 石田 常夫 宮原 龍也 宮入 豊一		水沢 仁亮 石田 常夫 宮原 龍也	
監 事	北原 文二 堀内 幸芳		北原 文二 岩田 恵一郎		北原 文二 浜 仲利		
技術顧問	大西 俊輔						
幹 事	春原 寿雄 小林 和昌 宮嶋 隆司		矢島 洋一 宮嶋 隆司		矢島 洋一 安澤 真一		
事務局	宮坂 勝利 宮島 二三江 三善 理栄		滝沢 秀一 小松 豊		滝沢 秀一 後藤 善昭 小松 豊		
	小林 和昌 宮島 二三江 三善 理栄						

役職	年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
支部長／理事長		倉科 季男			五味 光亮	
副支部長／副理事長		宮島希予人 戸崎 輝夫 飯田 弘己			宮島希予人 飯田 弘己 横山 正一	
理事	佐 久	井出 亮 佐藤 一行 高橋 久夫	井出 亮 佐藤 一行 新海 一男		佐藤 一行 滝沢寿美雄 柳澤 章	
	上 小	山辺 正重 堀内 幸芳		堀内 幸芳 山辺 正重		
	諏 訪	五味 光亮 竹村 一幸			清水 香樹 佐塚 健	
	上伊那	宮下 一豊 加藤 一夫 松井 俊仁	宮下 一豊 加藤 一夫 中村 由和		加藤 一夫 細田 誠治 松井 俊仁	
	飯 伊	宮下 静夫 久保田和夫	山下 俊介 久保田和夫			
	中 信	羽多野雄一 横山 正一 高山 元秀			高木 常行 羽多野雄一 高山 元秀	
	更 埴	大竹 誠 堅岩 恵行				
	須 高	西原 重喜			齋藤 三男	
	中 高	丸山 隆				
	長 野	石田 常夫 宮原 龍也 渡辺 正孝			宮原 龍也 渡辺 正孝 樋口 高義	
監 事	北原 文二 宮脇 眞	宮下 静夫 北原 文二	北原 文二 宮下 静夫	逢沢 博光 北原 文二		
技術顧問	大西 俊輔					
事務局	小林 和昌 宮島二三江 三善 理栄				小林 和昌 三善 理栄 小出 利奈	

役職	年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
支部長／理事長		五味 光亮				横山 正一
副支部長／副理事長		飯田 弘己 横山 正一 堀内 幸芳				五味 光亮 堀内 幸芳 羽生田豪太
理事	佐 久	柳澤 章 青木創一郎	柳澤 章 長岡創一郎			
	上 小	山辺 正重 手塚 宏	手塚 宏 山辺 正重 (欠員)			山辺 正重 手塚久仁彦
	諏 訪	清水 香樹 佐塚 健				佐塚 健 中森 貴幸
	上伊那	加藤 一夫 細田 誠治 松井 俊仁	加藤 一夫 松井 俊仁 滝澤 文夫			松井 俊仁 滝澤 文夫
	飯 伊	久保田和夫 塚平 英治				塚平 英治 飯島 修治
	中 信	高木 常行 羽多野雄一 高山 元秀				高木 常行 羽多野雄一 田中 幸一
	更 埴	大竹 誠 堅岩 恵行				堅岩 恵行 武田 隆志
	須 高	山崎 克行	奥村 光雄			小田切 旭
	中 高					青木 久隆
	長 野	宮原 龍也 樋口 高義 松崎 幹生	宮原 龍也 渡辺 正孝 羽生田豪太			飯田 弘己 宮原 龍也 渡辺 正孝
監 事	塚田 弘道 渡辺 正孝	塚田 弘道 佐藤 一行			佐藤 一行 一ノ瀬徳雄	
事 務 局	小林 和昌 三善 理栄 小出 利奈	近藤 友巳 三善 理栄 松橋 利奈				



役職	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
支部長／理事長		横山 正一				
副支部長／副理事長		五味 光亮 堀内 幸芳 羽生田豪太	羽生田豪太 山邊 正重 佐塚 健			
理事	佐 久	柳澤 章 長岡創一郎	長岡創一郎 井出 亮			
	上 小	山辺 正重 手塚久仁彦	堀内 幸芳 手塚久仁彦			
	諏 訪	佐塚 健 中森 貴幸	花岡 隆夫 中森 貴幸			
	上伊那	松井 俊仁 滝澤 文夫				
	飯 伊	塚平 英治 飯島 修治	塚平 英治 飯島 修治 (欠員)	戸崎 敬 戸崎 道夫		
	中 信	高木 常行 羽多野雄一 田中 幸一	高木 常行 田中 幸一 青木 政弘			
	更 埴	堅岩 恵行 武田 隆志			塚田 弘道 武田 隆志	
	須 高 中 高	小田切 旭	小林 康弘 青木 久隆		片桐 卓也 武田 明良	
	長 野	飯田 弘己 宮原 龍也 渡辺 正孝	宮原 龍也 西澤 淳 清水 竜		西澤 淳 清水 竜 辻 俊光	
	監 事	佐藤 一行 一ノ瀬徳雄	一ノ瀬徳雄 宮脇 眞		宮脇 眞 飯田 弘己	
事 務 局	近藤 友巳 三善 理栄 松橋 利奈		山本 潤一 三善 理栄 松橋 利奈		山本 潤一 三善 理栄 松橋 利奈 松木 哲代	

# 一般社団法人長野県溶接協会 役員・職員名簿

令和5年6月1日

役名	氏名	事業所名及び職名	所在地	電話番号	FAX	〒
理事長	横山 正一	(有)横山酸素店 代表取締役社長	松本市島立3827-4	0263-47-8383	47-8266	390-0852
副理事長	羽生田豪太	(株)羽生田鉄工所 代表取締役	長野市柳原2433	026-296-9221	296-9227	381-0012
	山邊 正重	(株)三協産業 代表取締役	上田市国分1781	0268-22-8616	22-8606	386-0016
	佐塚 健	(有)タケイサンキ 代表取締役	岡谷市東銀座1-14-20	0266-23-5415	23-1648	394-0023
理事	長岡創一郎	長岡鉄工(株) 常務取締役	北佐久郡軽井沢町追分703-1	0267-45-5279	46-2526	389-0115
	井出 亮	(有)井出工業 代表取締役	佐久市臼田2237	0267-82-2321	82-5919	384-0301
	堀内 幸芳	(有)堀内溶接工業所 代表取締役	上田市小泉353	0268-24-5838	24-5872	386-1106
	手塚久仁彦	コトヒラ工業(株) 代表取締役会長	東御市滋野乙1320	0268-63-0001	63-0111	389-0512
	花岡 隆夫	(株)オージダクト 取締役	諏訪市清水3-3948-1	0266-53-3336	53-4629	392-0007
	中森 貴幸	岡谷酸素(株)営業部 購買課長	松本市市場6-20	0266-25-3705	27-8805	399-0004
	松井 俊仁	(株)金丸松井鉄工所 代表取締役	駒ヶ根市飯坂1-21-20	0265-83-6361	83-2581	399-4102
	滝澤 文夫	滝澤鉄工(株) 代表取締役	伊那市上牧6432-1	0265-78-4105	78-4106	396-0006
	戸崎 敬	(有)戸崎鉄工所 代表取締役	飯田市鼎中平2320	0265-52-3325	52-3326	395-0801
	戸崎 道夫	戸崎製作所 代表取締役	飯田市鼎中平2380-1	0265-22-5710	52-5425	395-0801
	高木 常行	フィット工業(株) 代表取締役	松本市今井7155-53	0263-58-7744	57-2796	390-1131
	田中 幸一	(株)田中機器製作所 代表取締役	松本市島内5543	0263-47-2211	47-7574	390-0851
	青木 政弘	岡谷酸素(株) 常務取締役営業本部長	松本市市場6-20	0263-25-3705	27-8805	399-0004
	塚田 弘道	(有)美弥ステンレス工業 代表取締役	千曲市大字力石1435	0268-82-6122	82-7179	389-0824
	武田 隆志		千曲市大字稲荷山337-1	026-272-3219	272-3219	387-0021
片桐 卓也	オリオン機械(株) 第二製造部長	須坂市大字幸高246	026-245-1230	246-1344	382-8502	
武田 明良	(株)武田 代表取締役社長	中野市大字一本木707-1	0269-22-2185	26-1741	383-0013	
西澤 淳	(株)角藤鉄構事業部 研究開発部主任研究員	長野市南屋島515	026-221-8145	221-4086	382-8686	
清水 竜	トライアン(株) 部長	長野市松岡2-6-18	026-251-1602	251-1612	380-0026	
辻 俊光	岡谷酸素(株) 取締役営業部長	長野市中越1-1-1	026-251-0300	251-0330	381-8560	

役名	氏名	事業所名及び職名	所在地	電話番号	F A X	〒
監事	宮脇 真	(株)宮脇製作所 代表取締役	駒ヶ根市中沢12147	0265-82-2265	82-3268	399-4231
	飯田 弘己		長野市栗田975-5	026-226-7071	226-7071	380-0921
事務局	山本 潤一	一般社団法人長野県溶接協会	長野市若里1-18-1	026-228-3195	228-7511	380-0928
	三善 理栄	〃	〃	〃	〃	〃
	松橋 利奈	〃	〃	〃	〃	〃
	松木 哲代	〃	〃	〃	〃	〃

# 一般社団法人長野県溶接協会地区一覧

令和5年6月1日

地区 番号	地区名	〒	所在地	代表者	TEL FAX
01	佐久溶接協会	384-0025	小諸市相生町3-3-12 小諸商工会議所内	長岡 創一郎	0267-22-3355 0267-23-9030
02	上小溶接協会	386-8555	上田市材木町1-2-6 上田合同庁舎内	山邊 正重	0268-23-3609 0268-75-0322
03	諏訪溶接協会	394-0034	岡谷市湖畔1-15-6 岡谷酸素(株)岡谷営業所内	佐塚 健	0266-22-4931 0266-22-1562
05	上伊那溶接協会	399-4102	駒ヶ根市飯坂1-21-20 (株)金丸松井鉄工所内	松井 俊仁	0265-83-6361 0265-83-2581
06	飯伊溶接協会	395-0801	飯田市鼎中平2380-3 戸崎製作所内	戸崎 敬	0265-22-5710 0265-52-5425
07	中信溶接協会	390-8503	松本市中央1-23-1 松本商工会議男所内	高木 常行	0263-32-5350 0263-32-1482
08	南長野更埴溶接協会	387-0018	千曲市大字新田823 日酸TANAKA(株) 長野工場内	塚田 弘道	026-272-2700 026-272-6822
09	須高溶接協会	382-8502	須坂市大字幸高246 オリオン機械(株)内	片桐 卓也	026-245-1230 026-246-1344
10	中高溶接協会	389-2255	飯山市大字静間280-1 (有)長野奥村製作所内	小野沢 幸人	0269-62-3351 0269-62-0591
11	長野溶接工業会	380-0954	長野市大字安茂里 字本上河原8102 長野県板金工業組合内	羽生田 豪太	026-227-7187 026-228-5945

# 各地区年度別会員数一覧

(各年度の総会時のデータより)

地区	年度	S		H					R																			
		29	30	40	50	60	1	10	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5				
① 佐久	特級					1																						
	一級				4	16	13	10																				
	二級				8	24	22	19																				
	三級		3		2	242	146	111	98	92	88	75	73	73	72	65	65	63	60	58	57	54	49	50	49			
	個人計		3		2	254	187	146	127	92	88	75	73	73	72	65	65	63	60	58	57	54	49	50	49			
② 上小	特級					1	1	1		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
	一級		1		1		2	2		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2		
	二級		1		3	3	8	8	7	7	7	7	6	6	6	6	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7		
	三級		10		46	44	58	60	56	57	59	58	58	58	60	60	59	59	61	61	62	62	63	62				
	個人計		12		50	47	69	71	66	67	70	70	69	68	68	70	70	70	70	72	72	73	73	74	73			
③ 諏訪	諏訪・岡谷	特級 一級 二級 三級 個人 計	13 13	特級	1		1	1	1		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
				一級			2	2	2		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
				二級	9	11	7	7	6		7	7	7	7	6	6	6	6	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
				三級	21	96	72	58	49		40	39	39	36	35	33	33	32	31	31	30	29	28	28	29	29		
				個人計	31	109	82	68	58		56	55	53	50	49	47	47	46	45	44	43	42	42	43	42			
	④ 岡谷	特級 一級 二級 三級 個人 計	13 13	特級																								
				一級			4	7	8	6																		
				二級			1	11	11	9																		
				三級			18	38	39	34	26																	
				個人計			18	43	61	57	46																	
⑤ 上伊那	特級 一級 二級 三級 個人 計	11 11	特級			2	3	2		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
			一級			3	5	5	5		5	4	4	4	4	4	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2		
			二級			6	2	7	7	6		5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4	
			三級			27	290	140	124	107	81	72	73	65	64	64	60	59	57	53	52	50	48	48	47	47		
			個人計			33	295	154	139	120	92	82	83	75	74	74	70	68	65	61	60	58	56	56	55	54		
⑥ 飯伊	特級 一級 二級 三級 個人 計	11 11	特級																									
			一級				10	10	10		9	10	10	10	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9		
			二級									2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2		
			三級				14	43	52	53	40	39	39	39	36	35	34	32	32	31	29	28	28	28	28	28		
			個人計			14	43	65	62	63	49	51	51	51	47	46	45	43	43	42	40	39	39	39	39	39		
⑦ 中信	特級 一級 二級 三級 個人 計	13 13	特級			2	9	10	9	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2		
			一級	4		3	5	29	24	28	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2			
			二級	5		8	13	54	39	27	22	22	21	20	20	20	20	20	19	19	19	19	19	19	19			
			三級	4		54	99	68	51	53	63	63	65	61	60	61	58	58	57	56	56	54	54	53	51	51		
			個人計						1		1	1	1	1	1	3	3	3	3	3	3	3	3	2	2	1		
⑧ 南長野更埴	特級 一級 二級 三級 個人 計	16 16	特級																									
			一級	1		1	2	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6			
			二級	6		3		15	14	13	9	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	9	9	9			
			三級	16		26	12	44	43	39	26	24	25	29	28	29	29	28	28	27	30	30	30	30	29			
			個人計			24		31	19	69	67	63	46	43	44	46	45	46	45	45	43	47	47	49	49	50		
⑨ 須高	特級 一級 二級 三級 個人 計	3 3	特級				1	1	1		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1			
			一級				5	5	4		1	1	1	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3			
			二級	1		1		1	1	1		3	3	3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1			
			三級	2		8	30	23	24	22	19	18	18	17	17	15	14	14	14	13	11	11	11	10	9			
			個人計			3		9	30	31	28	24	23	23	22	22	20	19	19	18	16	16	16	15	14			
⑩ 中高	特級 一級 二級 三級 個人 計	38 38	特級				2	2	1																			
			一級				1	2	2	1		1	1	1	1	1	1	1	1									
			二級				5	15	23	21	21	18	18	18	19	17	17	15	14	14	10	10	10	10	8			
			三級																									
			個人計			38		5	16	27	25	24	19	19	19	20	18	18	16	16	15	15	10	10	10	8		
⑪ 長野	特級 一級 二級 三級 個人 計	21 21	特級			2	2	2		3	4	4	4	4	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6			
			一級	1		4	6	10	9	8	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11			
			二級	1		9	29	32	28	20	16	14	14	14	13	13	11	11	11	11	11	11	11	11	11			
			三級	19		57	85	105	99	78	52	49	51	53	53	51	50	50	51	50	51	52	50	50	49			
			個人計			21		70	120	149	138	83	79	80	82	81	79	78	78	79	78	79	80	78	78			
合計	特級 一級 二級 三級 個人 計	138 138	特級	1		2	4	27	28	16	17	16	14	14	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16				
			一級	7		9	29	92	84	42	42	41	43	42	42	42	41	40	40	40	40	40	40	39				
			二級	15		39	68	161	139	109	70	68	67	64	62	62	60	60	61	60	59	60	60	60	59			
			三級	115		278	994	773	677	602	488	469	462	450	441	435	418	413	406	394	388	382	375	368	364			
			個人計			328	1095	1053	928	821	619	601	589	574	562	556	541	535	528	514	508	502	497	489	487			

# (社)日本溶接協会長野支部・(一社)長野県溶接協会のあゆみ

昭和26年～平成24年

昭和26年	飯田機械工業協同組合設立
28年	上伊那溶接工業協会設立
29年 8月28日	社団法人日本溶接協会長野支部設立（全国第1番目支部）138社 初代支部長 玉井勝太郎 [長野県工業試験場長] 事務局を長野県工業試験場に置く
32年 6月7日	2代支部長 本郷高庸 [長野県工業試験場長]
33年 7月18日	3代支部長 宮下千浩 [大和施設(株)取締役会長]
35年	佐久溶接協会、上小溶接協会、岡谷・下諏訪溶接協会、中信地区溶接研究会、長野県溶接協会南長野更埴支部、中高溶接協会設立
35年 4月25日	4代支部長 松山篤 [株松山犁製作所取締役会長]
36年	諏訪溶接協会設立
36年 9月	長野県溶接技術コンクール始まる
39年 4月23日	5代支部長 中原誕男 [株中原鉄工所代表取締役社長]
42年	労働災害防止対策事業開始
43年 4月22日	6代支部長 堀健一郎 [株堀鐵工所取締役会長]
43年	須高溶接協会設立（11地区1,000社加盟）
44年 9月15日	長野県支部会報『溶接会報』創刊
46年10月18日	巡回技術指導開始
48年 6月17日	第4回関東信越溶接競技大会 長野市 [株前田製作所] で開催
48年10月18日	創立20周年記念式典（ホテル長野国際会館）会員数1,063
48年11月28日	長野労働基準局よりガス溶接技能講習の指定教習機関の指定
49年 5月10日	7代支部長 横林九一 [株横林鉄工所代表取締役社長]
49年12月19日	アーク溶接特別教育の開始
53年 5月23日	8代支部長 前田完治 [株前田製作所副社長]
54年 6月23～24日	関東信越溶接競技大会を松本市で開催
55年 5月30日	9代支部長 井上恒利 [マルヤス機械(株)代表取締役社長]
55年10月2～4日	(社)溶接学会秋期全国大会を長野市で開催
56年 5月13日	受託事業「狭開先溶接法による省エネルギー実用化研究」発足
57年 5月21日	受託事業の発表会
58年11月5日	創立30周年記念式典（ホテル長野国際会館）会員数1,089
59年 5月25日	本会の綱領制定
60年11月15日	「長野県溶射技術研究会」発足
61年 4月14～17日	溶接技術管理者養成講座を長野市で開催
61年 5月26日	10代支部長 北澤實 [株宮島鉄工所取締役社長]



平成2年6月8日 ～8月24日	中小企業人材育成事業講座（短期コース）開催 （中国引揚者の技術指導・養成）
4年5月26日	11代支部長 山浦義人〔㈱ヤマウラ代表取締役社長〕
5年11月5日	創立40周年記念式典（ホテル長野国際会館）会員数915
7年4月1日	長野県支部規則・細則改正
10年5月20日	12代支部長 堀内章三〔㈱三葉製作所代表取締役社長〕
10年10月17～18日	平成10年度（44回）全国溶接技術競技会長野大会開催
11年11月17日	総務・技術委員会の設置 溶接技能者評価試験会場へ溶接治具の補充 公益法人会計処理の実施
11年12月1日	公益法人会計による会計処理を始める
12年5月25日	13代支部長 寺島大士〔大伸鉄工業㈱代表取締役〕
6月1日	各種規則、規程の制定若しくは改正に伴い長野県支部に係わる規則及び規程集を作成
7月1日	ステンレス鋼溶接評価試験受験者の増大に対応するためTIG溶接機 2台購入及び溶接治具の整備を始める
10月15日	インターネットの接続を開始
11月22日	長野県支部会計処理基準及び文書規程の改定・制定
13年4月1日	溶接技能者評価試験におけるテストピースの仮付溶接も試験範囲とする。
4月～12月	会員の減少が著しいことから新規会員の入会促進事業の開発
9月	ガス溶接技能者実技指導者の研修の実施（長野・松本）
11月21日	創立50周年記念事業実行委員会が発足し記念事業の準備開始
14年5月9日	ガス溶接技能講習、職業訓練認定講習になる。
15年1月8日	アーク溶接特別教育、15年度から職業訓練認定講習となる届け出
15年11月4日	創立50周年記念式典（メルパルク長野、出席250名）会員数711
18年5月22日	14代支部長 倉科季男〔㈱倉科鐵工所代表取締役〕
21年2月10日	社団法人日本溶接協会長野県支部 臨時総会
21年2月10日	一般社団法人長野県溶接協会 設立総会 初代理事長 倉科季男〔㈱倉科鐵工所代表取締役〕
21年2月16日	一般社団法人長野県溶接協会 登記完了
21年3月31日	社団法人日本溶接協会長野県支部 解散
21年4月1日	一般社団法人長野県溶接協会へ完全移行
21年4月1日	「ガス溶接技能講習」登録教習機関登録（長野労働局長登録第98号）
22年7月1, 2日	技能五輪選手育成研修会 初開催
24年5月23日	2代理事長 五味光亮〔㈱イツミ代表取締役〕
24年7月11日	創立60周年記念事業第1回実行委員会
24年10月24～29日	第50回技能五輪全国大会「電気溶接」長野県松本技術専門校

# 一般社団法人長野県溶接協会年表 (平成25年度～令和4年度)

年度	協会の動き	主な出来事 (@出来事 JP 他より)
平成25年度	<p>定時社員総会 5月22日 佐久市 一萬里温泉ホテルゴールデンセンチュリー</p> <p>創立60周年記念事業各委員会等 4月10日～26年3月4日 長野市 12回</p> <p>第4回関東甲信越高校生溶接コンクール 4月20日 神奈川県 神鋼溶接サービス(株)</p> <p>溶接技能者評価試験 4月6日～26年1月9日 県内各地 13回</p> <p>ガス溶接技能講習会 5月13日～26年3月9日 県内各地 29回</p> <p>アーク溶接特別教育講習会 5月27日～26年3月22日 県内各地 19回</p> <p>溶接技能者評価試験事前講習会 6月13日～11月3日 上田・松本 2回</p> <p>第59回全国溶接技術競技会 10月12～13日 愛知県 新日鐵住金名古屋製鐵所</p> <p>創立60周年記念式典 11月9日 メルパルク長野</p> <p>第53回長野県溶接技術コンクール 26年1月22日 長野県伊那技術専門校</p>	<p>2020年夏季五輪・パラリンピックの開催地が東京に決定。</p> <p>東証と大証が合併。株式会社日本取引所グループ発足。</p> <p>黒田東彦が日銀総裁に就任。大胆な金融緩和を開始する。</p> <p>消費税率8%への引き上げ決定。</p> <p>安倍首相、TPP交渉参加を表明。</p> <p>参院選で自民、公明両党が過半数獲得、ねじれ解消。</p> <p>楽天イーグルスの田中将大が連続勝利投手で日本プロ野球記録を更新。</p> <p>富士山が世界文化遺産に決定。</p> <p>猪瀬都知事が5000万円受領問題で辞任。</p> <p>特定秘密保護法成立。</p>
平成26年度	<p>定時社員総会 5月21日 諏訪市 ホテル鷺乃湯</p> <p>溶接技能者評価試験 4月5日～27年1月9日 県内各地 14回</p> <p>第5回関東甲信越高校生溶接コンクール 4月26日 東京ビックサイト</p> <p>ガス溶接技能講習会 5月12日～27年3月1日 県内各地 26回</p> <p>アーク溶接特別教育講習会 5月26日～27年3月22日 県内各地 22回</p> <p>溶接技能者評価試験事前講習会 6月12日～10月19日 上田・松本 2回</p> <p>技術導入調査(先進企業視察研修) 10月8～9日 富山県 川田工業(株)富山工場、YKKセンターパーク</p> <p>第60回全国溶接技術競技会 10月18～19日 秋田県 ポリテクセンター秋田</p> <p>第1回長野県高校生溶接コンクール 12月13日 中野立志館高校</p>	<p>S T A P細胞のねつ造問題発覚。</p> <p>日本一の高さを誇る超高層ビル「あべのハルカス」開業。</p> <p>宇宙飛行士の若田光一が日本人初の国際宇宙ステーションの船長に就任。</p> <p>消費税が5%から8%に増税。</p> <p>ノーベル物理学賞受賞者に赤崎勇・天野浩・中村修二の3人が決定。</p> <p>小惑星探査機「はやぶさ2」打ち上げ。</p> <p>リニア中央新幹線が着工。</p> <p>2014年に日本を訪れた外国人旅行者が3千万人を突破。</p> <p>ソチオリンピック(第22回冬季オリンピック)開催。</p> <p>F I F Aワールドカップブラジル大会開催された。</p> <p>イスラム過激派組織I Sがイスラム国家の樹立を一方的に宣言。</p>

年度	協会の動き	主な出来事 (@出来事 JP 他より)
	第54回長野県溶接技術コンクール 27年 1月21日 上田地域高等職業訓練センター	
平成27年度	<p>定時社員総会 5月20日 松本市 ホテル翔峰</p> <p>溶接技能者評価試験 4月4日～28年1月7日 県内各地 14回</p> <p>第6回関東甲信越高校生溶接コンクール 4月25日 神奈川県 神鋼溶接サービス(株)</p> <p>ガス溶接技能講習会 5月11日～28年2月28日 県内各地 27回</p> <p>アーク溶接特別教育講習会 5月25日～28年3月20日 県内各地 19回</p> <p>溶接技能者評価試験事前講習会 6月18日～10月18日 上田・松本 2回</p> <p>技術導入調査(先進企業視察研修) 10月7～8日 愛知県 (株)IHI愛知事業所</p> <p>第61回全国溶接技術競技会 10月17～18日 大阪府 ポリテクセンター関西</p> <p>第2回長野県高校生溶接コンクール 12月5日 中野立志館高校</p> <p>第55回長野県溶接技術コンクール 28年1月20日 上田地域高等職業訓練センター</p>	<p>イスラム過激派 I S I L による日本人拘束事件により 2 名が犠牲となる。</p> <p>2020年東京オリンピックのエンブレムに盗作疑惑が浮上。</p> <p>天皇皇后両陛下が太平洋戦争の激戦地ペリリュー島を訪問。</p> <p>日経平均株価が一時、ほぼ15年ぶりに2万円台を回復。</p> <p>S I M ロックの解除が義務化。</p> <p>Microsoft Windows 10 の無料アップグレード提供開始。</p> <p>6 人が犠牲となった熊谷連続殺人事件が発生。</p> <p>安全保障関連法案が可決。</p> <p>ノーベル生理学・医学賞に大村智、ノーベル物理学賞に梶田隆章が選出。</p> <p>日本郵政グループ 3 社が東京証券取引所の一部に上場。</p>
平成28年度	<p>定時社員総会 5月25日 千曲市 ホテル圓山荘</p> <p>溶接技能者評価試験 4月2日～29年1月13日 県内各地 14回</p> <p>第7回関東甲信越高校生溶接コンクール 4月23日 神奈川県 神鋼溶接サービス(株)</p> <p>ガス溶接技能講習会 5月16日～29年2月26日 県内各地 24回</p> <p>アーク溶接特別教育講習会 5月30日～29年3月19日 県内各地 21回</p> <p>溶接技能者評価試験事前講習会 6月15日～10月16日 上田・松本 2回</p> <p>技術導入調査(先進企業視察研修) 9月27～28日 東京都 JR東日本(株)東京総合車両センター、神奈川県 (国研)海洋研究開発機構</p>	<p>軽井沢スキーバス転落事故が発生。</p> <p>熊本地震発生。震度7を2回観測。死者267人、避難者数は183,882人。</p> <p>民主党と維新の党などが合流して民進党が発足。</p> <p>舛添東京都知事が政治資金問題で辞職。</p> <p>都知事選で小池百合子が当選。</p> <p>日銀マイナス金利政策導入により、長期金利が過去最低を更新した。</p> <p>オートファジーの仕組みの解明で、大隅良典がノーベル生理学・医学賞。</p> <p>北海道新幹線が開業。ブルートレインは終了。</p> <p>電通の新人女性社員の過労自殺問題で、東京労働局は電通を強制捜査。</p> <p>19人が殺害され戦後最悪となった相模原障害者施設殺傷事件が発生。</p>

年度	協会の動き	主な出来事 (@出来事 JP 他より)
	第62回全国溶接技術競技会 10月8～9日 北海道 ポリテクセンター函館 第3回長野県高校生溶接コンクール 12月3日 中野立志館高校 第56回長野県溶接技術コンクール 12月10日 長野県南信工科短期大学校	リオ五輪開催。バラク・オバマ大統領の広島訪問。イギリスの国民投票でEU離脱派が勝利。アメリカ大統領選でドナルド・トランプが勝利。
平成29年度	定時社員総会 5月24日 上田市 上田東急REIホテル 溶接技能者評価試験 4月8日～30年1月15日 県内各地 15回 第8回関東甲信越高校生溶接コンクール 4月22日 神奈川県 神鋼溶接サービス(株) ガス溶接技能講習会 5月21日～30年2月25日 県内各地 28回 アーク溶接特別教育講習会 5月11日～30年3月18日 県内各地 18回 溶接技能者評価試験事前講習会 6月14日～10月15日 上田・松本 2回 技術導入調査(先進企業視察研修) 9月12～13日 新潟県 (株)総合車両製作所新津事業所、燕市磨き屋一番館 第63回全国溶接技術競技会 10月21～22日 神奈川県 (株)IHI横浜事業所 第4回長野県高校生溶接コンクール 12月2日 中野立志館高校 第57回長野県溶接技術コンクール 12月13日 上田地域高等職業訓練センター	森友学園問題、加計学園問題が国会で追及される。 東京都知事小池百合子の「都民ファーストの会」が都議選で躍進。 中学生プロ棋士の藤井聡太が公式戦新記録となる29連勝。 東芝が経営危機に陥る。エアバッグの欠陥問題でタカタが経営破たん。 日産自動車が無資格者の完成検査問題が発覚。SUBARUでも同様の問題が発覚。 神戸製鋼所、三菱マテリアル子会社、東レ子会社で品質データ改ざん問題発覚。 陸上の桐生祥秀が日本人選手初の公認記録100m走9秒台を達成。 神奈川県座間市のアパートで9人分の遺体が発見される。27歳の男性を逮捕。 日経平均株価が25年10ヶ月ぶりの高値2万2937.60円をつける。 トランプ大統領初訪日。北朝鮮ミサイル発射実験繰返す。金正男クアラルンプール国際空港で殺害さる。韓国朴槿恵大統領罷免、文在寅が大統領に就任。
平成30年度	定時社員総会 5月23日 諏訪市 RAC O華乃井ホテル 溶接技能者評価試験 4月7日～31年3月7日 県内各地 18回 第9回関東甲信越高校生溶接コンクール 4月28日 東京ビックサイト ガス溶接技能講習会 5月19日～31年2月24日 県内各地 24回 アーク溶接特別教育講習会 5月28日～31年3月17日 県内各地 21回 溶接技能者評価試験事前講習会 6月19日～10月21日 上田・松本 2回 技術導入調査(先進企業視察研修) 10月11～12日	平昌オリンピック開催。日本は冬季過去最多のメダル13個を獲得した。 オウム真理教事件に関与した死刑囚全員の死刑が執行される。 出光興産と昭和シェル石油が経営統合。 FIFAワールドカップロシア大会開催。日本代表はグループリーグを突破。 7月初旬の集中豪雨により、西日本で多くの河川が氾濫。死者200人を超える。 自民党総裁選挙で安倍晋三首相が3選。後に第4次安倍改造内閣発足。 テニス全米オープン決勝で、大坂なおみが日本人選手初となる優勝。 築地市場が83年の歴史に幕。豊洲市場が

年度	協会の動き	主な出来事 (@出来事 JP 他より)
	<p>三重県 J F Eエンジニアリング(株)津製作所、ジャパンマリンユナイテッド(株)津事業所</p> <p>愛知県 三菱重工業名古屋航空宇宙システム製作所MR Jミュージアム</p> <p>第64回全国溶接技術競技会 10月20～21日 山口県 ポリテクセンター山口</p> <p>第58回長野県溶接技術コンクール 12月1日 長野県南信工科短期大学校</p> <p>第5回長野県高校生溶接コンクール 12月15日 中野立志館高校</p>	<p>開場する。</p> <p>北海道の胆振地方中東部で地震発生。死者・行方不明者40人以上。</p> <p>本庶佑がノーベル生理学・医学賞受賞。</p> <p>日産自動車会長カルロス・ゴーン有価証券報告書の虚偽記載容疑で逮捕。</p> <p>韓国の最高裁判所は太平洋戦争中の「徴用」問題で日本企業に賠償を命じる</p>
平成31年度 ／令和元年 度	<p>定時社員総会 5月23日 長野市 ホテルメルパルク長野</p> <p>溶接技能者評価試験 4月6日～2年1月23日 県内各地 15回</p> <p>第10回関東甲信越高校生溶接コンクール 4月27日 神奈川県 神鋼溶接サービス(株)</p> <p>ガス溶接技能講習会 5月18日～2年3月1日 県内各地 25回</p> <p>アーク溶接特別教育講習会 5月25日～2年2月24日 県内各地 18回</p> <p>溶接技能者評価試験事前講習会 6月11日～10月20日 上田・松本 2回</p> <p>技術導入調査(先進企業視察研修) 10月9～10日 茨城県 日立建機(株)常陸那珂臨海工場、航空宇宙研究開発機構宇宙センター</p> <p>第65回全国溶接技術競技会 11月16～17日 沖縄県 ポリテクセンター沖縄</p> <p>第59回長野県溶接技術コンクール 12月4日 上田地域高等職業訓練センター</p> <p>第6回長野県高校生溶接コンクール 12月14日 中野立志館高校</p>	<p>第125代天皇が退位(譲位)、皇太子徳仁親王が天皇に即位され「令和」に改元。</p> <p>東池袋で87歳の男の乗用車が暴走。母娘の2人が死亡し8人が重軽傷を負った。</p> <p>京都アニメーション放火殺人事件発生。</p> <p>第25回参院選、与党の自公が改選過半数を確保。</p> <p>日本は韓国をホワイト国リストから除外。韓国では大規模な日本製品不買運動。</p> <p>ゴルフ全英女子オープンで、渋野日向子が優勝。</p> <p>ラグビーW杯が日本で開催される。日本代表は初の決勝トーナメント進出。</p> <p>日本の消費税率が8%から10%に変更された。軽減税率も導入される。</p> <p>台風19号が首都圏を直撃。多くの河川が氾濫。13都県で記録的な水害となった。</p> <p>沖縄県那覇市の首里城で火災が発生。</p> <p>吉野彰がノーベル化学賞を受賞。</p>
令和2年度	<p>定時社員総会 5月20日 新型コロナウイルス感染症感染拡大により書面決議</p> <p>溶接技能者評価試験 4月5日～3年3月16日 県内各地 16回</p> <p>第11回関東甲信越高校生溶接コンクール</p> <p>新型コロナウイルス感染症感染拡大により中止</p> <p>ガス溶接技能講習会 7月4日～3年3月14日 県内各地 20回</p>	<p>新型コロナウイルスの感染が世界的に拡大する。中国・武漢市が封鎖される。</p> <p>ダイヤモンド・プリンセス号が横浜港で長期検疫体制、乗客が次々に感染。</p> <p>新型コロナウイルスにより東京オリンピック・パラリンピックの1年延期が決定。</p> <p>第5世代移動通信システム(5G)が国内でサービス開始。</p>

年度	協会の動き	主な出来事 (@出来事 JP 他より)
	<p>アーク溶接特別教育講習会 7月23日～3年2月21日 県内各地 21回</p> <p>溶接技能者評価試験事前講習会 新型コロナウイルス感染症感染拡大により中止</p> <p>技術導入調査(先進企業視察研修) 新型コロナウイルス感染症感染拡大により中止</p> <p>第66回全国溶接技術競技会 新型コロナウイルス感染症感染拡大により中止</p> <p>第7回長野県高校生溶接コンクール 12月5日 中野立志館高校</p> <p>第60回長野県溶接技術コンクール 新型コロナウイルス感染症感染拡大により中止</p> <p>技能五輪全国大会予選会 3年2月26日 上田地域高等職業訓練センター</p>	<p>新型コロナウイルス緊急事態宣言が各地域で発令。飲食業などに深刻な影響。</p> <p>改正容器包装リサイクル法によりレジ袋の有料化が義務化される。</p> <p>安倍晋三首相が潰瘍性大腸炎再発で辞任。菅義偉が第99代内閣総理大臣に就任。</p> <p>118年の歴史を持つアパレル大手のレナウンが破産。</p> <p>日経平均株価は3月の急落から一転、11月には2万5千円台、29年ぶりの高値。</p> <p>Go Toトラベル、Go Toイート事業が始まるが、感染拡大により休止。</p> <p>米国大統領選はジョー・バイデン候補が勝利。</p>
令和3年度	<p>定時社員総会 5月20日 新型コロナウイルス感染症感染拡大により書面決議</p> <p>溶接技能者評価試験 4月11日～4年3月16日 県内各地 17回</p> <p>第11回関東甲信越高校生溶接コンクール 4月24日 神奈川県 神鋼溶接サービス(株)</p> <p>ガス溶接技能講習会 5月15日～4年2月27日 県内各地 28回(外国人向け初開催)</p> <p>アーク溶接特別教育講習会 5月22日～4年3月27日 県内各地 21回(外国人向け初開催)</p> <p>溶接技能向上のための講習会(初開催) 5月12日 長野県工業技術総合センター 1回</p> <p>技術導入調査(先進企業視察研修) 新型コロナウイルス感染症感染拡大により中止</p> <p>第66回全国溶接技術競技会 新型コロナウイルス感染症感染拡大により延期</p> <p>第60回長野県溶接技術コンクール 12月1日 上田地域高等職業訓練センター</p> <p>第8回長野県高校生溶接コンクール 12月14日 中野立志館高校</p>	<p>新型コロナのワクチン接種が進む。秋以降に国内の新規感染者が激減した。</p> <p>日経平均が30年半ぶりに一時30000円台を回復。</p> <p>ゴルフの松山英樹がマスターズ優勝。日本人およびアジア人史上初。</p> <p>メジャーリーグの大谷翔平が二刀流で活躍。アメリカン・リーグのMVP受賞。</p> <p>静岡県熱海市で記録的な大雨、大規模な土砂災害が発生。死者26人。</p> <p>東京オリンピック・パラリンピック開幕。無観客での開催となった。</p> <p>菅総理が総理を退任。自民党の岸田文雄が第100代内閣総理大臣に就任。</p> <p>真鍋淑郎(アメリカ国籍)がノーベル物理学賞を受賞。気象分野で初。</p> <p>第49回衆院選が施行、自民は絶対安定多数を確保。日本維新の会は41議席に。</p> <p>ジョー・バイデン大統領に正式就任。タリバンがアフガニスタン全土掌握。</p>
令和4年度	<p>定時社員総会 5月19日 長野市 ホテルメトロポリタン長野</p>	<p>ロシアがウクライナに侵攻。軍事支援を受けたウクライナ政府は徹底抗戦。</p>



年度	協会の動き	主な出来事 (@出来事 JP 他より)
	溶接技能者評価試験 4月4日～5年3月23日 県内各地 18回 第66回全国溶接技術競技会 4月16～17日 三重県 J F Eエンジニアリング(株)津製作所 ガス溶接技能講習会 6月2日～5年2月26日 県内各地 26回 アーク溶接特別教育講習会 4月5日～5年3月19日 県内各地 22回 溶接技能向上のための講習会 5月11日 長野県工業技術総合センター 1回 第12回関東甲信越高校生溶接コンクール 7月16日 東京ビックサイト 第67回全国溶接技術競技会 9月24～25日 青森県 青森工業高等学校 技術導入調査(先進企業視察研修) 10月5～6日 石川県 (株)小松製作所粟津工場 第61回長野県溶接技術コンクール 12月4日 長野県南信工科短期大学校 第9回長野県高校生溶接コンクール 12月10日 中野立志館高校	年前半は新型コロナのまん延防止等重点措置、年後半は水際対策の緩和措置。 北京冬季オリンピック・パラリンピック開幕。 東証銘柄が「プライム」「スタンダード」「グロース」に再編された。 北海道で知床遊覧船沈没事故が発生した。 安倍晋三元総理が演説中に銃撃され死亡。犯人の動機は旧統一教会への怨恨。 靈感商法の旧統一教会が批判される。政治家と教団との関係追求で閣僚が辞任。 第26回参院選が施行され、与党は3分の2の議席を維持。 英国女王エリザベス2世が逝去し、国葬に今上天皇と皇后両陛下が臨席した。 円相場は一時1ドル150円台後半に下落。約32年ぶりの円安水準をつけた。 F I F Aワールドカップ開幕。日本代表はドイツとスペインを破る快挙。

## 所属団体・会社の勲章受章者経歴一覧表

氏名 (生年月日)	役職期間等			褒章	勲章
	役職	期間	年数		
北沢 清 (株)丸柳大津屋 社長 大正元年10月12日生					勲五等瑞宝章 昭和48年4月 (省庁・不明)
堀内 猪之助 (株)三葉製作所 社長 明治33年4月20日生				紺綬褒章 昭和36年4月 (省庁・不明)	勲四等瑞宝章 昭和49年4月 科学技術庁 従五位 昭和58年12月
松山 篤 松山(株) 会長 明治39年7月25日生	支部長 理 事 〃	S 35. 5 ~ S 39. 5 S 33. 5 ~ S 35. 5 S 39. 5 ~ S 55. 5	4 2 16	紫綬褒章 昭和36年12月 (省庁・不明) 藍綬褒章 昭和42年11月	勲三等瑞宝章 昭和51年11月 科学技術庁 正五位 平成5年3月
青木 昌尚 石川島芝浦機械(株) 明治37年3月10日生	副支部長 理 事	S 31. 5 ~ S 43. 5 S 46. 5 ~ S 53. 5	12 7	藍綬褒章 昭和47年11月 (省庁・不明)	勲三等瑞宝章 昭和53年11月 (省庁・不明)
青木 固 日精樹脂工業(株) 社長 大正2年2月26日生				紫綬褒章 昭和38年11月 (省庁・不明)	勲三等瑞宝章 昭和58年4月 (省庁・不明) 正五位 昭和63年10月
宮下 千浩 大和施設(株) 社長 明治45年7月11日生	理 事 〃 副支部長 支部長	S 29. 5 ~ S 31. 5 S 35. 5 ~ S 49. 5 S 31. 5 ~ S 33. 5 S 33. 5 ~ S 35. 5	2 14 2 2		勲五等瑞宝章 昭和59年11月 (省庁・不明)
中村 俊美 (株)羽生田鉄工所 社長 大正2年9月23日生	理 事	S 49. 5 ~ S 53. 5	4	黄綬褒章 昭和50年4月 (省庁・不明)	勲五等双光旭日章 昭和60年11月 (省庁・不明)
七尾 鍊一 (株)千代田製作所 会長 大正元年8月11日生				藍綬褒章 昭和54年4月 (省庁・不明)	勲五等双光旭日章 昭和60年11月 (省庁・不明)
滝沢 武博 (株)滝沢計器工業 社長 明治41年12月23日生					勲五等瑞宝章 昭和62年4月 (省庁・不明)
井上 恒利 (株)協立製作所 社長 大正6年1月27日生	理 事 〃 副支部長 支部長	S 33. 5 ~ S 53. 5 S 61. 5 ~ H 12. 5 S 53. 5 ~ S 55. 5 S 55. 5 ~ S 61. 5	20 16 2 6		勲五等瑞宝章 昭和63年4月 (省庁・不明) 従六位 平成20年12月9日 経済産業省
太田 三郎 オリオン機械(株) 社長 大正10年7月29日生				紺綬褒章 昭和37年6月 (省庁・不明) 黄綬褒章 昭和55年4月 (省庁・不明)	勲四等瑞宝章 平成7年11月 (省庁・不明)

氏名 (生年月日)	役職期間等			褒章	勲章
	役職	期間	年数		
今村 正美 (株)今村鉄工所 社長 大正3年7月31日生				藍綬褒章 昭和46年11月 (省庁・不明)	
堀内 章三 (株)三葉製作所 社長 昭和7年7月5日生	理事 副支部長 支部長	S55.5～H1.5 H4.5～H10.5 H10.5～H12.5	9 6 2	紺綬褒章 昭和59年11月 (省庁・不明) 紺綬褒章 平成10年8月 (省庁・不明)	勲五等双光旭日章 平成14年11月 文部科学省
大久保 斐男(アヤオ) (株)角藤 社長 会長 昭和4年8月25日生				黄綬褒章 昭和62年11月 (省庁・不明)	勲四等瑞宝章 平成11年11月 (省庁・不明)
野口 甫 岡谷酸素(株) 社長 会長 大正12年2月8日生				藍綬褒章 昭和62年11月 (省庁・不明)	勲五等双光旭日章 平成10年11月 通商産業省
小松 立男 (株)小松製作所 社長 明治45年1月8日生	副支部長	S59.5～H6.5	10	黄綬褒章 昭和62年11月 (省庁・不明)	
島 喜治 日精樹脂工業(株) 社長 大正15年4月1日生				黄綬褒章 平成5年4月 (省庁・不明)	勲五等瑞宝章 平成10年4月 (省庁・不明)
山浦 義人 (株)ヤマウラ 社長 大正14年3月26日生	副支部長 支部長	S61.5～H4.5 H4.5～H10.5	6 6		勲五等双光旭日章 平成10年4月 通商産業省
大西 俊輔 (社)日本溶接協会 長野県支部顧問 大正10年11月13日生	常任理事	S54.3～H6.3 概ね県職員の 業績として受賞	16		勲五等瑞宝章 平成10年4月 (省庁・不明) 申請は、県人事課
松山 徹 松山(株) 社長 昭和7年9月4日生				藍綬褒章 平成7年4月 (省庁・不明)	
瀬尾 元 (有)瀬尾板金工場 代表取締役 昭和2年8月6日生	監事	S63.5～H14.5	14	黄綬褒章 平成9年11月 (省庁・不明)	
飯田 弘己 日本体育産業(株) 代表取締役 昭和19年3月14日生	理事 副支部長 副理事長	H14.5～H18.5 H18.5～H21.4 H21.4～H30.4	4 3 9	黄綬褒章 平成20年11月 国土交通省	
五味 光亮 (株)イツミ 代表取締役会長 昭和17年3月31日生	理事 理事長 副理事長	H4.5～H24.5 H24.5～H30.5 H30.5～R2.5	20 6 2		旭日双光章 平成24年4月 経済産業省
倉科 季男 (株)倉科鐵工所 代表取締役会長 昭和12年2月11日生	理事 副支部長 支部長／理事長	H11.5～H14.5 H14.5～H18.5 H18.5～H24.5	3 4 6		旭日双光章 令和4年11月 国土交通省

# 卓越技能者表彰者一覧表

## 1 大臣表彰

年度	職種	氏名	住所	所属
昭和51年	金属溶接工	石井 節雄	明科町	石川島芝浦機械(株)
昭和54年	溶接工	杉浦昭七郎	長野市	(株)前田製作所
平成2年	電気溶接工	中沢 正雄	更埴市	長野工業(株)
平成14年	アーク溶接工	小林 善一	上田市	(有)小林溶工
平成14年	ガス切断工	百瀬 紀康	波田町	(株)宮地鐵工所松本工場

## 2 県知事表彰

年度	職種	氏名	住所	所属
昭和50年	溶接	杉浦昭七郎	長野市	(株)前田製作所
昭和59年	溶接	阿部 忠美	須坂市	県溶接協会
昭和63年	溶接	小林 一夫	上田市	(有)合葉製作所
平成3年	溶接	三沢 弘廸	三郷村	(株)宮地鐵工所
平成4年	溶接	岩佐 行雄	更埴市	(株)千代田製作所
平成5年	溶接	小林 善一	上田市	(有)小林溶工
平成6年	溶接	両角 修二	茅野市	東洋バルブ(株)
平成7年	溶接	松井 俊仁	駒ヶ根市	(資)金丸松井鉄工所
平成10年	溶接	内城 光男	駒ヶ根市	(株)ヤマウラ
平成14年	溶接	赤羽 伸治	箕輪町	赤羽鉄工(株)
平成15年	溶接	酒井 昌幸	長野市	(有)信州溶接工業社
平成16年	溶接	下平 昭	飯島町	(株)ヤマウラ
平成16年	溶接	堀内 重光	上田市	長野計器(株)
平成16年	建築板金	水沢 仁亮	長野市	(株)二見屋
平成17年	溶接	西原 朝美	長野市	(株)羽生田鉄工所
平成18年	溶接	百瀬 幸夫	松本市	(株)高山製作所
平成19年	溶接	中村 博光	長野市	(株)前田製作所
平成19年	鉄工	倉科 季男	松本市	(株)倉科鐵工所
平成20年	産業功労	水沢 仁亮	長野市	長野県板金工業組合理事長
平成20年	建設事業功労	倉科 季男	松本市	長野県鐵構事業協同組合理事長
平成20年	溶接	南山 健	松本市	(株)デリカ
平成24年	溶接	丸山 昭治	松本市	(株)高山製作所
平成26年	溶接	上條 孝宏	長野市	(株)前田鉄工所
平成29年	溶接	中島 政志	千曲市	長野工業(株)
令和元年	建設	高木 秀雄	松本市	フィット工業(株)
令和3年	溶接	宮崎 文也	野沢温泉村	(株)前田鉄工所
令和3年	建設	赤羽 廣治	箕輪町	赤羽鉄工(株)
令和4年	溶接	青木 淳	駒ヶ根市	(株)ヤマウラ

# 日本溶接協会賞受賞者名簿\*

年度	区分	氏名	所属
昭和46年度	貢献賞	大西 俊輔	長野県工業試験場
昭和55年度	貢献賞	中原 誕男	(株)中原鉄工所
昭和59年度	貢献賞	堀 健一郎	(株)堀鉄工所
昭和61年度	貢献賞	前田 完治	(株)前田製作所
昭和63年度	貢献賞	井上 恒利	(株)協立製作所
平成4年度	貢献賞	北澤 實	ミヤジマ技研(株)
平成8年度	貢献賞	杉浦正七郎	前田建設工業(株)
平成11年度	貢献賞	山浦 義人	(株)ヤマウラ
平成30年度	貢献賞	五味 光亮	(株)イツミ

\* 長野県支部／長野県溶接協会が推薦した者

## 一般社団法人長野県溶接協会功労者表彰受賞者名簿

平成25年～令和4年

### 1 功労者表彰

年度	地区	氏名	所属
平成26年度	上小	宮下 孝夫	(株)ミヤシタ
		杓掛 和男	(株)杓掛工業
		上野 保夫	山洋電気(株)
	諏訪	篠原 音幸	(有)篠原鉄工建設
南長野更埴	瀬在 勇次	長野工業(株)	
平成27年度	上小	小宮山義則	(株)綿谷製作所
		滝沢 和彦	コトヒラ工業(株)
		田中 利明	ミヤジマ技研(株)
	上諏訪	田村 秀治	(有)田村鉄工所
	飯伊	戸崎 道夫	戸崎製作所
南長野更埴	小林 博	日酸 TANAKA (株)	
平成28年度	佐久	佐藤 一行	(株)藤友建設工業
	上小	小林 一彦	上田日本無線(株)
		三浦 淳一	カネテック(株)
	諏訪	小川 憲一	(株)小松製作所
		石川 卓也	(有)石川工業
	飯伊	岡本 明方	(有)岡本鉄工所
	南長野更埴	宮下 智	長野工業(株)
三浦 和行		(株)竹内製作所	
平成29年度	上小	大塚 淳	(株)三協産業
		馬場 淳	上田日本無線(株)
		川合 大地	(有)戸堀鉄工所
	諏訪	倉島 永年	岡谷酸素(株)
	南長野更埴	宮坂 東	岡谷酸素(株)
		田中 博	サンケン工業(株)
長野	羽生田豪太	(株)羽生田鉄工所	

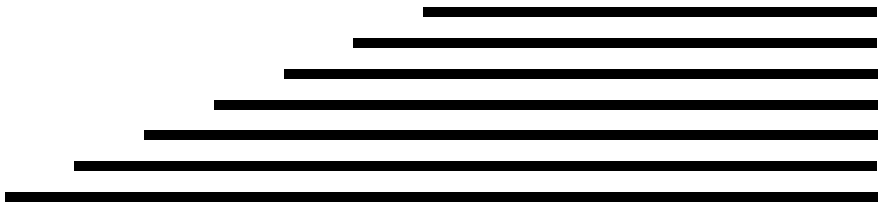
年度	地区	氏名	所属
平成30年度	佐久	井出 亮	(有)井出工業
	上小	清水 英一	松山(株)
		森 厚雄	長野計器(株)
		宮下 朋之	長野計器(株)
		長倉 慎司	(株)ホシバ
	諏訪	永由 忠實	(株)永由鉄工
		小林 勝正	(株)ダイイチコンポーネンツ
	上伊那	春日 俊一	春日修理工場
飯伊	林 秀樹	岡谷酸素(株)	
長野	笠井 淳	岡谷酸素(株)	
令和元年度	佐久	高橋 厚志	丸新鉄工
	上小	杉原 賢治	(株)カワベ工業
		山部 竜司	(株)アルカディア
		西沢敬佐智	東京精電(株)
		甲田 隆登	
	諏訪	北沢 晃	(株)丸柳大津屋
	上伊那	加藤 一夫	カトウ・テック(株)
		中島 明美	中島鉄工
	中信	宮澤 武矩	
		伊藤 章	
		草間 洋一	
		西澤 史次	
		田山 義博	
		堀内 達雄	
		稲垣富士夫	
南長野更埴	武田 隆志	日酸 TANAKA (株)	
	小宮山育朗	(株)宮原酸素工業所	
長野	寺島 隆	大伸鉄工業(株)	
令和2年度	上小	堀内 光信	堀内鉄工所
	上伊那	中村 定夫	中村鉄工所
		平澤 英夫	ヒラサワ空調技術
	南長野更埴	高松 満	(株)竹内製作所
		清水 律匡	(株)竹内製作所
	長野	辻 俊光	岡谷酸素(株)
令和3年度	佐久	柳澤 章	(株)柳澤鐵工所
	上小	小宮山岩夫	(株)中村体育
		斉藤 嘉彦	コトヒラ工業(株)
	上伊那	宮嶋 信幸	(有)興研工業
		松澤 武夫	(有)カクミ
	中信	丸山 浩	(有)横山酸素店
	長野	西澤 淳	(株)角藤
清水 竜		トライアン(株)	



年度	地区	氏名	所属
令和4年度	上小	桐間 聡	(株)ホシバ
		近藤 均	(株)綿谷製作所
		高見沢幸樹	(株)マナテック
		鈴木 哲也	(株)カワベ工業
	諏訪	花岡 隆夫	(株)オージンダクト
	上伊那	赤羽 健治	赤羽鉄工(株)
		富島 克洋	(有)富島鉄工所
	南長野更埴	横山 秀明	長野工業(株)
		高井 竜一	長野工業(株)
	長野	宮原 龍也	宮原酸素(株)

## 2 退任役員への感謝状授与

年度	退任役職名	氏名	所属
平成25年度	理事長	倉科 季男	(株)倉科鐵工所
	副理事長	戸崎 輝夫	カナエ鉄工(有)
平成27年度	副理事長	宮島希予人	ミヤジマ技研(株)
令和元年度	理事長	五味 光亮	(株)イツミ
	副理事長	飯田 弘己	日本体育産業(株)
令和3年度	副理事長	堀内 幸芳	(有)堀内溶接工業所



# 資料編

# 労働安全衛生法に係わる講習会の実施状況

## 1 ガス溶接技能講習受講者数、修了者数の推移

年度	実施回数 (回)	申込者数 (人)	受講者数 (人)	修了者数 (人)	合格率 (%)	備考
H25	29	1,396	1,383	1,383	100.0	
H26	26	1,188	1,182	1,182	100.0	
H27	27	1,278	1,266	1,266	100.0	
H28	24	1,059	1,055	1,053	99.8	
H29	28	1,197	1,182	1,180	99.8	
H30	24	1,151	1,136	1,136	100.0	
R 1	25	1,073	1,062	1,061	99.9	
R 2	20	717	708	703	99.3	
R 3	28	918	909	906	99.7	
R 4	26	868	852	848	99.5	

## 2 アーク溶接特別教育講習受講者数、修了者数の推移

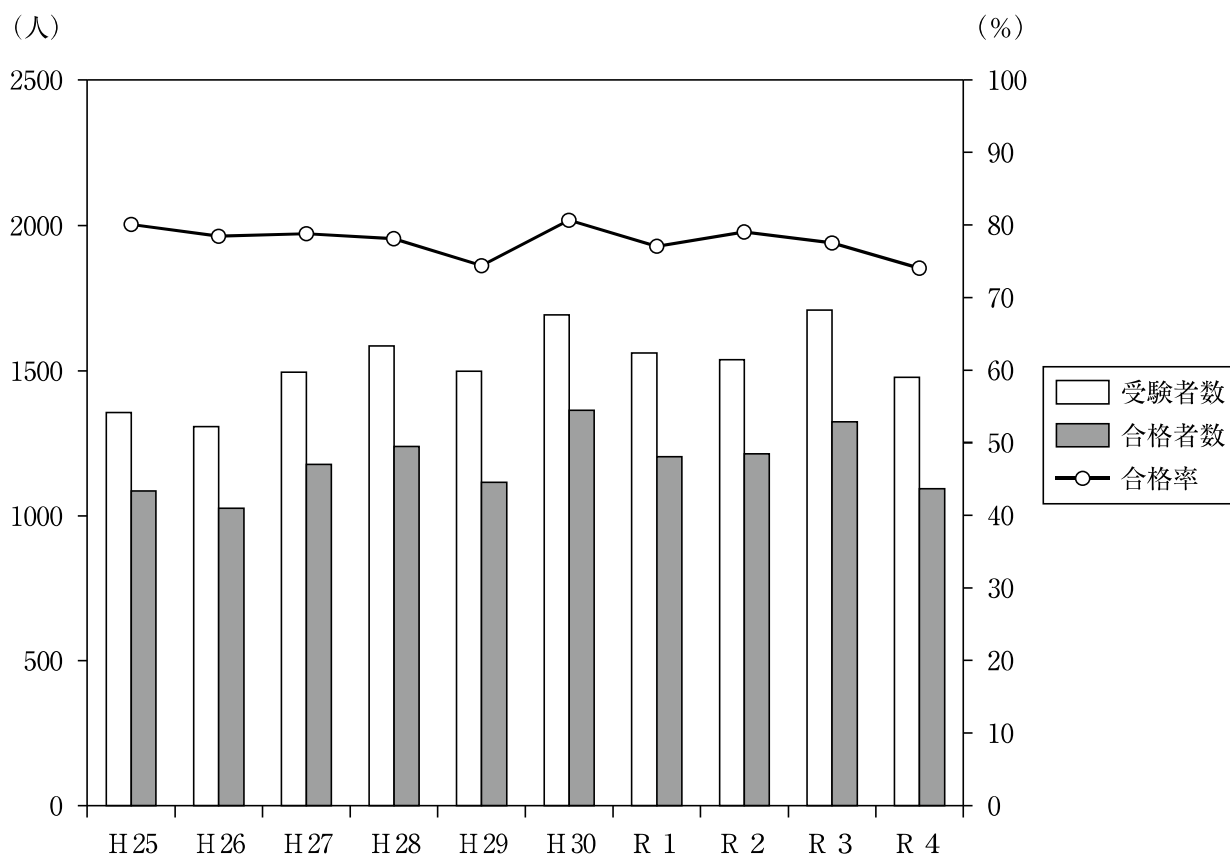
年度	実施回数 (回)	申込者数 (人)	受講者数 (人)	修了者数 (人)	合格率 (%)	備考
H25	19	902	893	893	100.0	
H26	22	993	982	982	100.0	
H27	19	809	801	801	100.0	
H28	21	880	878	878	100.0	
H29	18	731	724	724	100.0	
H30	21	833	829	829	100.0	
R 1	18	665	660	660	100.0	
R 2	21	689	684	684	100.0	
R 3	21	813	798	798	100.0	
R 4	22	735	721	721	100.0	

# 溶接技能者評価試験の 受験者数・合格者数の推移

平成25年度～令和4年度

年度	総合計					M (アーケ)		S (半自動)		U (ステンレス)		その他	
	受験者数 (人)	前年比 (%)	合格者数 (人)	前年比 (%)	合格率 (%)	受験者数 (人)	合格者数 (人)	受験者数 (人)	合格者数 (人)	受験者数 (人)	合格者数 (人)	受験者数 (人)	合格者数 (人)
昭和31年 から平成 24年まで の累計	67164	-	49961	-	74.4	-	-	-	-	-	-	-	-
H25	1355	99.8	1085	99.9	80.0	521	385	657	557	160	128	17	15
H26	1308	96.5	1025	94.5	78.4	522	395	608	501	168	122	10	7
H27	1495	114.3	1177	114.8	78.7	600	434	730	612	152	120	13	11
H28	1585	106.0	1238	105.2	78.1	590	416	796	658	181	152	18	12
H29	1498	94.5	1114	90.0	74.4	622	424	707	562	153	117	16	11
H30	1692	113.0	1364	122.4	80.6	609	465	855	713	189	153	39	33
R 1	1561	92.3	1203	88.2	77.1	541	387	757	610	175	133	88	73
R 2	1537	98.5	1214	100.9	79.0	544	419	719	572	169	133	105	90
R 3	1709	111.2	1324	109.1	77.5	536	386	880	710	196	149	97	79
R 4	1477	86.4	1094	82.6	74.1	427	274	753	582	187	140	110	98
計	15217	-	11838	-	77.8	5512	3985	7462	6077	1730	1347	513	429
合計	82381	-	61799	-	75.0	-	-	-	-	-	-	-	-

※その他：ガス、基礎杭、銀ろう付、プラスチック、チタン



# 一般社団法人 長野県溶接協会定款

平成21年 2月10日作成

平成30年 5月23日改正

## 第1章 総 則

(名 称)

第1条 この法人は、一般社団法人長野県溶接協会という。

(事務所)

第2条 この法人は、主たる事務所を長野市に置く。

2 この法人は、理事会の議決により、従たる事務所を必要な地に置くことができる。

(地 区)

第3条 この法人は、円滑な事業推進を図るため、理事会の議決により、地域的な区割りによる地区を置くことができる。

(目 的)

第4条 この法人は、溶接に関する技術及び技能の向上並びに普及を図ることを目的とする。

(規 律)

第5条 この法人は、別に定める自主行動基準（倫理規定）の理念と規範に則り、事業を公正かつ適正に運営し、前条に掲げる公益目的の達成と社会的信用の維持・向上に努めるものとする。

(事 業)

第6条 この法人は、第4条の公益目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 溶接技術者及び溶接技能者の教育
- (2) 溶接技術の相談、指導及び調査研究
- (3) 講演会、講習会、研究会、懇談会及び見学会等の開催
- (4) 溶接技能者評価試験の委託された業務
- (5) 溶接技術コンクールの実施
- (6) 溶接関係図書、出版物の配布又は頒布
- (7) 関係官庁及び関係団体との連絡、提携
- (8) その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

(事業年度)

第7条 この法人の事業年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終る。

## 第2章 会 員

(会 員)

第8条 この法人の会員は、原則として長野県内に所在し又は居住する者で、溶接に関する事業を行っている会社、事業所、営業所、関連団体等及び溶接に直接従事する技術者、あるいは、溶接に関する学識を有する者で、この法人の目的に賛同する者とする。

(会員の種類)

第9条 この法人の会員は、次の定義による団体会員及び個人会員をもって構成し、必要に応じて、賛助会員を設けることができるものとする。

- (1) 団体会員は、溶接に関する事業又は業務を行っている企業（代表者1名を選任し届けること）
- (2) 個人会員は、溶接に直接従事する技術者、技能者又は溶接に関する学識経験者
- (3) 賛助会員は、この法人の目的に賛同し、事業の遂行に協力と援助をする者

2 別に定める規則に従い、前項第1号及び第2号の会員（以下「正会員」という。）から選任される代議員及び役員をもって一般社団法人及び一般財団法人に関する法律（以下「一般社団・一般財団法」という。）上の社員とする。

(会員の承継)

第10条 前条による会員企業の合併、分割等による異動については、次のとおりとする。

- (1) 合併又は分割あるいは分社により、会員企業の業務を承継して新たに入会した場合は、従前の会員企業の地位を承継したものとみなす。

この場合、個人企業の法人化又は相続により企業を承継した場合を含む。

- (2) 前号の事実が生じた場合は、理事会が別に定める所定の書式によりその旨を速やかに届け出るものとする。

(入 会)

第11条 この法人に正会員又は賛助会員として入会しようとする者は、この法人が別に定める入会申込書により、申し込まなければならない。

2 入会は、社員総会が別に定める基準により、理事会においてその可否を決定し、これを本人に通知するものとする。

(入会金及び会費)

第12条 会員は、社員総会において別に定める入会金及び会費を納入しなければならない。

(会員の資格喪失)

第13条 会員が次の各号の一に該当する場合には、その資格を喪失する。

- (1) 退会したとき。
- (2) 成年被後見人又は被保佐人になったとき。
- (3) 会員企業が消滅したとき。
- (4) 1年以上会費を滞納したとき。
- (5) 除名されたとき。
- (6) 総社員の同意があったとき。

(退 会)

第14条 会員は、この法人を任意に退会することができる。

2 退会しようとする会員は、この法人が別に定める退会届を提出するものとする。

(除 名)

第15条 会員が次の各号の一に該当する場合には、社員総会において、社員の半数以上が出席

し、総社員の議決権の3分の2以上の議決に基づき、除名することができる。この場合、その会員に対し、社員総会の1週間前までに、理由を付して除名する旨の通知をなし、社員総会において、議決の前に弁明の機会を与えなければならない。

- (1) この法人の定款又は規則に違反したとき
- (2) この法人の名誉を傷つけ、又は目的に反する行為をしたとき
- (3) その他の正当な事由があるとき

2 前項により除名が議決されたときは、その会員に対し、通知するものとする。

(会員資格喪失に伴う権利及び義務)

第16条 会員が第13条の規定によりその資格を喪失したときは、この法人に対する（会員としての）権利を失い、義務を免れる。ただし、未履行の義務は、これを免れることができない。

2 この法人は、会員がその資格を喪失しても、既納の入会金、会費及びその他の拠出金品は、これを返還しない。

### 第3章 代議員

(代議員)

第17条 この法人に、正会員のうちから、30名以上100名以内の代議員を置く。

(代議員の選任)

第18条 代議員は、正会員が、会員歴5年以上の会員の中から、別に定める規則により選出する。

2 代議員は、理事又は監事を兼ねることができない。

3 代議員の欠員が生じた場合は、別に定める規則に従い、速やかに欠員を補充する。

(代議員の職務権限)

第19条 代議員は、正会員を代表して社員総会に出席し、審議事項を審議し議決する。

(代議員の任期)

第20条 代議員の任期は選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時総会の終結時までとする。再任を妨げない。

2 欠員又は増員により選任された代議員の任期は、前任者又は現任者の残任期間とする。

3 代議員が欠けた場合又は第17条の所定の員数が欠けた場合は、任期満了又は辞任により退任した代議員は、後任者が就任するまで、なお代議員としての権利義務を有する。

(代議員の報酬)

第21条 代議員は、無報酬とする。

### 第4章 社員総会

(種類)

第22条 この法人の社員総会は、定時社員総会及び臨時社員総会の2種とする。

(構成)

第23条 社員総会は、社員をもって構成する。



- 2 社員総会における議決権は、社員1名につき1個とする。
- 3 会員は、総会に出席して意見を述べることができる。

(権 限)

第24条 社員総会は、この定款で定める事項を議決する。

社員総会は、次の事項を議決する。

- (1) 役員を選任及び解任
  - (2) 定款の変更
  - (3) 各事業年度の事業報告及び決算（報告）
  - (4) 入会の基準並びに会費及び入会金の金額
  - (5) 会員の除名
  - (6) 長期借入金並びに重要な財産の処分及び譲受け
  - (7) 解散（及び残余財産の処分）
  - (8) 合併、事業の全部又は一部の譲渡及び公益目的事業の全部の廃止
  - (9) 理事会において社員総会に付議した事項
  - (10) 前各号に定めるもののほか、この定款に定める事項
  - (11) 前各号に定めるもののほか、一般社団・財団法人法に規定する事項及びこの定款に定める事項
- 2 前項にかかわらず、個々の社員総会においては、第26条第3項の書面に記載した目的及び審議事項以外の事項は、議決することができない。

(開 催)

第25条 定時社員総会は、毎事業年度の終了後3ヶ月以内に開催する。

2 臨時社員総会は、次の各号の一に該当する場合に開催する。

- (1) 理事が必要と認め、理事会に招集の請求をしたとき。
- (2) 議決権の5分の1以上を有する社員から、会議の目的である事項及び招集の理由を記載した書面により、招集の請求が理事会にあったとき。
- (3) 前号の請求をした社員は、次の場合には、裁判所の許可を得て、社員総会を招集することができる。
  - 一 請求後遅滞なく招集の手続が行われない場合。
  - 二 請求があった日から6週間以内の日を社員総会の日とする招集の通知が発せられない場合。

(招 集)

第26条 定時社員総会は、理事会の決議に基づき、理事長が招集する。ただし、すべての社員の同意がある場合には、その招集手続を省略することができる。

- 2 理事長は、前条第2項第2号の規定による請求があったときは、その日から30日以内に臨時社員総会を招集しなければならない。
- 3 社員総会を招集するときは、会議の日時、場所、目的及び審議事項を記載した書面をもって、開催日の2週間前までに通知しなければならない。

(議長)

第27条 社員総会の議長は、理事長がこれに当たる。

(定足数)

第28条 社員総会は、社員の過半数の出席がなければ開催することができない。

(議決)

第29条 社員総会の議事は、一般社団・財団法人法第49条第2項に規定する事項及びこの定款に特に規定するものを除き、社員の過半数が出席し、出席した社員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の裁決するところによる。

2 前項の場合において、議長は、社員として表決に加わることはできない。

(書面表決等)

第30条 やむを得ない理由のため社員総会に出席できない社員は、あらかじめ通知された事項について書面をもって表決し、又は他の社員を代理人として表決を委任することができる。

2 前項の場合における前二条の規定の適用については、その社員は出席したものとみなす。

3 理事又は社員が、社員総会の決議の目的である事項について提案した場合において、その提案について、社員の全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたときは、その提案を可決する旨の社員総会の議決があったものとみなすものとする。

(報告の省略)

第31条 理事が社員の全員に対し、社員総会に報告すべき事項を通知した場合において、その事項を社員総会に報告することを要しないことについて、社員の全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたときは、その事項の社員総会への報告があったものとみなすものとする。

(会員への公示)

第32条 社員総会の議事の要領及び議決した事項は、全会員に公示する。

(議事録)

第33条 社員総会の議事については、法令で定めるところにより次の事項を記載した議事録を作成しなければならない。

(1) 日時及び場所

(2) 社員の現在員数及び出席者数（書面表決者及び表決委任者の場合にあっては、その旨を付記すること。）

(3) 審議事項及び議決事項

(4) 議事の経過の概要及びその結果

(5) 議事録署名人の選任に関する事項

2 議事録には、議長及びその会議において選任された議事録署名人2名以上が、署名、押印をしなければならない。

(社員総会規則)

第34条 社員総会の運営に関し必要な事項は、法令又はこの定款に定めるもののほか、社員総会において定める社員総会規則による。

## 第5章 理事

(理事の定数)

第35条 この法人に、理事10名以上30名以内を置く。

(理事の選任)

第36条 理事は、社員総会において選任する。

- 2 理事のうち、理事のいずれか1名とその配偶者又は三親等内の親族その他特別の関係にある者の合計数は、理事総数の3分の1を超えてはならない。
- 3 他の同一の団体の理事又は使用人である者その他これに準ずる相互に密接な関係にある理事の合計数は、理事の総数の3分の1を超えてはならない。
- 4 理事に異動があったときは、2週間以内に登記しなければならない。

(理事の任期)

第37条 理事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する定時社員総会の終結の時までとし、再任を妨げない。

- 2 欠員又は増員により選任された理事の任期は前任者又は現任者の残任期間とする。
- 3 理事は、辞任又は任期満了後においても、新たに選任された者が就任するまでは、その職務を行わなければならない。

(理事の解任)

第38条 理事は、社員総会において解任することができる。

(報酬等)

第39条 理事は無報酬とする。

- 2 理事には、その職務を行うために要する費用の支払いをすることができる。
- 3 前項に関し必要な事項は、社員総会の議決により、別に定める。

## 第6章 理事会

(理事会の設置)

第40条 この法人は、理事会を置く。

(構成)

第41条 理事会は、すべての理事をもって構成する。

(役付理事)

第42条 理事会は、その決議により理事の中から、理事長1名、副理事長3名及び専務理事1名を定める。

- 2 理事長は、一般社団・一般財団法人第77条第1項但し書に定める代表理事とする。

(役付理事の職務)

第43条 理事長は、この法人の業務を統括し、これを執行する。

- 2 理事長は、第45条第2項の理事会において、自己の職務の執行状況を報告しなければならない。
- 3 副理事長及び専務理事は、理事長を補佐して業務を分掌し、理事長に事故があるときは、

理事会においてあらかじめ定めた順序により理事長の職務を代行する。

(権 限)

第44条 理事会は、この定款に別に定めるもののほか、次の職務を行う。

- (1) 社員総会の日時及び場所並びに議事に付すべき事項の決定
- (2) 規則の制定、変更及び廃止に関する事項
- (3) 前各号に定めるもののほか、この法人の業務執行の決定
- (4) 理事の職務の執行の監督
- (5) 理事長、副理事長及び専務理事の解職

2 理事会は次に掲げる事項その他の重要な業務執行の決定を、理事に委任することができない。

- (1) 重要な財産の処分及び譲受け
- (2) 多額の借財
- (3) 重要な使用人の選任及び解任
- (4) 従たる事務所その他重要な組織の設置、変更及び廃止
- (5) 内部管理体制の整備（理事の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制その他この法人の業務の適正を確保するために必要な法令で定める体制の整備）

(種類及び開催)

第45条 理事会は、通常理事会及び臨時理事会の2種とする。

2 通常理事会は、毎事業年度に原則として6ヶ月毎に1回以上開催する。

3 臨時理事会は、次の各号の一に該当する場合に開催する。

- (1) 理事長が必要と認めたとき。
- (2) 理事長以外の理事から会議の目的である事項を記載した書面をもって理事長に招集の請求があったとき。
- (3) 前号の請求があった日から5日以内に、その日から2週間以内の日を理事会の日とする理事会の招集の通知が発せられない場合に、その請求をした理事が招集したとき。
- (4) 第57条第5号の規定により、監事から理事長に招集の請求があったとき、又は監事が招集したとき。

(招 集)

第46条 理事会は、理事長が招集する。ただし、前条第3項第3号により理事が招集する場合及び前条第3項第4号後段により監事が招集する場合を除く。

2 理事長は、前条第3項第2号又は第4号前段に該当する場合は、その日から2週間以内に臨時理事会を招集しなければならない。

3 理事会を招集するときは、会議の日時、場所、目的及び審議事項を記載した書面をもって、開催日の1週間前までに、各理事及び各監事に対して通知しなければならない。

(議 長)

第47条 理事会の議長は、理事長がこれに当たる。

(定足数)

第48条 理事会は、理事現在数の過半数以上の出席がなければ会議を開くことができない。

(議 決)

第49条 理事会の議事は、この定款に別段の定めがあるもののほか、議決に加わることができる理事の過半数が出席し、その過半数をもって決し、可否同数のときは議長の裁決するところによる。

2 前項の場合において、議長は、理事として表決に加わることはできない。

(決議の省略)

第50条 理事が、理事会の決議の目的である事項について提案した場合において、その提案について、議決に加わることのできる理事の全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたときは、その提案を可決する旨の理事会の議決があったものとみなすものとする。ただし、監事が異議を述べたときは、その限りではない。

(報告の省略)

第51条 理事又は監事が理事及び監事の全員に対し、理事会に報告すべき事項を通知した場合においては、その事項を理事会に報告することを要しない。

2 前項の規定は、第43条第2項の規定による報告には適用しない。

(議事録)

第52条 理事会の議事については、法令で定めるところにより議事録を作成し、出席した理事及び監事は、これに署名・押印しなければならない。

(理事会規則)

第53条 理事会に関する事項は、法令又はこの定款に定めるもののほか、理事会において定める理事会規則による。

## 第7章 監 事

(監事の設置)

第54条 この法人は、監事を置く。

(監事の定数)

第55条 この法人の監事は、2名とする。

(監事の選任)

第56条 監事は、社員総会において選任する。

2 第36条第2項ないし第4項の規定は、監事に準用する。

(監事の職務・権限)

第57条 監事は、次に掲げる職務を行う。

- (1) 理事の職務執行を監査すること。
- (2) この法人の業務並びに財産及び会計の状況を監査すること。
- (3) 社員総会及び理事会に出席し、意見を述べること。
- (4) 理事が不正の行為をし、若しくはその行為をするおそれがあると認めるとき、又は法令若しくは定款に違反する事実若しくは著しく不当な事実があると認めるときは、これを社員総会及び理事会に報告すること。
- (5) 前号の報告をするため必要があるときは、理事長に理事会の招集を請求すること。ただ

し、その請求の日から5日以内に、2週間以内の日を理事会とする招集通知が発せられない場合は、直接理事会を招集すること。

(6) 理事が社員総会に提出しようとする議案、書類その他法令で定めるものを調査し、法令若しくは定款に違反し、又は著しく不当な事項があると認めるときは、その調査の結果を社員総会に報告すること。

(7) 理事がこの法人の目的の範囲外の行為その他法令若しくは定款に違反する行為をし、又はこれらの行為をするおそれがある場合において、その行為によってこの法人に著しい損害が生ずるおそれがあるときは、その理事に対し、その行為をやめることを請求すること。

(8) その他監事に認められた法令上の権限を行使すること。

(任期)

第58条 監事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する定時社員総会の終結の時までとし、再任を妨げないが、通算3期までとする。

2 欠員により選任された監事の任期は、前任者又は現任者の残任期間とする。

3 監事は、辞任又は任期満了後においても、新たに選任された者が就任するまでは、その職務を行わなければならない。

(監事の解任)

第59条 監事は、社員総会において総社員の議決権の3分の2以上の議決をもって解任することができる。

(報酬等)

第60条 監事は無報酬とする。

2 第39条第2項及び第3項の規定は、監事に準用する。

## 第8章 財産及び会計

(財産の管理・運用)

第61条 この法人の財産の管理・運用は、理事長が行うものとし、その方法は、理事会の議決により別に定める財産管理運用規程によるものとする。

(事業計画及び収支予算)

第62条 この法人の事業計画及び収支予算については、毎事業年度開始日の前日までに理事長が作成し、理事会の議決を得て、直近の社員総会に報告するものとする。これを変更する場合も、同様とする。

2 前項の規定にかかわらず、やむを得ない理由により予算が成立しないときは、理事長は、理事会の議決に基づき、予算成立の日まで前年度の予算に準じ収入支出することができる。

3 前項の収入支出は、新たに成立した予算の収入支出とみなす。

(事業報告及び決算)

第63条 この法人の事業報告及び決算については、毎事業年度終了後、理事長が事業報告書及び計算書類並びにこれらの付属明細書（以下計算書類等という）を作成し、監事の監査を受け、理事会の承認を得たうえで、定時社員総会において承認を得るものとする。

2 この法人は、前項の定時社員総会の終結後直ちに、法令の定めるところにより、貸借対照

表を公告するものとする。

(長期借入金及び重要な財産の処分又は譲受け)

第64条 この法人が資金の借入をしようとするときは、その会計年度の収入をもって償還する短期借入金を除き、社員総会において社員の半数以上が出席し、総社員の議決権の3分の2以上の議決を得なければならない。

2 この法人が重要な財産の処分又は譲受けを行おうとするときも、前項と同じ議決を得なければならない。

(会計原則)

第65条 この法人の会計は、一般に公正妥当と認められる公益法人の会計の慣行に従うものとする。

## 第9章 定款の変更、合併及び解散等

(定款の変更)

第66条 この定款は、第62条の規定を除き、社員総会において、総社員の議決権の3分の2以上の議決により変更することができる。

(合併等)

第67条 この法人は、社員総会において、総社員の議決権の3分の2以上の議決により、他の一般社団・財団法人法上の法人との合併、事業の全部又は一部の譲渡及び公益目的事業の全部の廃止をすることができる。

(解散)

第68条 この法人は、一般社団・財団法人法第148条第1号から第2号及び第4号から第7号までに規定する事由によるほか、社員総会において、総社員の議決権の4分の3以上の議決により解散することができる。

(残余財産の処分)

第69条 この法人が解散等により清算するとき有する残余財産は、社員総会の議決によりこの法人と類似の事業を目的とする他の公益法人又は国若しくは地方公共団体に寄付するものとする。

## 第10章 委員会

(委員会)

第70条 この法人の事業を推進するために必要あるときは、理事会はその議決により、委員会を設置することができる。

2 委員会の委員は、会員及び学識経験者のうちから、理事会が選任する。

3 委員会の任務、構成並びに運営に関し必要な事項は、理事会の議決により別に定める。

## 第11章 事務局

(設置等)

第71条 この法人の事務を処理するため、事務局を設置する。



- 2 事務局には、所要の職員を置く。
- 3 重要な職員は、理事長が理事会の承認を得て任免する。
- 4 事務局の組織及び運営に関し必要な事項は、理事長が理事会の議決により、別に定める。

(備付け帳簿及び書類)

第72条 事務所には、常に次に掲げる帳簿及び書類を備えておかなければならない。

- (1) 定款
  - (2) 会員名簿及び会員の異動に関する書類
  - (3) 理事、監事及び職員の名簿並びに履歴書
  - (4) 認定、許可、認可等及び登記に関する書類
  - (5) 定款に定める機関の議事に関する書類
  - (6) 財産目録
  - (7) 事業計画書及び収支予算書
  - (8) 事業報告書及び収支計算書等の計算書類
  - (9) 前号の監査報告書
  - (10) その他法令で定める帳簿及び書類
- 2 前項各号の帳簿及び書類等の閲覧については、法令の定めによるとともに、第73条第2項に定める情報公開規程によるものとする。

## 第12章 情報公開及び個人情報の保護

(情報公開)

第73条 この法人は、公正で開かれた活動を推進するため、その活動状況、運営内容、財務資料等を積極的に公開するものとする。

- 2 情報公開に関する必要な事項は、理事会の議決により別に定める情報公開規程による。

(個人情報の保護)

第74条 この法人は、業務上知り得た個人情報の保護に万全を期すものとする。

- 2 個人情報の保護に関する必要な事項は、理事会の議決により別に定める。

(公 告)

第75条 この法人の公告は、官報による。

## 〈第13章 補 則〉

(委 任)

第76条 この定款に定めるもののほか、この法人の運営に必要な事項は、理事会の議決により別に定める。

# 一般社団法人 長野県溶接協会細則

平成21年2月10日制定

この細則は、一般社団法人長野県溶接協会定款（以下、「定款」という。）第76条に基づくもので、定款の施行に必要な事項を定める。

（会員及び会費）

第1条 会員資格の取得は、理事会の承認を要する。

第2条 団体会員は、代表者1名を決定し、入会申込書により届け出る。

第3条 会員は、定款第12条により入会金及び年会費を納めなければならない。

第4条 この法人の入会金及び会費は、次表のとおりとする。

会 員	団 体 会 員				個人会員
	特 級	1 級	2 級	3 級	
入会金	3,000円	3,000円	3,000円	3,000円	3,000円
年会費	8,000円	6,000円	4,500円	3,000円	3,000円

第5条 会員が脱会した場合、既納の会費は払い戻しをしない。

（会の組織）

第6条 この法人の円滑な運営を図るため定款第3条の規定により、地区を置く。各地区は、その管轄する地域に所属する会員を統括し協会と会員との連絡・調整にあたる。

第7条 地区には、地区会長を置き、理事を当てる。

第8条 地区は、次のとおりとする。

地 区 名	地 区 の 範 囲
佐 久	小諸市、佐久市、東御市、南佐久郡、北佐久郡
上 小	上田市、東御市、小県郡
諏 訪	岡谷市、諏訪市、茅野市、諏訪郡
上 伊 那	伊那市、駒ヶ根市、上伊那郡
飯 伊	飯田市、下伊那郡
中 信	松本市、塩尻市、大町市、安曇野市、木曾郡、東筑摩郡、北安曇郡
南長野更埴	長野市（篠ノ井・松代・川中島地区）、千曲市、埴科郡
須 高	須坂市、上高井郡
中 高	中野市、飯山市、下高井郡、下水内郡
長 野	長野市（篠ノ井・松代・川中島地区を除く）、上水内郡

（代議員の選出）

第9条 代議員は、定款第17条の規定により選任する。

2 選出母体は各地区とし、選出基準は会員数約10名につき1名とする。ただし、選出数は地区の事情を考慮して理事会で決定する。

3 各地区で、選考された、代議員候補者を理事会において、承認されることにより選任とする。

(理事及び監事の選任)

第10条 理事は、定款第36条、監事は、定款第56条の規定により総会においてする。

2 理事の選出母体は各地区とし、選出基準は会員数約30名につき1名とする。ただし、選出数は地区の事情を考慮して理事会で決定する。

3 監事の選出地区は、理事会で決める。

(理事長、副理事長及び専務理事の選任)

第11条 理事長、副理事長及び専務理事の選任は、定款第42条の規定により理事会において選任する。

2 専務理事は、当面選任しない。

(顧問及び相談役等)

第12条 本協会に關係する地方官庁の長を顧問とすることができる。

關係官庁等の長は、次のとおりとする。

- ・長野労働局長
- ・長野労働局健康安全課長
- ・各労働基準監督署長
- ・長野県産業労働部ものづくり振興課長
- ・長野県工業技術総合センター所長
- ・長野県工業技術総合センター材料技術部門長

第13条 本協会の理事長を経験し、本協会の目的達成に顕著な功績のあった者は、理事会の議を経て相談役とすることができる。

第14条 特別な顧問及び幹事は、本協会の目的達成のために具体的な指導・助言を必要とする場合に、理事会の議を経て置くことができる。

(役員及び講師等の報酬及び費用弁償)

第15条 役員及び講師等の報酬及び費用弁償は、別に定める内規による。

(表彰)

第16条 表彰規程は、別に定める。

(慶弔)

第17条 慶弔規程は、別に定める。

(事務局及び職員)

第18条 本協会の業務を遂行するために、事務局を置く。事務局は本協会全般の事務を処理する。

第19条 事務局には次の職員を置き、理事長がこれを任免する。

事務局長 1名

書記 若干名

その他、必要な職員を置くことができる。

第20条 職員の就業規則、給与規則(含退職手当)、旅費規則等は、別に定める。

(雑則)

第21条 本細則を変更する場合は、理事会の議決を経なければならない。

(付則)

本細則は、平成21年2月10日から施行する。

# 一般社団法人長野県溶接協会 創立70周年記念誌「七十年史」の発刊について

拝啓 余寒の候、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

平素、当協会の事業活動に、格別の御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

この度、創立70周年を迎え、記念事業の一環として記念誌「七十年史」を発刊いたしました。誠にささやかな記録ではありますが、ご高覧いただければ光栄に存じます。

「七十年史」の発刊に当たりましては、新しいコンセプトとして「デジタル化」に取り組みました。全てをデジタル化することは見る機会が少なくなるのでは、との意見もありましたので、常に手元に置いていただけるよう冊子部分をコンパクト化して残し、冊子とデジタルブックの組合せとしました。

この十年で動きがあった事象を中心に冊子とし、これまでの記念誌に掲載されていた記録的な部分の「70年の歩み」および「資料編」はデジタルブックで作成することとしました。

冊子、デジタル版、共にご高覧頂ければ幸甚に存じます。

今後とも一層のご指導、ご支援を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

敬 具

令和6年2月吉日

一般社団法人長野県溶接協会  
理事長 横山 正一  
創立70周年記念事業実行委員会  
記念誌編集委員会  
委員長 山邊 正重